記者発表資料

平成２７年度
東北地方整備局の事業概要

平成２７年４月９日
東 北 地 方 整 備 局

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、青森県政記者会、
岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ＞

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局
港湾空港関係以外　TEL　022-225-2171（代）
港湾空港関係　　TEL　022-716-0005（ダイヤルイン）

総　　括：企画部　企画課長	佐々木（ささき）　昇平（しょうへい）	（内線 3151）
都市・住宅関係：建政部　都市・住宅整備課長	山田（やまだ）　大輔（だいすけ）	（内線 6161）
河　川　関　係：河川部　河川計画課長	山田（やまだ）　拓也（たくや）	（内線 3611）
道　路　関　係：道路部　道路計画第一課長	金森（かなもり）　滋（しげる）	（内線 4211）
港湾空港関係：港湾空港部　港湾計画課長	下澤（しもざわ）　治（おさむ）	（内線 6314）
営　繕　関　係：営繕部　計画課長	政近（まさちか）　圭介（けいすけ）	（内線 5151）
会　計　関　係：総務部　会計課長	荒谷（あらや）　茂樹（しげき）	（内線 2411）

目　　次

平成２７年度　予算のポイント　・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１

１．　東北地方整備局　平成 27 年度　当初予算　・・・・・・・・・・・・Ｐ２

・東北地方整備局の事業費　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
・被災地における基幹インフラの整備　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
・震災伝承の取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６
・頻発・激甚化する水害・土砂災害への対策　・・・・・・・・・・・・　Ｐ７
・大規模災害に備えた緊急輸送道路の強化　・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８
・道路、河川、港湾施設の老朽化対策　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ９
・地域・拠点の連携確保や地域の活性化に資する取り組み　・・・・・・・Ｐ１０
・公共事業の円滑な施工の確保　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１２
・平成 27 年度の道路調査の見通しについて（参考）　・・・・・・・・・・Ｐ１３

２．　新規事業化箇所一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１４

３．　新規事業化箇所位置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１６

４．　新規事業化箇所詳細　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１７

５．　完成・開通予定箇所一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３０

６．　完成・開通予定箇所位置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３２

７．　完成・開通予定箇所詳細　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３３

（資料編）

・主要継続事業一覧・位置図・詳細

（１）青森県　・・・・・・・・・・・・・・・資　１

（２）岩手県　・・・・・・・・・・・・・・・資　７

（３）宮城県　・・・・・・・・・・・・・・・資１３

（４）秋田県　・・・・・・・・・・・・・・・資２１

（５）山形県　・・・・・・・・・・・・・・・資２８

（６）福島県　・・・・・・・・・・・・・・・資３５

１．東北地方整備局関係　平成２７年度予算概要

①平成２７年度　当初予算のポイント

「東日本大震災からの復興加速」、「国民の安全・安心の確保」及び「地域の活性化」の3分野に重点的に取り組みます。

○ 東日本大震災の被災地において、道路、河川、港湾等基幹インフラの整備を推進します。また、震災の記憶と教訓を後世に伝えるための取り組みを推進します。

（資料－１、２）

○ 気候変動に伴う水害・土砂災害の頻発・激甚化に備えた予防的な対策及び、災害が発生した地域等において再度災害防止対策を実施します。また、火山噴火等に備えたハード・ソフト対策を推進します。

（資料－３）

○大規模災害に備えた、道路ネットワークの確保や橋梁の耐震対策、道路の防災対策等の緊急輸送道路の強化を推進します。

（資料－４）

○ 道路、河川、港湾施設の点検・修繕・更新等の老朽化対策を推進します。

（資料－５）

○ 道路、河川、港湾施設による地域・拠点の連携確保や、賑わいの創出など、地域の活性化・観光振興に資する取り組みを推進します。

（資料－６、７）

○ なお、予算の執行にあたっては、公共事業の円滑な施工が確保されるように努めます。

（資料－８）

１．東北地方整備局　平成２７年度　当初予算

国交省計上分　　事業費５，０７８億円

内　訳

・直轄　　１，９６９億円

・補助　　３，１０９億円

うち社会資本総合整備　　２，９４２億円

（参考）復興庁計上分について

復興庁計上分　　事業費３，８２０億円

内　訳

・直轄　　２，２２２億円

・補助　　１，５９８億円

うち社会資本総合整備　　１，５２４億円

東北地方整備局事業費(国交省計上)

(直轄事業＋補助事業)　　(単位:百万円)

	H27年度 当初予算 (A)	H26年度 当初予算 (B)	倍率 (A/B)
治水	77,556	76,260	1.02
海岸	699	630	1.11
道路整備	120,654	125,956	0.96
港湾整備	5,835	6,005	0.97
空港整備	1,165	1,361	0.86
住宅対策	4,788	3,940	1.22
市街地整備	360	0	ー
都市水環境整備	1,339	1,280	1.05
国営公園等	722	737	0.98
社会資本総合整備	294,176	274,156	1.07
官庁営繕	503	6,865	0.07
合計	507,797	497,190	1.02

直轄事業費

	H27年度 当初予算 (A)	H26年度 当初予算 (B)	倍率 (A/B)
治水	69,192	69,639	0.99
海岸	699	630	1.11
道路整備	117,496	123,116	0.95
港湾整備	5,785	5,989	0.97
空港整備	1,165	1,361	0.86
都市水環境整備	1,339	1,280	1.05
国営公園等	722	737	0.98
官庁営繕	503	6,865	0.07
合計	196,901	209,617	0.94

補助事業費

	H27年度 当初予算 (A)	H26年度 当初予算 (B)	倍率 (A/B)
治水	8,364	6,621	1.26
道路整備	3,158	2,840	1.11
港湾整備	50	16	3.13
住宅対策	4,788	3,940	1.22
市街地整備	360	0	ー
社会資本総合整備	294,176	274,156	1.07
合計	310,896	287,573	1.08

※端数処理の関係上、合計値と一致しない場合がある。

※直轄の事業費は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。

※本表の他、直轄の災害復旧費として 120 百万円がある。

（参考）

東日本大震災からの復旧・復興対策に係る経費(復興庁計上)

（直轄事業＋補助事業）　　（単位：百万円）

	H27年度 当初予算 （A）	H26年度 当初予算 （B）	倍率 (A/B)
治水	7,258	6,470	1.12
道路整備	199,888	172,920	1.16
港湾整備	22,299	21,988	1.01
国営公園等	200	0	ー
社会資本総合整備	152,363	109,504	1.39
合計	382,008	310,882	1.23

直轄事業費

	H27年度 当初予算 （A）	H26年度 当初予算 （B）	倍率 (A/B)
治水	7,258	6,470	1.12
道路整備	193,048	165,830	1.16
港湾整備	21,699	20,764	1.05
国営公園等	200	0	ー
合計	222,205	193,064	1.15

補助事業費

	H27年度 当初予算 （A）	H26年度 当初予算 （B）	倍率 (A/B)
道路整備	6,840	7,090	0.96
港湾整備	600	1,224	0.49
社会資本総合整備	152,363	109,504	1.39
合計	159,803	117,818	1.36

※本表の他、直轄の災害復旧費として 61,815 百万円がある。

被災地における基幹インフラの整備

東日本大震災の被災地の復旧・復興を加速するため、復興道路、河川堤防、仙台湾南部海岸、港湾施設等の基幹インフラの整備を推進します。

○復興道路・復興支援道路

～全区間で工事着工、全面展開へ！～





【H27　開通予定】
吉浜道路
((仮)三陸IC～(仮)吉浜IC)
(3.6km)

三陸沿岸道路
延長３５９km



【H27　開通予定】
登米志津川道路
(登米東和IC～ (仮)志津川IC)
(11.1km)

復興道路・復興支援道路(H27.3月末予定)
総延長　614km
開通済区間　223km
（震災後に開通した区間63km）
事業中区間　347km

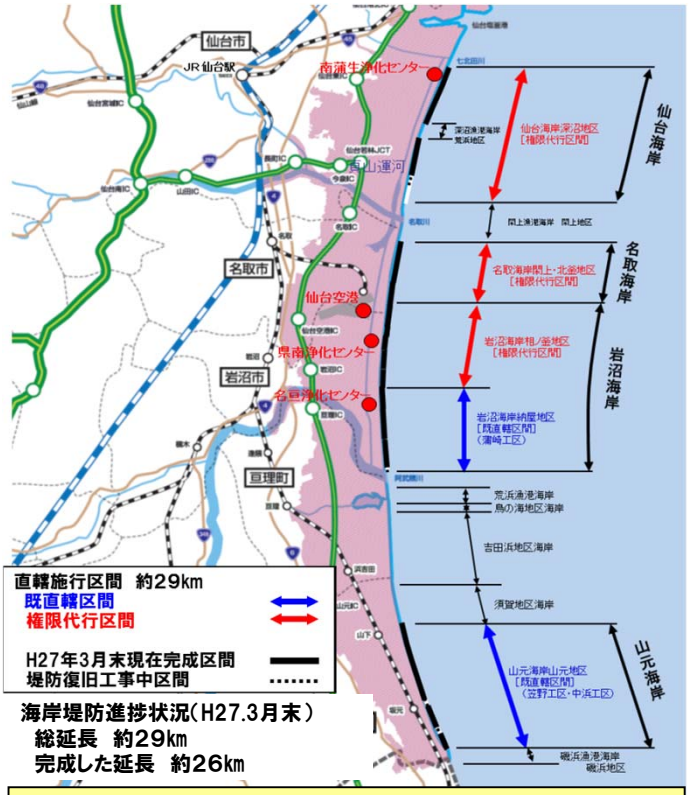
■■■	開通済
■■■	震災後に開通した区間
■ ■ ■	事業中（震災後新規箇所）
■ ■ ■	事業中
□□□□	未事業化

■期待される整備効果

・震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして、甚大な被害を受けた各地域間を繋ぎ、連絡することで、復興に力強く貢献します。

○海岸堤防における復興事業

～全区間の完成に向けて事業推進！～



海岸堤防進捗状況(H27.3月末)
総延長　約29km
完成した延長　約26km

■期待される整備効果

整備が完了すれば、数十年～数百年に一度の津波（明治三陸地震津波相当）来襲時において、仙台平野一帯を浸水から守るほか、それを越える大きな津波や、高潮が来襲した際にも被害を大幅に軽減できます。

○港湾における復興事業

～港湾施設は平成26年度末で全て利用可能～

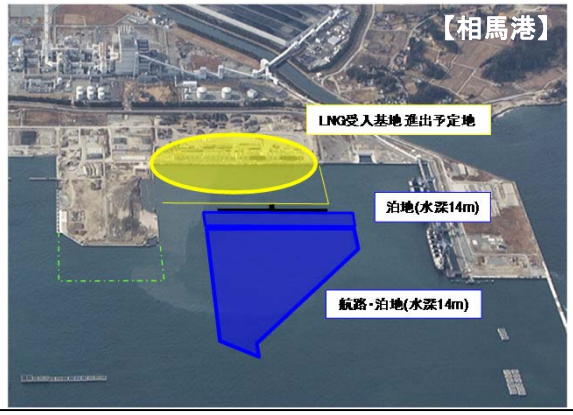
岸壁の復旧状況(H27.3月末現在)

県　名	港　名	震災前バース数	暫定利用可能バース数	利用率
青森県	八戸港	44	44	100%
岩手県	久慈港	24	24	100%
岩手県	宮古港	26	26	100%
岩手県	釜石港	7	7	100%
岩手県	大船渡港	10	10	100%
宮城県	仙台塩釜港（石巻港区）	31	31	100%
宮城県	仙台塩釜港（塩釜港区）	20	20	100%
宮城県	仙台塩釜港（仙台港区）	22	22	100%
福島県	相馬港	13	13	100%
福島県	小名浜港	72	72	100%
		269	269	100%

※八戸港以南の国際拠点港湾及び重要港湾の公共岸壁(公社含む)が対象

相馬港 航路・泊地整備事業【平成27年度完了事業】

相馬港において実施している航路・泊地の浚渫を平成27年度までに完成させ、大型LNG船による東北地方へのLNGの安定的かつ安価な供給を実現します。



震災伝承のための取り組み

東日本大震災の記憶と教訓を後世に伝えるための取り組みを継続して実施します。また、追悼・鎮魂の場や復興の象徴となる復興祈念公園の基本設計を地元と連携しながら実施します。

パネル・被災物　展示

〔展示会〕
震災発生後、これまでに各機関の要請等により全国各地で600回を超えるパネル・被災物の展示を実施しています。



第3回国連防災世界会議でのパネル展
（仙台市）

国営追悼・祈念施設（仮称）の基本設計の実施

震災の記憶と教訓の後世への伝承などとともに、国内外に向けた復興に対する強い意思の発信のため、岩手県陸前高田市高田松原地区と宮城県石巻市南浜地区に整備される復興祈念公園において、中核となる丘や広場等の基本設計を実施します。



陸前高田市高田松原地区の現況（平成26年6月撮影）

○重点「道の駅」高田松原の再整備

タピック45（旧道の駅）の遺構を活かし、国営追悼・祈念施設(仮称)と一体として再整備します。

地域の震災遺構巡りなど広域案内機能を備えた、三陸沿岸地域のゲートウェイとして情報発信します。
また、震災の実情と教訓をリアルに伝承するために、実物・実写を用いることとし、整備局の災害対策室のモニターや道路遺構等を有効活用します。



被災したタピック45（旧道の駅）



有効活用する災害対策室のモニター

■期待される整備効果
・国内、海外からの旅行者増加に伴う雇用の創出
・津波防災教育の拠点として次世代へ震災伝承

頻発・激甚化する水害・土砂災害への対策

気候変動に伴う水害・土砂災害の頻発・激甚化に備えた予防的な対策、及び災害が発生した地域等における再度災害防止対策を実施します。また、火山噴火等に備えたハード・ソフト対策を推進します。

○安全度の向上に大きく寄与する治水対策の推進

H25.9洪水で約90戸※の浸水被害が発生した岩木川等において、浸水被害軽減のため、堤防整備や遊水地・ダム建設等を実施します。

※国管理区間沿川での浸水戸数

【主な治水対策】

■津軽ダム（岩木川）
平成27年度に試験湛水開始予定。



津軽ダム施工状況



H25.9洪水の状況
（弘前市三世寺地区）

■期待される整備効果
津軽ダムの完成と、下流部の河川改修により、戦後最大洪水である昭和52年8月洪水と同規模の洪水が発生しても、約24,200世帯、約20,900haの被害を防止します。

■鳥海ダム（子吉川）
平成27年度より建設段階へ移行。
新たに用地調査に着手。



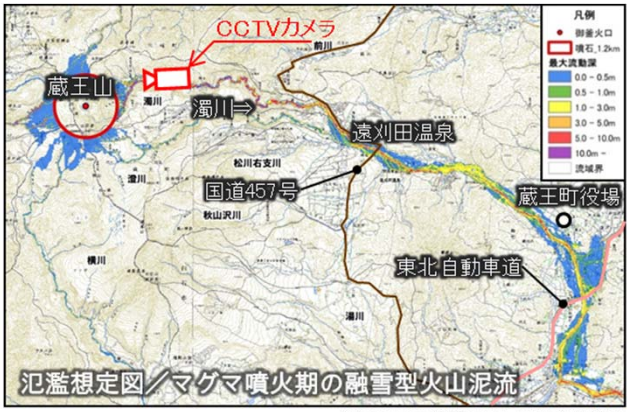
■期待される整備効果
鳥海ダムの完成と、下流部の河川改修により、戦後最大洪水である昭和22年7月洪水と同規模の洪水が発生しても、床上浸水約4,800戸の重大な家屋浸水被害を防止します。

○火山噴火等に備えたハード・ソフト対策

「火山噴火緊急減災対策砂防計画」の策定を進めるほか、火山泥流等の発生をとらえる監視カメラを設置するなど避難行動への支援を行います。

【火山噴火緊急減災対策】

■蔵王山火山噴火緊急減災対策（宮城県）
火山泥流等をとらえる監視カメラを設置



※CCTVの位置については今後決定





大規模災害に備えた緊急輸送道路の強化

国民生活の安全・安心を確保するため、大規模災害に備えた、道路ネットワークの確保や橋梁の耐震対策、道路の防災対策等の緊急輸送道路の強化を推進します。

代替性確保のためのミッシングリンクの整備

（例）東北中央自動車道（福島～米沢）





▲国道13号事前通行規制
実施中に土砂崩落発生



▲東北中央自動車道（福島～米沢）の整備状況
新長老沢4号橋付近

■期待される整備効果
・災害に強い道路ネットワークが形成されることで、安全・安心な通行の確保が図られます。

緊急輸送道路の強化

【橋梁の耐震補強】



←橋脚の
巻き立て補強



落橋防止
チェーン設置→

耐震補強済みの橋（緊急輸送道路）　未補強の橋（緊急輸送道路以外）



【東日本大震災での事例】

■期待される整備効果
・大規模地震時においても、緊急輸送道路としての安全性・信頼性が確保されます。

道路、河川、港湾施設の老朽化対策

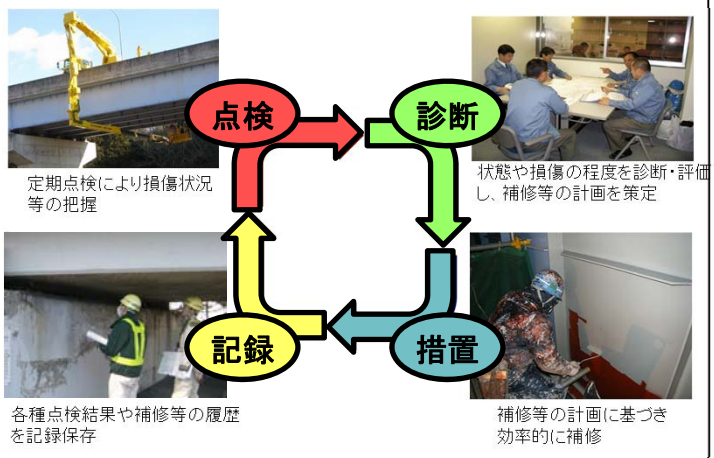
計画的な維持管理を通じた道路及び河川管理施設等のインフラの長寿命化・安全確保のための維持管理を推進します。

○河川

河川管理施設機能を確実に発揮させるため、施設点検を実施し、老朽化が進行している施設については、補修・更新を行い、河川管理施設の長寿命化を図る。

○道路

道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、点検・補修を行うなど、メンテナンスサイクルを回しながら、橋梁の長寿命化を図ります。



▲メンテナンスサイクルの構築

○港湾

岸壁や防波堤など施設単位で策定する維持管理計画については、一部の施設を除いて策定済みです。

港単位で中期的な維持管理・更新の優先度等を定める「予防保全計画」については順次策定中であり、引き続き、港湾施設の計画的な維持管理・更新を進めます。

<u>（参考）地方公共団体への支援</u>

・東北各県に全道路管理者からなる「道路メンテナンス会議」を設立し、老朽化対策の体制を強化

専門部会として「こ道橋連絡会議」を設立し、道路法以外の施設の点検等を検討、調整

・地方公共団体の職員が参加可能な研修の充実

・国による修繕・更新の代行等を実施

・「道路メンテナンス技術相談室」を設置し、点検・診断・修繕に関する技術的支援



▲道路メンテナンス会議



▲自治体職員参加の橋梁点検研修



▲「道路メンテナンス技術集団」による「直轄診断」



▲損傷橋梁の現地調査

地域・拠点の連携確保や地域の活性化・観光振興に資する取り組み

道路、河川、港湾施設による地域・拠点の連携確保や、賑わいの創出など、地域の活性化・観光振興に資する取り組みを推進します。

○通学路等の安全確保

「通学路緊急合同点検」に基づく対策に加え、継続的な合同点検による対策を推進します。



▲国道112号　通学路の歩道整備状況

○地域の拠点となる「道の駅」を支援

地域の創意工夫により、「道の駅」を地域活性化の拠点として活かす取り組みを支援します。特に、先駆的な取り組みとして選定された、重点「道の駅」*について、関係機関と連携して重点的に支援します。



▲地域観光案内の窓口
（「道の駅」遠野風の丘）

■期待される整備効果
・地域資源を活用した観光振興に寄与
・地場産品を活用した産業振興に寄与
・地域福祉の向上、高度な防災機能の確保

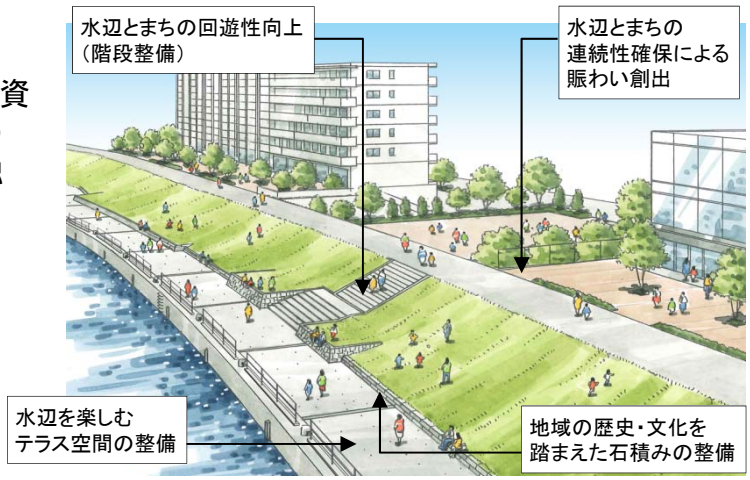


▲地場産品を買物する客で賑わう
（「道の駅」あ・ら・伊達）

＊重点「道の駅」：以下のURL参照
http://www.thr.mlit.go.jp/road/koutsu/Michi-no-Eki/juten/juten.pdf

○かわまちづくり

河川が有する歴史・文化・景観など地域の資源を活かし、地域と連携して立案した水辺の整備・利活用計画に基づき、まちと水辺が融合した空間の形成を図ります。



▲石巻地区かわまちづくり　中央地区のデザイン検討案
（検討中のイメージ）

○クルーズ振興を通じた東北地域の活性化

近年、大型外航クルーズ船の寄港数が増加傾向にあります。
「クルーズ100万人時代」の実現のため、受入環境の改善に向けた取り組みや地域の魅力の効果的な発信を行っていきます。

（参考）寄港地での観光入込客数

・乗船客数：約2,500人

・オプショナルツアー参加人数：約2,100人

※秋田港へのダイヤモンドプリンセス寄港時（平成26年8月）



▲秋田港におけるダイヤモンドプリンセス初寄港状況
平成26年8月

地域・拠点の連携確保や地域の活性化・観光振興に資する取り組み

○東北圏広域地方計画の改定

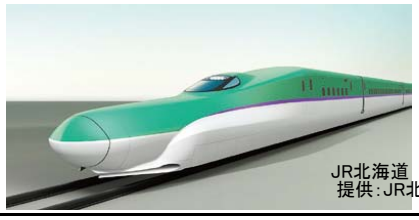
「東北圏ならではの地域資源を活かした観光交流と滞在人口の拡大」を計画改定中の戦略的目標の施策のひとつとして位置づけ。

◆地域資源の再発見と利活用の推進及び「田舎磨き」の推進
◆アジアを中心とした国際観光需要取り込みの推進
◆広域連携による観光プロモーション・情報発信の強化等
◆外国人を含む来訪者の受入環境整備・充実

■タイ国際旅行博覧会での東北観光PR



■北海道新幹線(平成27年度末開業予定)



JR北海道　H5系
提供：JR北海道

○訪日外国人2000万人の受入に向けた取り組み

訪日外国人旅行者は、昨年日本全体では、対前年度比で約3割増という大幅な伸びで1300万人を超え、順調に増加している。
一方、東北地域においては、震災前の水準まで回復していない現状。

Treasureland TOHOKU JAPAN 日本東北

訪日外国人旅行者を東北に円滑に受け入れる体制づくりが必要。

「訪日外国人2000万人の受入に向けた東北ブロック連絡会」を設置

●東北運輸局、東北地方整備局、東京航空局、東北6県、仙台市、関係事業者・団体で構成
●東北地方の現状と課題を把握し、必要な手立てについて検討

○スマートフォンアプリ「ガイド東北」

●発信困難だった、きめ細かな観光情報や産物情報を発信し、誘客を強化！

●災害の事実と教訓を未来永劫伝えるために！

●震災復興をはじめとする建設の世界の物語を簡単に誰でも楽しめるように！

Guide Tohoku ガイド東北 Guide Tohoku

2015.3.14
誕生

2200のコンテンツでスタート！
今後も継続的に質・量両面で充実していきます。



iOS版　ダウンロードはこちらから　Android版

公共事業の円滑な施工の確保

東日本大震災の被災地の復興を加速化するため、円滑な施工確保のための様々な取り組みを行っています。

主な取り組み

・最新の労務単価の適用等による適正な価格による契約
・地域企業の活用に配慮しつつ発注ロットの大型化等による技術者・技能者の効率的活用
・入札契約手続きの効率化等
・資材の確保対策
・被災自治体、地元建設業団体との意見交換

関係省庁、地方公共団体、民間事業者等が参加する「復興加速化会議」を平成25年3月から開催し、被災地の状況の把握・共有と正確な情報の発信をするとともに、課題に対する取り組みを実施しています。

第4回（H26.9.27）

・「災害公営住宅工事確実実施プログラム」を開始する
・学校・庁舎・病院等の公共建築工事の確実かつ円滑な実施のため「営繕積算方式」の普及促進を図る

第5回（H27.1.31）

・入札不調対策として、クレーン費用を見直すなどの対応を行い、工事コストの適正化を図る
・更なる加速を目指し、復興庁等とも連携して被災自治体の実態把握に努める

被災自治体、地元建設業団体との意見交換

第5回復興加速化会議以降に被災3県沿岸市町村及び地元建設業団体との意見交換を実施。



名取市、岩沼市、地元建設業団体との意見交換（西村副大臣）

意見交換実績

月　日	被災自治体
1月31日	仙台市
2月3日	大船渡市
2月14日	陸前高田市
2月15日	相馬市、南相馬市
2月18日	気仙沼市、南三陸町、石巻市
2月19日	女川町、東松島市
2月21日	名取市、岩沼市、亘理町、山元町
2月24日	宮古市
3月3日	大槌町、釜石市
3月7日	山田町
3月18日	松島町、塩竈市、多賀城市
3月23日	いわき市
3月24日	利府町、七ヶ浜町
3月27日	新地町、広野町
3月27日	洋野町、久慈市、野田村、普代村、田野畑村、岩泉町

［ 参 考 ］

平成２７年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向け、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

概略ルート・構造の検討
（計画段階評価を進めるための調査）

青森県　津軽(つがる)自動車道　柏(かしわ)～浮田(うきた)

宮城県　国道４号　大衡(おおひら)地区

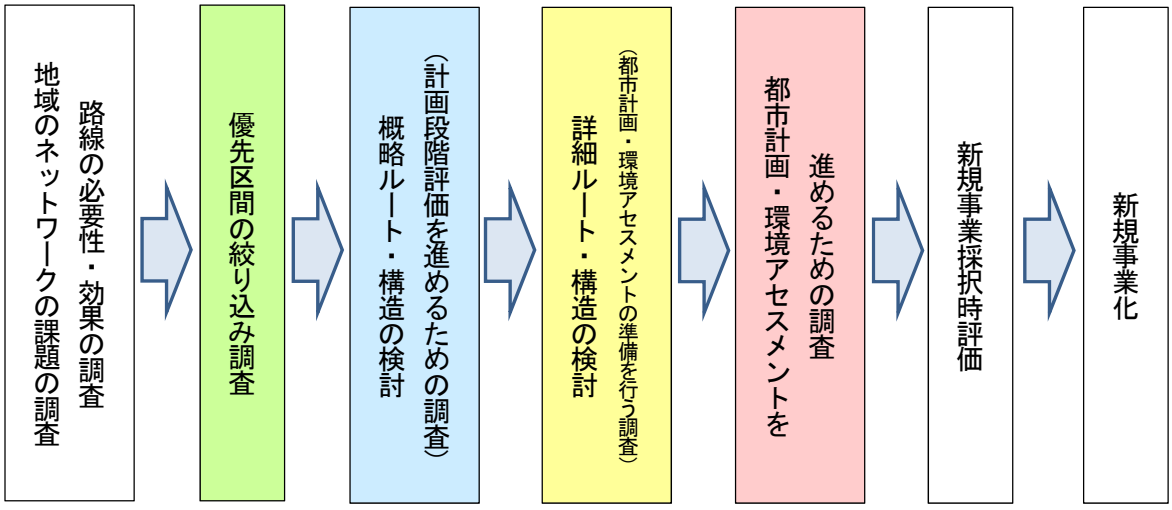
山形県・新潟県　新潟山形南部連絡道路（小国(おぐに)道路）

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めることとしています。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

なお、東北中央自動車道 及位(のぞき)～上院内(かみいんない)、金山町(かねやままち)区間については、実施環境整備として詳細なルート・構造を決定するための現地調査等を推進します。

＜道路調査の流れ＞



【平成27年度　新規事業化箇所一覧】

事業区分		事業名	県名	市町村名	完成・開通目標年度	H27事業費（百万円）	H27事業内容	頁
道路	直轄	国道7号　青森7号交差点改良等（矢立登坂車線整備）	青森県	平川市	—	30	調査設計、用地補償	
道路	直轄	国道4号　岩手4号交差点改良等（青岩地区歩道整備）	青森県 岩手県	三戸郡三戸町 ～二戸市	—	30	調査設計	
道路	直轄	国道45号　岩手45号電線共同溝（愛宕地区）	岩手県	宮古市	H28	60	引込・連系管路工事	
公園	直轄	国営追悼・祈念施設整備事業（岩手県陸前高田市高田松原地区）	岩手県	陸前高田市	H32	100	基本設計、測量、地質等調査	P17
河川	直轄	阿武隈川下流　河川改修事業（亘理地区）	宮城県	亘理町	H30年代	（457）	浸透対策	
河川	直轄	名取川　河川改修事業（閖上地区）	宮城県	名取市	H30年代	（167）	河川防災ステーション基盤盛土	P18
河川	直轄	名取川　閖上地区かわまちづくり	宮城県	名取市	H30年代	（33）	調査設計等	P18
河川	直轄	鳴瀬川　河川改修事業（吉田川中流地区）	宮城県	黒川郡 大郷町	-	（2,343）	河道掘削	
道路	直轄	国道48号　湯渡戸橋架替	宮城県	仙台市	—	50	調査設計	P19
道路	直轄	国道48号　宮城48号交差点改良等（作並地区歩道整備）	宮城県	仙台市	—	42	調査設計	
公園	直轄	国営追悼・祈念施設整備事業（宮城県石巻市南浜地区）	宮城県	石巻市	H32	100	基本設計、測量、地質等調査	P20
営繕	直轄	仙台第2法務総合庁舎改修事業	宮城県	仙台市	H27	106	空調設備改修 給排水設備改修	
河川	補助	三種川床上浸水対策特別緊急事業	秋田県	三種町	H31	600	河道掘削等	P21
道路	直轄	国道13号　横堀道路	秋田県	湯沢市	—	100	調査設計	P22
道路	直轄	国道7号　秋田7号交差点改良等（能代地区線形改良）	秋田県	能代市	—	75	調査設計	P23
道路	直轄	国道7号　秋田7号電線共同溝（長倉地区）	秋田県	大館市	—	40	調査設計、支障移転補償	
営繕	直轄	秋田県警察学校改修事業	秋田県	秋田市	H27	8	耐震改修	
河川	直轄	最上川中流　河川改修事業（蔵岡地区）	山形県	最上郡 戸沢村	H29	（405）	樋門改築	
河川 （砂防）	直轄	最上川水系砂防事業（肝煎沢第1砂防堰堤） （横道赤砂第1砂防堰堤）（赤砂第3砂防堰堤）（横岫沢砂防堰堤）	山形県	東田川郡庄内町、 最上郡大蔵村、 西村山郡西川町	H30年代	（2,402）	砂防堰堤工	
河川 （砂防）	直轄	赤川水系砂防事業 【鱒淵沢第1砂防堰堤】（十座沢砂防堰堤）	山形県	鶴岡市	H30年代	（791）	砂防堰堤工	P24
河川 （砂防）	直轄	阿武隈川水系砂防事業（前川第3砂防堰堤）	山形県	米沢市	H30年代	（742）	砂防堰堤工	
道路	直轄	国道13号　新庄金山道路	山形県	新庄市～ 最上郡金山町	—	100	調査設計	P25
道路	直轄	国道48号　山形48号交差点改良等（山口歩道整備）	山形県	天童市	—	12	調査設計	
営繕	直轄	新庄地方合同庁舎改修事業	山形県	新庄市	H27	64	外壁改修 屋根改修	

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※　事業費の（　）の金額は、当該河川・山系・水系全体の事業費

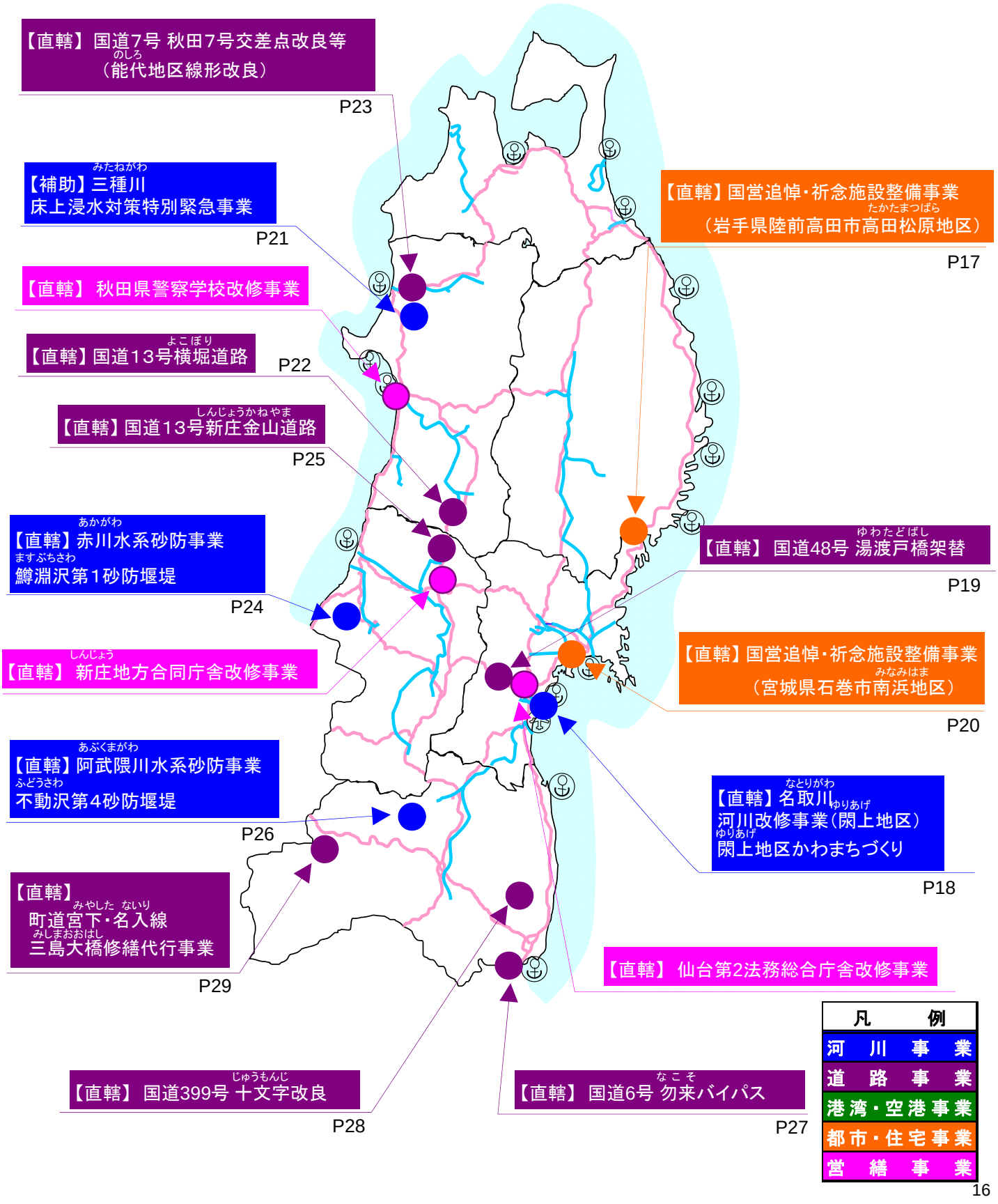
【平成27年度　新規事業化箇所一覧】

事業区分		事業名	県名	市町村名	完成・開通目標年度	H27事業費（百万円）	H27事業内容	頁
河川（砂防）	直轄	阿武隈川水系砂防事業（不動沢第4砂防堰堤）	福島県	福島市	H30年代	（742）	砂防堰堤工	P26
道路	直轄	国道6号　勿来バイパス	茨城県 福島県	北茨城市～ いわき市	―	25	調査設計	P27
道路	直轄	国道399号　十文字改良　★	福島県	いわき市	―	300	調査設計、改良工事	P28
道路	直轄	国道4号　福島4号交差点改良等（国見地区付加車線整備）	福島県	伊達郡国見町	―	15	調査設計	
道路	直轄	町道宮下・名入線　三島大橋修繕代行事業	福島県	大沼郡三島町	－	100	調査設計、工事	P29
道路	補助	国道121号　下郷田島バイパス	福島県	南会津郡下郷町～ 南会津郡南会津町	－	40	調査設計	

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※　事業費の（　）の金額は、当該河川・山系・水系全体の事業費

【平成27年度　主な新規事業化箇所位置図】

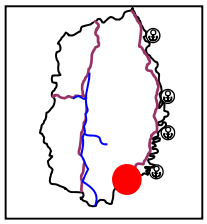


国営追悼・祈念施設整備事業

H27：100百万円	
完成予定：H32	

新規	岩手県陸前高田市高田松原地内	公園	直轄

【事業の概要】
　東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、岩手県と陸前高田市と連携の下、岩手県が陸前高田市高田松原地区に整備する「高田松原津波復興祈念公園」の中に、中核となる丘や広場等の施設を整備します。





【整備効果】
　本施設の整備により、東日本大震災の犠牲者への追悼・鎮魂、教訓の伝承、復興の象徴の場が形成されるとともに、多様な主体が参画できる場が形成され、地域住民の安全確保等の効果が見込まれます。

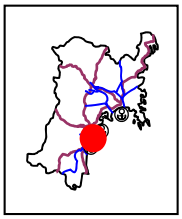
【平成27年度の事業内容】
　平成27年度は基本設計、地質等調査及び測量を実施します。

名取川　閖上地区かわまちづくり		H27：33百万円※ 完成予定：H30年代	
新規	宮城県名取市	河川	直轄

名取川　河川改修事業（閖上地区）		H27：167百万円※ 完成予定：H30年代	
新規	宮城県名取市	河川	直轄

※上記の事業費は、事業別の当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
東日本大震災で甚大な被害を受け、復興まちづくりを進める名取市閖上地区において、水辺空間と一体となった賑わいのあるまちづくりを実施する「かわまちづくり」と、洪水等緊急時の復旧を迅速に行うための拠点となる「河川防災ステーション」の整備を行い、閖上地区の復興・再建を支援します。







▲河川防災ステーション整備イメージ（災害時）

【整備効果】
高水敷整正等を実施し、河川空間を利用したまちづくりの推進に貢献します。
緊急資材を備蓄し、水防活動の拠点になるほか、災害発生時の避難場所としても機能します。



▲かわまちづくりによる堤防周辺の整備イメージ



▲高水敷を整正し、多目的広場として利用（イメージ）

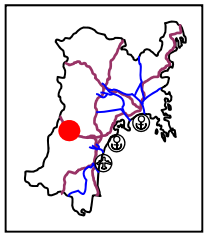
【平成27年度の事業内容】
かわまちづくり：名取市と連携を図り、全体計画検討・設計を実施します。
河川改修事業：河川防災ステーションの基盤盛土を実施します。

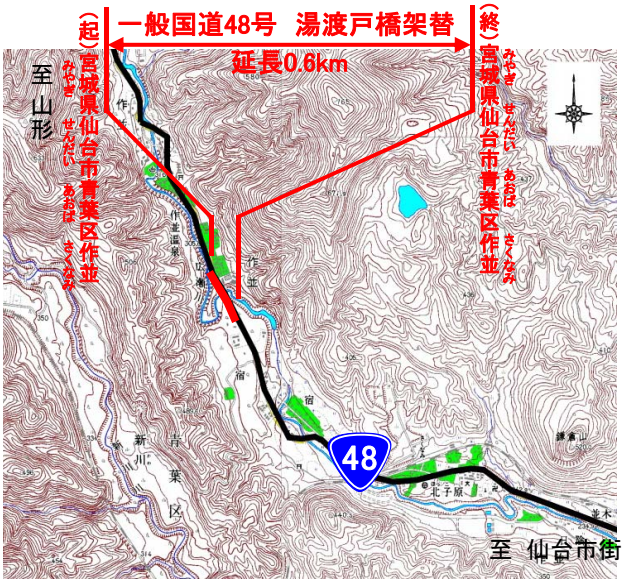
国道48号　湯渡戸橋架替

H27：50百万円

新規	宮城県仙台市	道路	直轄

【事業の概要】
湯渡戸橋（橋長94m）は有効幅員が6.2mと非常に狭く、橋梁上で大型車同士のすれ違いが困難な状況となっており、主要幹線道路としての機能が低下しているため、橋梁架替による通行の安全確保を目的とした事業です。



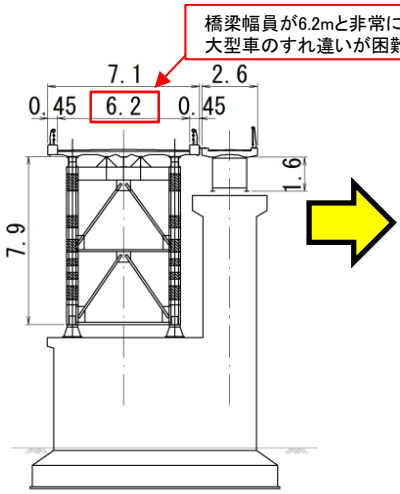




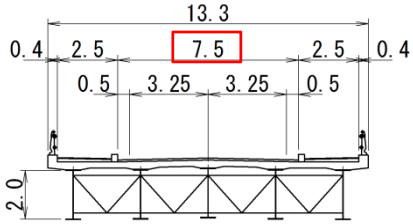
▲湯渡戸橋全景

【整備効果】
○橋梁架替により、幅員狭小区間の解消を図り、主要幹線道路としての機能を確保し、信頼性の高い道路ネットワークを形成します。

現況断面図



計画断面図（架替後）



単位：m



▲大型車同士のすれ違い状況

【平成27年度の事業内容】 調査設計等を実施します。

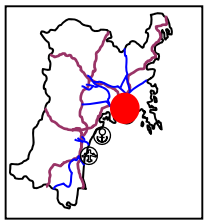
国営追悼・祈念施設整備事業

H27：100百万円

完成予定：H32

新規	宮城県石巻市南浜地内	公園	直轄

【事業の概要】
　東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、宮城県と石巻市と連携の下、宮城県が石巻市南浜地区に整備する「石巻市南浜地区復興祈念公園（仮称）」の中に、中核となる丘や広場等の施設を整備します。





【整備効果】
　本施設の整備により、東日本大震災の犠牲者への追悼・鎮魂、教訓の伝承、復興の象徴の場が形成されるとともに、多様な主体が参画できる場が形成され、地域住民の安全確保等の効果が見込まれます。

【平成27年度の事業内容】
　平成27年度は基本設計、地質等調査及び測量を実施します。

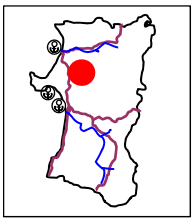
三種川床上浸水対策特別緊急事業

H27：600百万円

完成予定：H31

新規	秋田県山本郡三種町	河川	補助

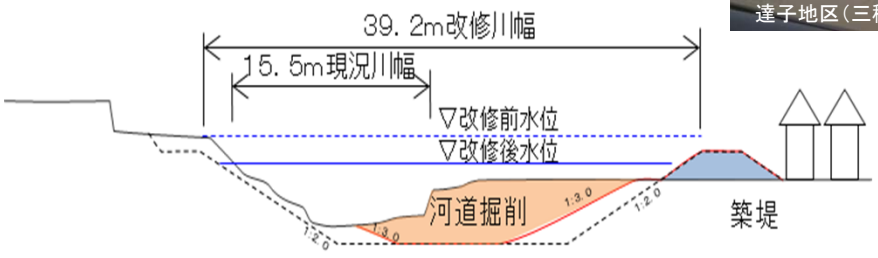
【事業の概要】
　平成25年9月洪水により甚大な被害を被ったことから、平成27年度より床上浸水被害の解消を目的に河川改修事業を実施します。





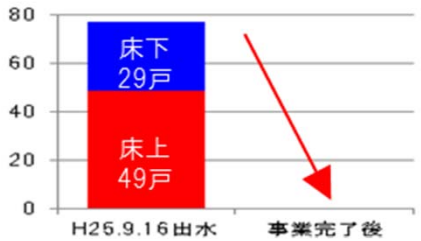
【整備効果】
　河道掘削、築堤等の河川改修事業によって、事業完了時に平成25年9月洪水と同規模の洪水に対して家屋浸水被害が解消されます。

横断図









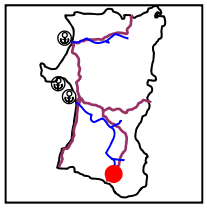
【平成 27年度の事業内容】
河道掘削等を実施します。

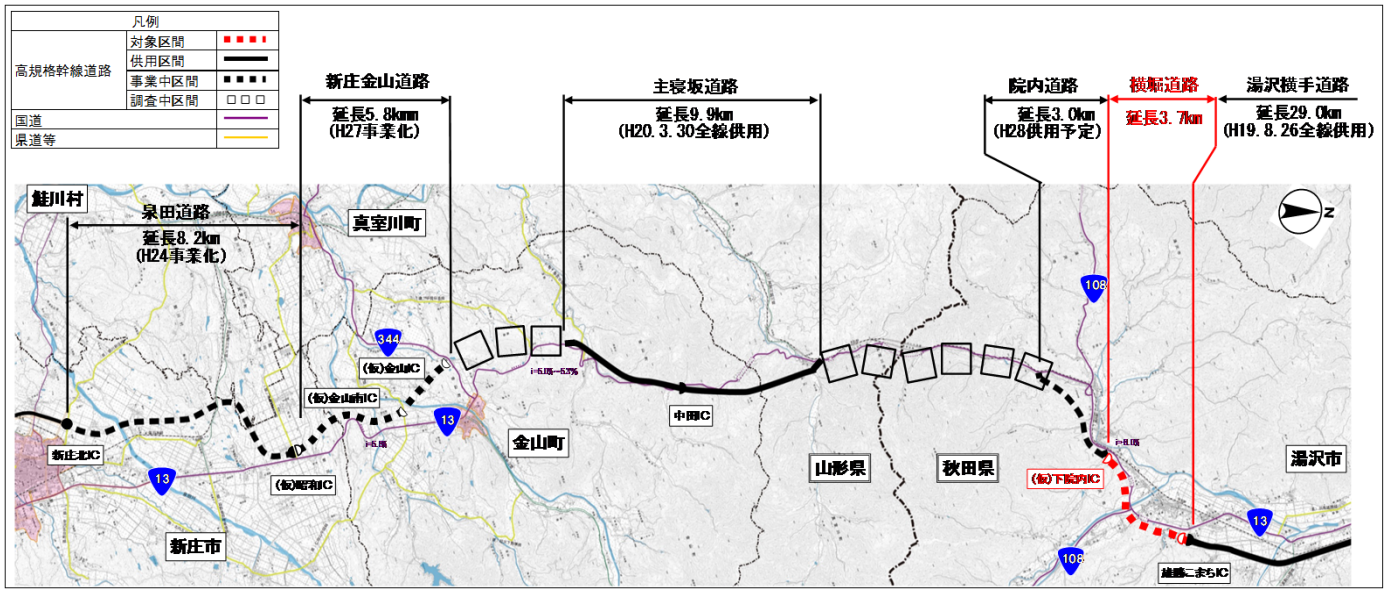
国道13号　横堀（よこぼり）道路

H27：100百万円

新規	秋田県湯沢（ゆざわ）市	道路	直轄

【事業の概要】
横堀（よこぼり）道路は、東北中央自動車道の一部を構成し、冬期交通機能を確保するとともに、高速ネットワークが形成されることで企業進出などの民間投資の促進を目的とする自動車専用道路です。

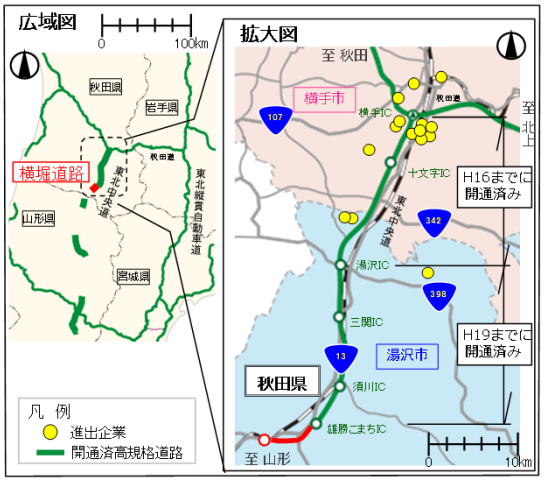




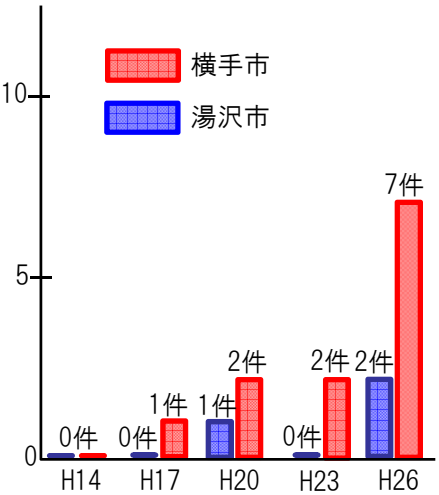
【整備効果】
○冬期の幅員減少や路面凍結による速度低下などの課題を抱える豪雪地帯の湯沢（ゆざわ）市において、雪に強いネットワークが確保されます。
○信頼性の高い道路ネットワークが延伸されることで速達性が確保され、企業進出などの民間投資の促進が期待されます。



▲積雪による車道幅の減少



▲高速道路整備に伴い企業進出が進んだ横手市



▲横手市と湯沢市の企業進出数

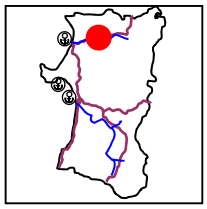
【平成27年度の事業内容】 調査設計等を実施します。

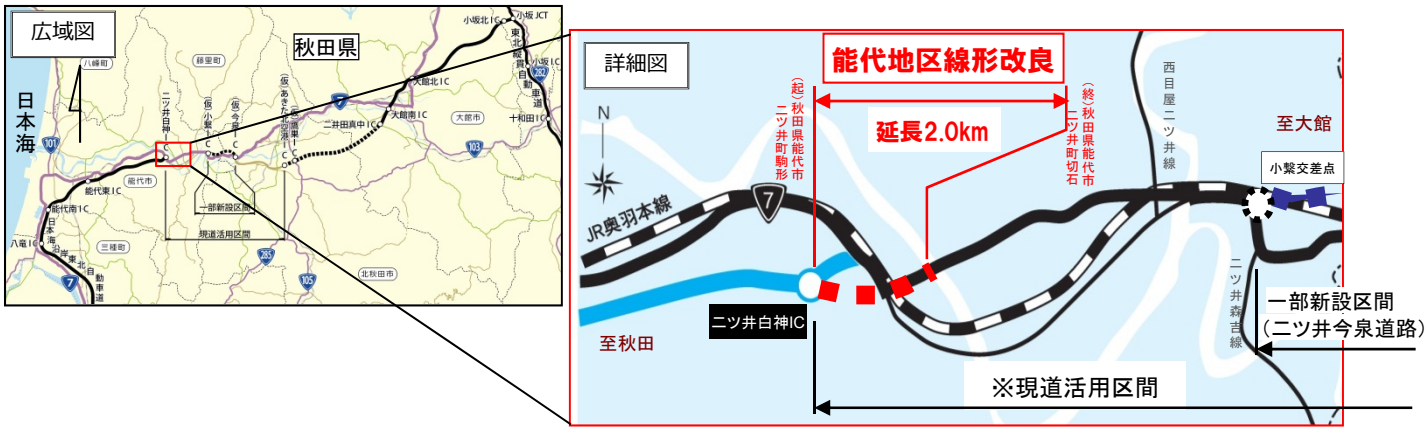
一般国道7号　秋田7号交差点改良等（能代地区線形改良）

H27：75百万円

新規	秋田県能代市	道路	直轄

【事業の概要】
能代地区線形改良は、急勾配・急カーブがあることで交通事故が発生している区間の線形改良を実施することで、交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。



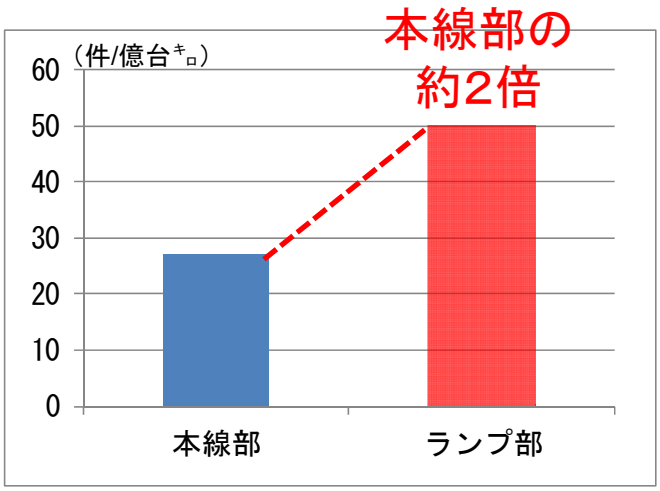


※現道活用区間：現道の局部的な改良により安全性、定時性、速達性の向上を図ることで、高規格幹線道路ネットワークの一部として活用する区間

【整備効果】
〇線形不良が解消されることで、交通事故の削減及び交通の円滑化が期待されます。



▲急勾配・急カーブ区間での大型車の横転による死亡事故



※ 琴丘能代道路 能代東IC～二ツ井白神IC付近の死傷事故率(H21～H24)

▲ランプ部の事故率は本線部の約2倍

【平成27年度の事業内容】調査設計等を実施します。

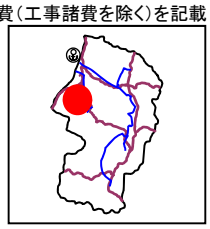
赤川水系砂防事業　鱒淵沢第１砂防堰堤

H27：791百万円※

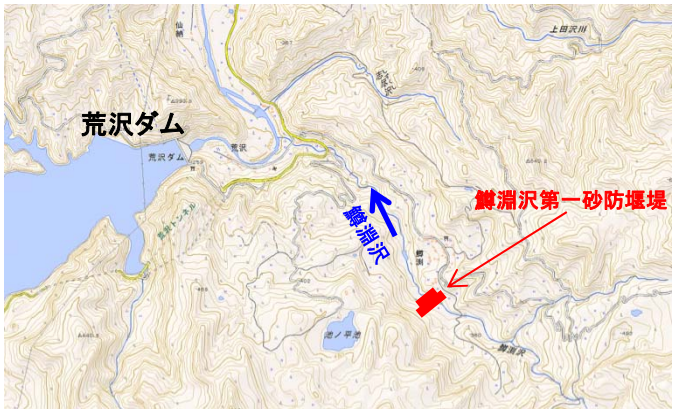
完成予定：H30年代

新規	山形県鶴岡市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載



【事業の概要】
荒廃が著しい鱒淵沢において、下流への土砂流出による被害を防止するため砂防堰堤を整備します。



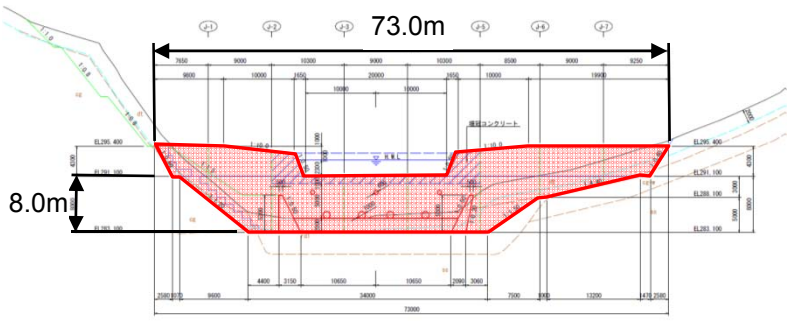
鱒淵沢第１砂防堰堤位置図



【整備効果】
鱒淵沢第１砂防堰堤を含む今後30年間で整備する砂防施設32基により、土石流等による氾濫面積を約940ha減少させるとともに、約830戸の家屋被害を軽減します。



鱒淵沢中流部における地すべり（H17.8）



砂防堰堤正面図

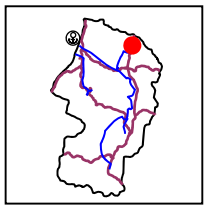
【平成27年度の事業内容】
工事用道路、砂防堰堤を整備します。

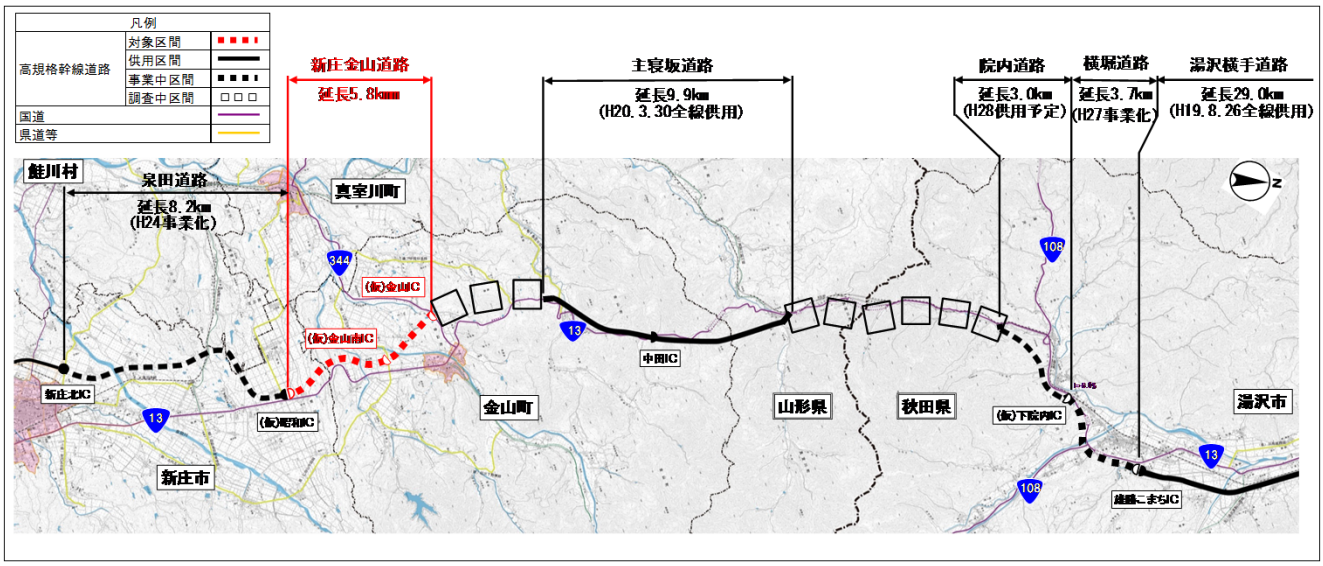
国道13号　新庄金山道路

H27：100百万円

新規	山形県新庄市～最上郡金山町	道路	直轄

【事業の概要】
新庄金山道路は、東北中央自動車道の一部を構成し、冬期渋滞の解消と日常生活の円滑な移動を確保するとともに、高速ネットワークが形成されることで企業進出と雇用の喚起などを目的とする自動車専用道路です。



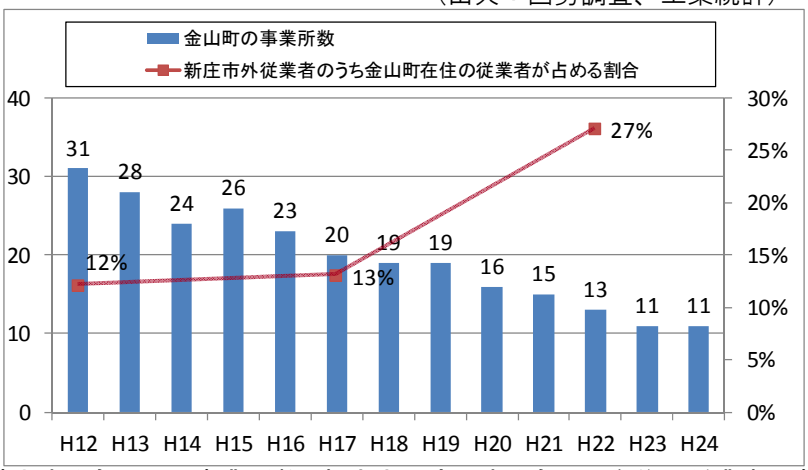


【整備効果】
○不定期かつ頻繁に行われる運搬排雪による交通機能の低下を解消することで、日常生活の円滑な移動を確保できます。
○福島市～山形県北地域を結ぶ高速ネットワークが延伸されることで、工場等の立地条件が改善し、企業進出と雇用喚起が期待されます。



▲運搬排雪に伴う渋滞

（出典：国勢調査、工業統計）



▲減少する金山町の事業所数と新庄市に流出する金山町在住の従業者の割合

【平成27年度の事業内容】 調査設計等を実施します。

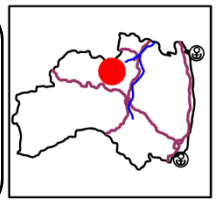
阿武隈川水系直轄砂防事業　不動沢第4砂防堰堤

H27：742百万円※
完成予定：H30年代

新規	福島県福島市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
須川は吾妻山火山噴火による降灰後の土石流発生が懸念されるとともに、荒廃も著しく土砂生産が活発であり、福島市街地、東北自動車道等の重要交通網を保全するため、砂防堰堤を整備します。







【整備効果】
不動沢第4砂防堰堤を含む今後30年間で整備する砂防施設50基により、土石流等による氾濫面積を約1,400ha減少させるとともに、約5,900戸の家屋被害を軽減します。



吾妻山の状況



下流域の保全対象(福島市街地)

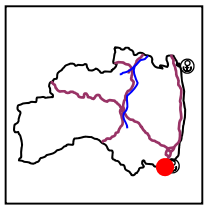
【平成27年度の事業内容】
砂防堰堤工事着手に向けて、用地調査等を実施します。

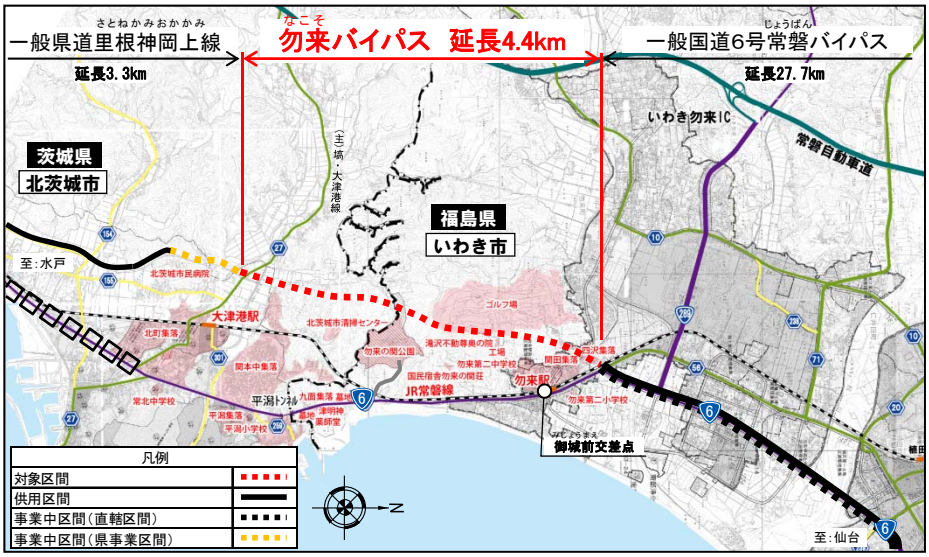
国道6号　勿来バイパス

H27：25百万円
（福島県）

新規	茨城県北茨城市～福島県いわき市	道路	直轄

【事業の概要】
勿来バイパスは、国道6号の茨城・福島県境における津波浸水区間の回避と渋滞緩和等を目的とする道路です。





【整備効果】
○津波浸水等の災害リスクを回避するネットワークが確保できます。
○渋滞の緩和、アクセス改善により、未だ回復途上にある茨城・福島県境沿岸地域の観光地再生が期待されます。



▲国道6号（御城前交差点付近）の状況



▲国道6号沿線の主要観光施設

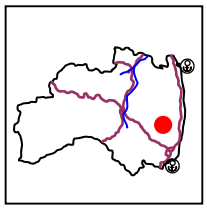
【平成27年度の事業内容】 調査設計等を実施します。

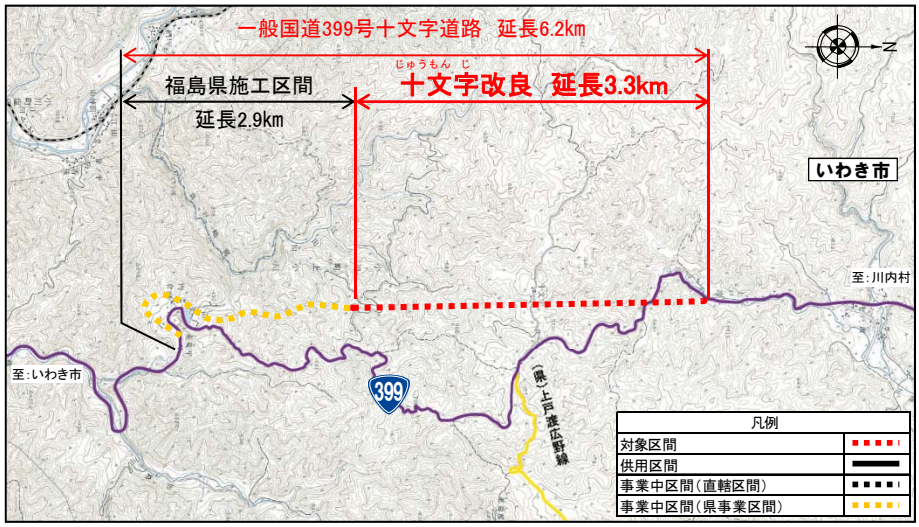
国道399号　十文字改良

H27：300百万円

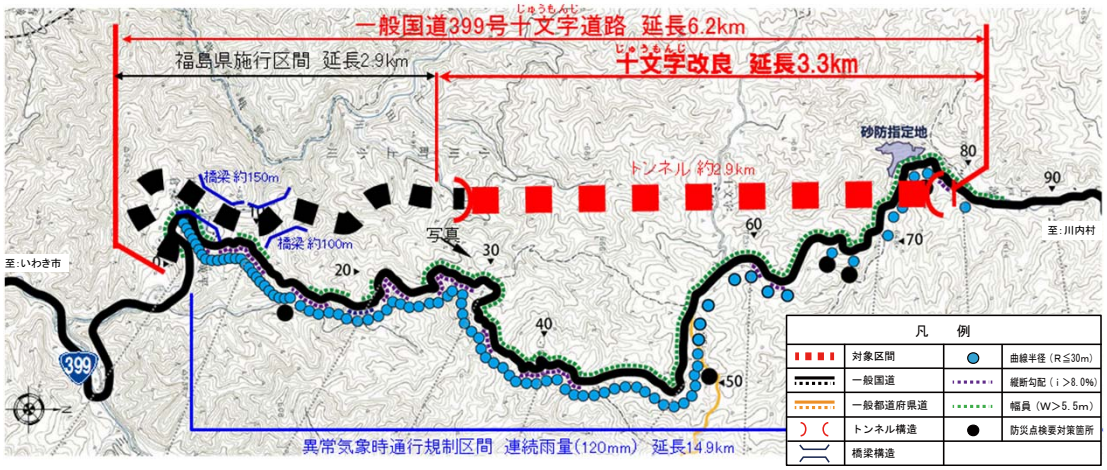
新規	福島県いわき市	道路	直轄

【事業の概要】
十文字改良は、国道399号の事前通行規制区間や防災危険箇所、未改良区間の回避により、住民生活等における定時性や速達性の確保を目的とする防災事業ですが、改築規模が大きく、長大トンネルの施工を要し、高度な専門技術を必要とすることから、国による代行事業として整備するものです。





【整備効果】
○事前通行規制区間や防災危険箇所、線形不良及び幅員狭小などの未改良区間の回避により、住民生活等における安心・安全な交通が確保されます。
○東日本大震災に伴う原子力災害からの、避難解除等区域の復興・再生を支援します。
（避難指示解除準備区域の解除が進む川内村の帰村を支援します。）



▲国道399号の状況





▲幅員狭小・線形不良状況

【平成27年度の事業内容】 調査設計・改良工事等を実施します。

町道宮下(みやした)・名入(ないり)線　三島大橋(みしまおおはし)修繕代行事業

H27：100百万円

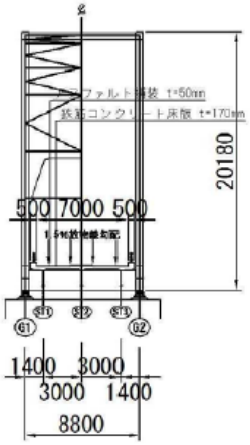
新規	福島県大沼(おおぬま)郡三島町(みしままち)	道路	直轄

【事業の概要】

三島大橋は三島町が管理する町道宮下名入線の只見川に架かる橋梁であり、高力ボルトの破断・脱落及び鋼部材の塗装や床版の劣化損傷が進行しているが、補修には高度な専門知識等を要することから、国による修繕代行事業として橋梁保全対策を行うものです。







▲標準断面図

【整備効果】

橋梁保全対策の実施により、橋梁の健全度の確保や延命化を図り、安全かつ円滑な車両の通行を確保します。



▲三島大橋 全景



▲アーチリブの高力ボルト破断・抜け落ち状況



▲補剛桁の高力ボルト破断・抜け落ち状況

【平成27年度の事業内容】 調査設計・補修工事等を実施します。

【平成27年度　完成・開通予定事業一覧】

事業区分		事業名	県名	市町村名	H27事業費（百万円）	H27事業内容	頁
河川	補助	馬淵川床上浸水対策特別緊急事業	青森県	南部町 三戸町	694	河道掘削	P33
道路	直轄	国道101号　鰺ヶ沢道路	青森県	つがる市～ 鰺ヶ沢町	2,440	全線2車線開通 改良・橋梁・舗装工事	P34
道路	直轄	国道104号　青森104号交差点改良等（苫米地交差点改良）	青森県	三戸郡 南部町	120	交差点改良 用地補償、改良舗装工事	
港湾	直轄	青森港　沖館地区・油川地区　防波堤整備事業	青森県	青森市	890	防波堤本体工	P35
河川（砂防）	直轄	★八幡平山系砂防事業　西根牧野沢砂防堰堤	岩手県	八幡平市	（274）	砂防堰堤工	P36
道路	直轄	国道4号　盛岡北道路	岩手県	盛岡市～ 滝沢市	1,189	全線4車線開通 橋梁・舗装工事	
道路	直轄	★東北横断自動車道釜石秋田線　遠野～宮守	岩手県	遠野市	3,029	全線2車線開通 舗装工事	P37
道路	直轄	★国道45号　三陸沿岸道路（吉浜道路）	岩手県	大船渡市	1,325	全線2車線開通 改良・橋梁・舗装工事	P38
道路	直轄	★国道106号　宮古盛岡横断道路（都南川目道路）	岩手県	盛岡市	3,340	部分2車線開通（(仮称)川目IC～(仮称)田の沢IC） トンネル・舗装工事	
道路	直轄	国道45号　岩手45号交差点改良等（気仙歩道整備）	岩手県	陸前高田市	60	歩道整備 延長0.5km 調査設計、改良舗装工事	
道路	直轄	国道4号　岩手4号交差点改良等 （三ケ尻交差点改良）	岩手県	胆沢郡金ケ崎町	270	調査設計、用地補償、改良・舗装工事	
河川	直轄	★阿武隈川下流　河川改修事業	宮城県	岩沼市	391	液状化対策	
河川	直轄	★名取川　河川改修事業	宮城県	名取市	273	堤防嵩上げ	
河川（砂防）	直轄	栗駒山系特定緊急砂防事業（湯ノ倉砂防堰堤）【湯浜砂防堰堤】	宮城県	栗原市	（1,032）	砂防堰堤工	P39
道路	直轄	国道45号　坂下拡幅	宮城県	仙台市	116	全線4車線開通 舗装工事	
道路	直轄	国道108号　花渕山バイパス	宮城県	大崎市	1,300	全線2車線開通 舗装工事	P40
道路	直轄	★国道45号　三陸沿岸道路（仙塩道路）	宮城県	仙台市～ 宮城郡利府町	1,551	全線4車線開通 改良・橋梁工事	
道路	直轄	★国道45号　三陸沿岸道路（矢本石巻道路）	宮城県	東松島市～ 石巻市	1,955	全線4車線開通 改良・橋梁・舗装工事	
道路	直轄	★国道45号　三陸沿岸道路（登米志津川道路）	宮城県	登米市～ 本吉郡南三陸町	900	全線2車線開通 舗装工事	P41
道路	直轄	国道4号　築館バイパス	宮城県	栗原市	400	部分2車線開通(栗原市志波姫 地内) 舗装工事	
道路	直轄	国道48号　宮城48号交差点改良等（泉橋線形改良）	宮城県	仙台市	150	視距改良 改良舗装工事	
道路	直轄	国道45号　宮城45号電線共同溝（日の出地区）	宮城県	仙台市	128	本体工事、路面復旧工事	
港湾	直轄	★仙台塩釜港　仙台港区　中野地区 国際物流ターミナル整備事業	宮城県	仙台市	3,520	岸壁本体工	P42

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※　事業費の（　）の金額は、当該河川・山系・水系全体の事業費

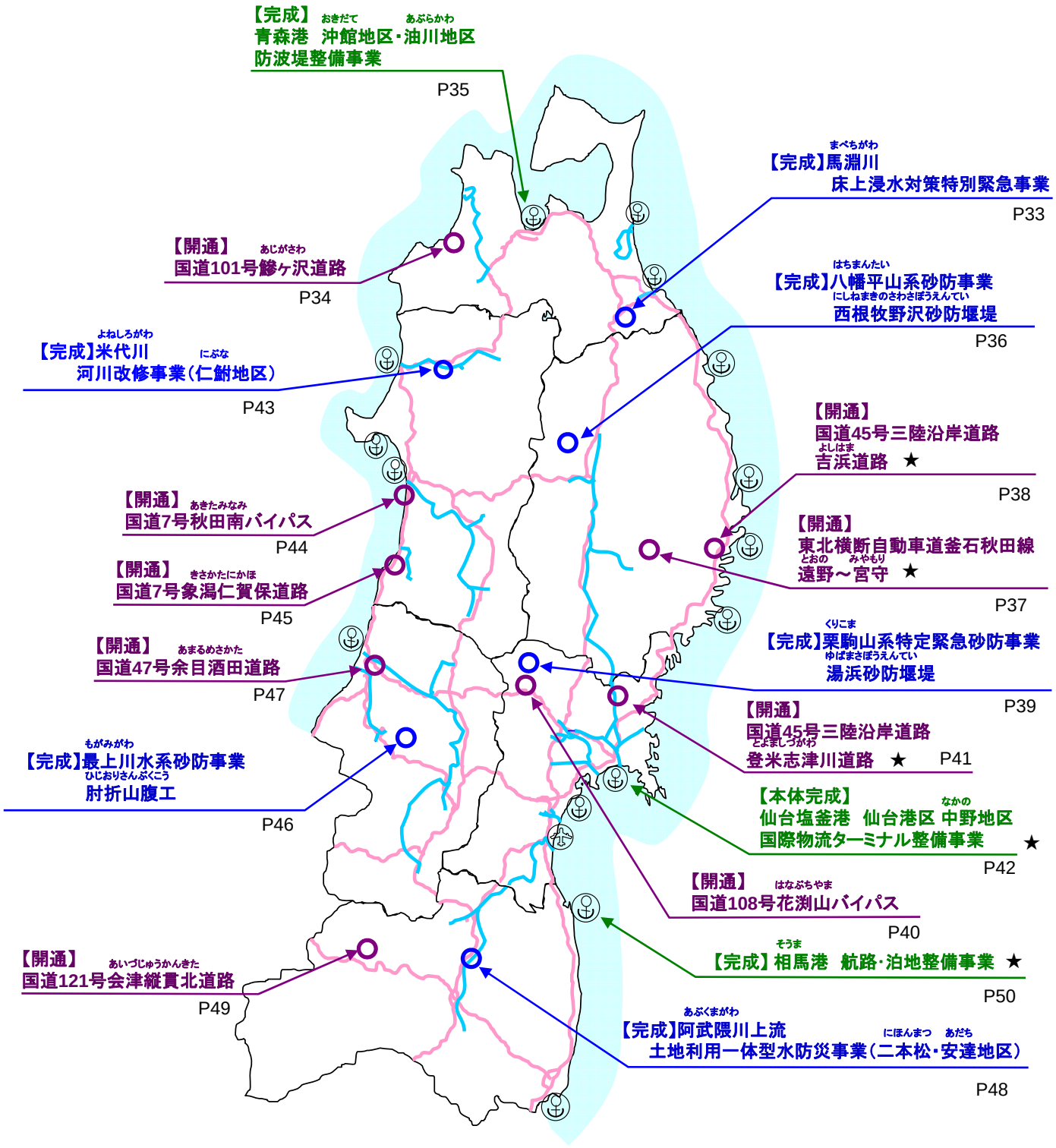
【平成27年度　完成・開通予定事業一覧】

事業区分		事業名	県名	市町村名	H27事業費（百万円）	H27事業内容	頁
河川	直轄	米代川　河川改修事業（山田渡地区）【仁鮒地区】	秋田県	大館市 能代市	（1,639）	樋門撤去 侵食対策	P43
道路	直轄	国道7号　秋田南バイパス	秋田県	秋田市	53	全線4車線開通 改良・舗装工事	P44
道路	直轄	国道7号　象潟仁賀保道路	秋田県	にかほ市	1,800	全線2車線開通 舗装工事	P45
道路	直轄	国道7号　秋田7号交差点改良等（長走登坂車線整備）	秋田県	大館市	144	登坂車線整備 延長1.4km 調査設計、用地補償、改良 舗装工事	
河川	直轄	最上川下流　河川改修事業（大川渡地区）	山形県	酒田市	（225）	浸透対策	
河川	直轄	最上川中流消流雪用水導入事業（岩ケ袋地区）	山形県	北村山郡 大石田町	168	電気設備、機械設備等	
河川 （砂防）	直轄	最上川水系砂防事業 （東大沢砂防堰堤）【肘折山腹工】（鎌笠沢砂防堰堤）	山形県	東田川郡庄内町 最上郡大蔵村 西村山郡西川町	（2,402）	砂防堰堤工 斜面対策工	P46
道路	直轄	国道47号　余目酒田道路	山形県	東田川郡庄内町 ～酒田市	5,535	部分2車線開通（酒田市新堀～酒田市東町） 改良・橋梁・舗装工事	P47
道路	直轄	国道47号　新庄古口道路	山形県	新庄市 ～最上郡戸沢村	2,009	部分2車線開通（新庄市本合海～新庄市升形） 改良・橋梁・舗装工事	
道路	直轄	国道113号　山形113号交差点改良等（梨郷歩道整備）	山形県	南陽市	72	歩道整備　延長0.9km 改良舗装工事	
道路	直轄	国道112号　山形112号電線共同溝（飯田西地区）	山形県	山形市	92	支障移転補償、本体工事	
河川	直轄	阿武隈川上流　土地利用一体型水防災事業（二本松・安達地区）	福島県	二本松市	440	嵩上げ等	P48
河川 （砂防）	直轄	阿武隈川水系砂防事業（東鴉川第5砂防堰堤）	福島県	福島市	（742）	砂防堰堤工	
道路	直轄	国道121号　会津縦貫北道路	福島県	喜多方市～ 会津若松市	1,354	全線2車線開通 改良・橋梁・舗装工事	P49
道路	直轄	国道4号　白河拡幅	福島県	西白河郡西郷村 ～白河市	300	全線4車線開通 改良・舗装工事	
道路	直轄	国道6号　常磐バイパス	福島県	いわき市	770	部分4車線開通 改良・橋梁・舗装工事	
道路	直轄	国道6号　久ノ浜バイパス	福島県	いわき市	1,632	全線2車線開通 改良・舗装工事	
道路	直轄	国道6号　福島6号交差点改良等（平塩交差点改良）	福島県	いわき市	21	交差点改良 改良舗装工事	
道路	直轄	国道49号　福島49号電線共同溝（亀田地区）	福島県	郡山市	266	支障移転補償、本体工事、路面復旧工事	
港湾	直轄	相馬港　航路・泊地整備事業　★	福島県	相馬市 新地町	2,400	浚渫工	P50

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※　事業費の（　）の金額は、当該河川・山系・水系全体の事業費

【平成27年度　主な完成・開通予定事業位置図】



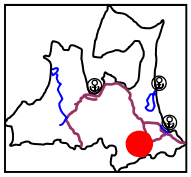
凡　例	
完成・開通予定事業	河　川　事　業
	道　路　事　業
	港 湾 ・ 空 港 事 業
	都 市 ・ 住 宅 事 業
	営　繕　事　業

馬淵川（まべちがわ）床上浸水対策特別緊急事業

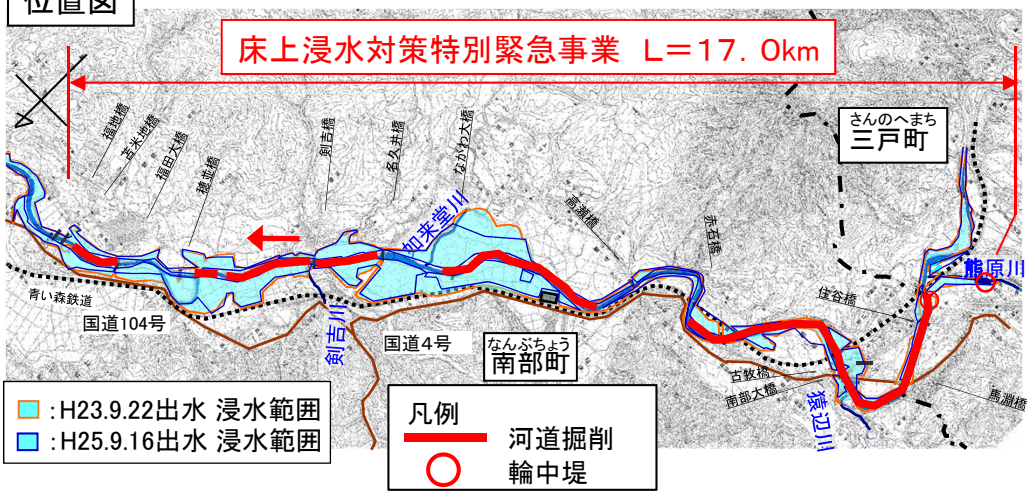
H27：694百万円

完成	青森県三戸郡南部町（さんのへぐんなんぶちょう）～青森県三戸郡三戸町（さんのへぐんさんのへまち）	河川	補助

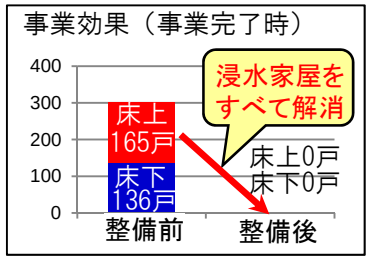
【事業の概要】
平成23年9月洪水により甚大な被害を被ったことから、平成24年度より床上浸水被害の解消を目的に河川改修事業を実施しており、早期の浸水被害解消に向けて河道掘削を実施します。



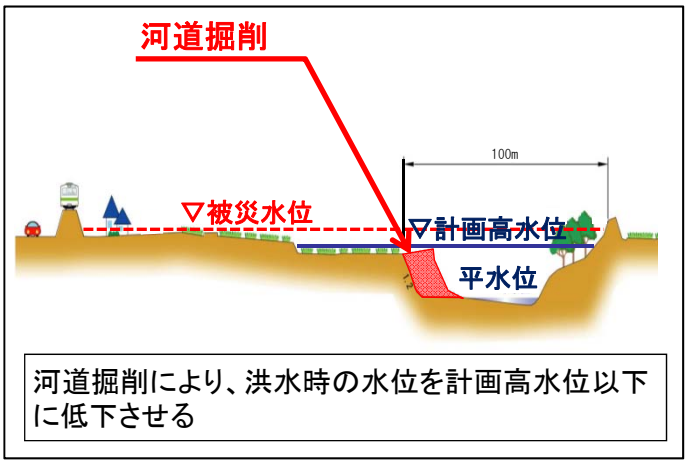
位置図







【整備効果】
河道掘削、輪中堤等の河川改修事業によって、平成23年9月洪水や平成25年9月洪水と同規模の洪水に対して家屋浸水被害が解消されます。



▲河道掘削　横断図



▲H25.9月 洪水時の状況

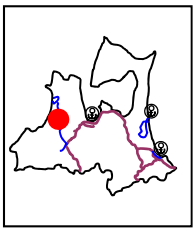
【平成27年度の事業内容】
河道掘削を実施し、当該事業を完成させます。

国道101号　鰺ヶ沢道路

H27：2,440百万円

開通	青森県つがる市～西津軽郡鰺ヶ沢町	道路	直轄

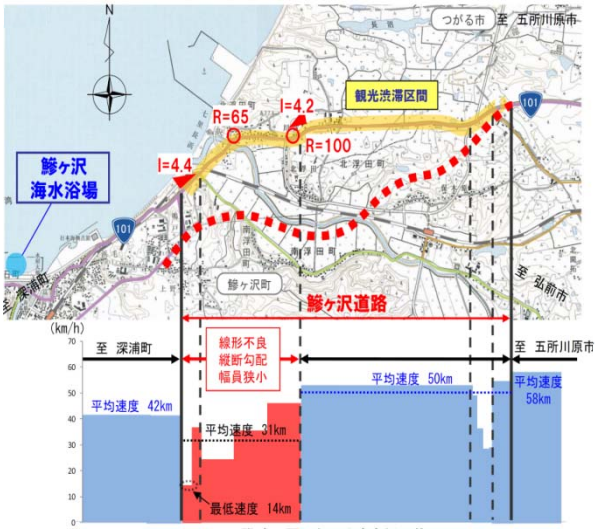
【事業の概要】
鰺ヶ沢道路は、津軽自動車道の一部を構成し、鰺ヶ沢町内の線形不良区間の解消や交通安全の確保及び代替機能確保を目的とする自動車専用道路です。



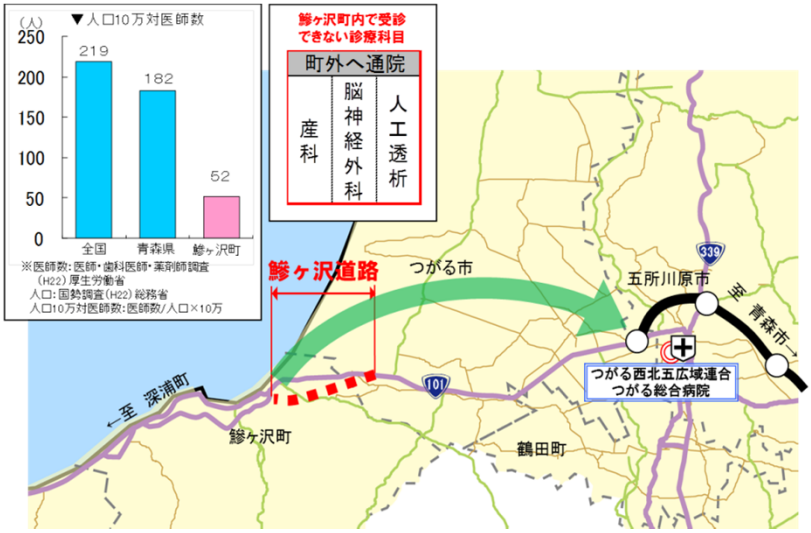




【整備効果】
・線形不良箇所や縦断勾配4%以上の隘路区間が解消され、走行性の向上が期待されます。
・鰺ヶ沢町では医師不足が深刻な問題となっており、町内で受診出来ない診療科目は五所川原市や青森市などへ車で通院している状況であり、鰺ヶ沢道路の整備により、通院時の安全性、速達性が確保されます。



▲線形不良・幅員狭小区間における速度低下状況

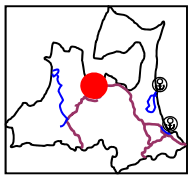


▲鰺ヶ沢町からの通院先医療施設位置図

【平成27年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、改良・橋梁・舗装工事等を実施します。

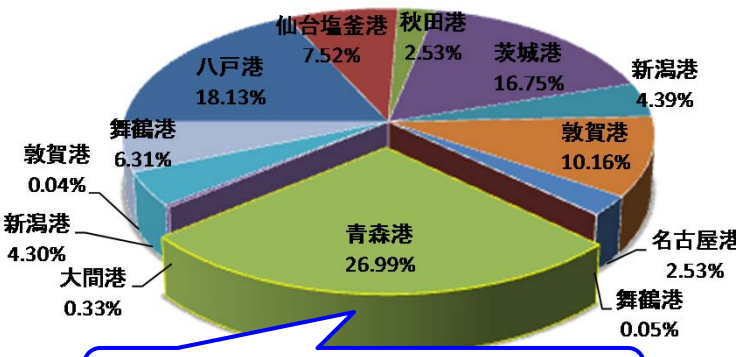
青森港（あおもりこう） 沖館地区（おきだて）・油川地区（あぶらかわ） 防波堤整備事業		H27：890百万円	
完成	青森県青森市	港湾	直轄

【事業の概要】
フェリーふ頭をはじめとする港内の岸壁における安全な荷役環境を確保するとともに、冬期風浪や高潮による浸水被害の低減を目的に、防波堤を整備します。

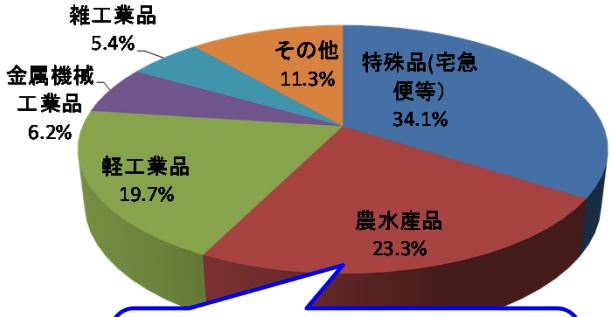




【整備効果】
防波堤整備により、本州・北海道間の物流の大動脈である青函フェリー等の安全な荷役を確保することで輸送コストの縮減を図るとともに、冬期風浪や高潮による浸水から生命・財産を守り、被害の低減と安全・安心の確保を図ります。



本州・北海道間のフェリー輸送貨物の約3割を占める



水産品や宅急便等の小荷物などを中心とした急ぎの貨物が多く、定時性が極めて重要

▲本州－北海道間のフェリー輸送貨物量の港別構成（左）と品目別構成（右）
（左；平成25年度港湾統計、右；平成24年度 青森港湾事務所調べ）

【平成27年度の事業内容】
防波堤本体工事を実施し、事業を完了させます。

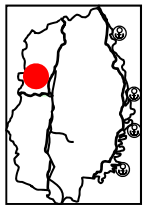
八幡平山系砂防事業　西根牧野沢砂防堰堤

H27：274百万円※

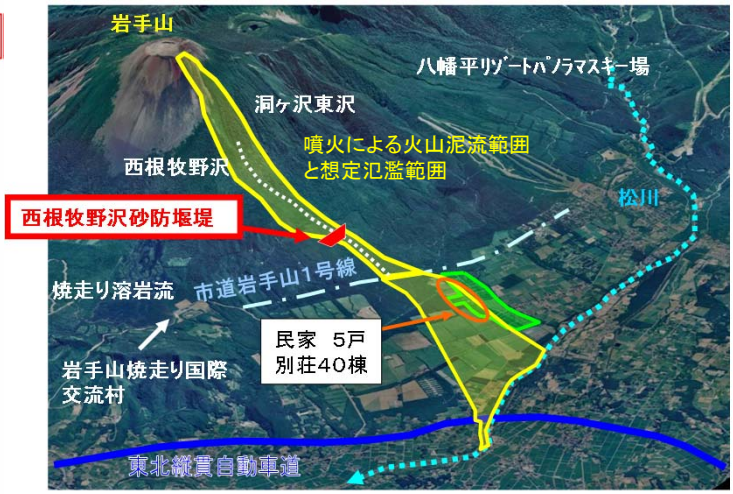
完成	岩手県八幡平市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該山系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
　活火山である岩手山の噴火や東北地方太平洋沖地震による不安定な土砂の流出が懸念されることから、砂防堰堤を整備し、地域の安全性の向上を図ります。







【整備効果】
　西根牧野沢砂防堰堤を含む今後30年間で整備する砂防施設42基により、土石流等による氾濫面積を約1,900ha減少させるとともに、約500戸の家屋被害を軽減します。



▲岩手山の状況（H12）



▲砂防堰堤施工状況（H26.12）

【平成27年度の事業内容】
砂防堰堤を整備し、当該箇所の事業を完成させます。

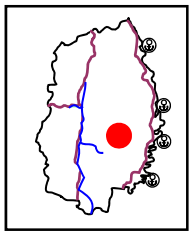
東北横断自動車道釜石秋田線　遠野～宮守

H27：3,029百万円

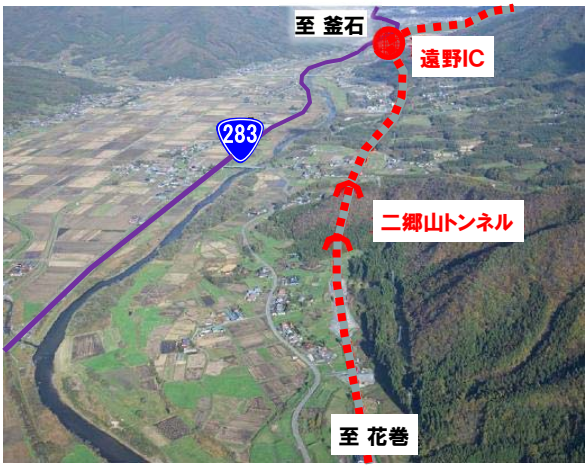
開通	岩手県遠野市	道路	直轄

【事業の概要】

東北横断自動車道釜石秋田線（遠野～宮守）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興支援、平常時も含めた緊急輸送圏域の拡大による安全・安心の確保及び、高規格幹線道路ネットワークを形成し速達性の向上を目的とする道路です。







【整備効果】

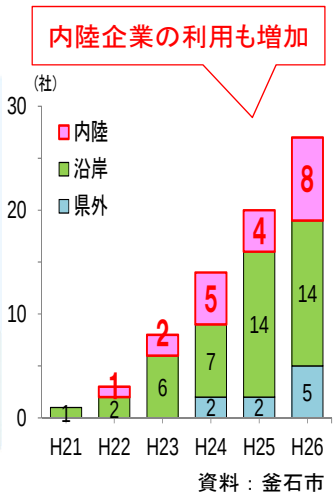
・東日本大震災被災地の早期復興に寄与します。

・当該道路の整備により、重要港湾釜石港と内陸地域の連携が強化され、更なる企業立地及び、物流の効率化に大きく寄与することが期待されます。



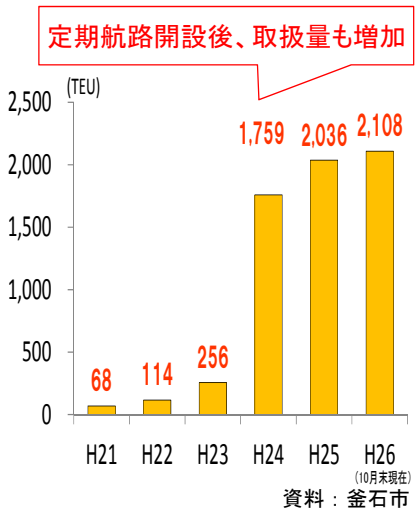
【資料】釜石市ホームページ

▲釜石港利用物流ルートの事例



資料：釜石市

▲釜石港利用企業数の変化



資料：釜石市

▲釜石港の
コンテナ取扱量の変化

【平成27年度の事業内容】

全線2車線開通に向けて、舗装工事等を実施します。

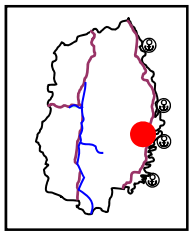
国道45号　三陸沿岸道路（吉浜道路）

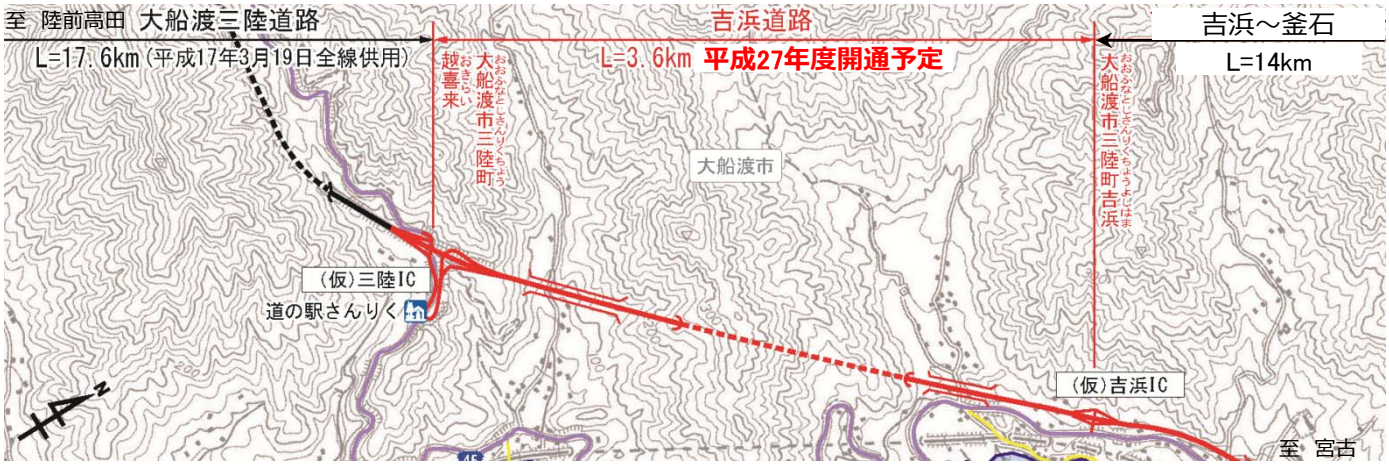
H27：1,325百万円

開通	岩手県大船渡市	道路	直轄

【事業の概要】

三陸沿岸道路（吉浜道路）は、三陸縦貫自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。





【整備効果】

・東日本大震災被災地の早期復興に寄与します。
・岩手県南地域の国道45号で最大の線形不良や急勾配区間の解消が図られ、冬期に集中して発生している死亡事故の削減が期待されます。

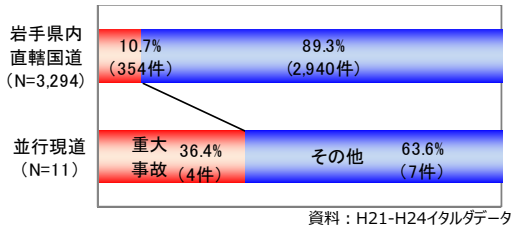


R＜150m　33箇所
i＞5%　5.3km（並行現道の約6割にあたる）

▲現道の隘路および死傷事故発生箇所

年月日	箇所	事故類型	死者数
H10.2.24	大船渡市三陸町吉浜	正面衝突	死亡1名
H12.12.27	大船渡市三陸町越喜来	正面衝突	死亡1名
H15.12.30	大船渡市三陸町吉浜	正面衝突	死亡2名
H16.1.24	大船渡市三陸町越喜来	正面衝突	死亡1名
H22.10.15	大船渡市三陸町越喜来	正面衝突	死亡1名
H25.3.23	大船渡市三陸町越喜来	正面衝突	死亡2名
H26.12.20	大船渡市三陸町越喜来	正面衝突	死亡1名

▲吉浜道路並行 現国道４５号　死亡事故履歴



資料：H21-H24イタルダデータ
※重大事故：死傷事故のうち、死亡者と重傷者が発生した事故

▲死傷事故発生状況



【平成27年度の事業内容】

全線2車線開通に向けて、改良・橋梁・舗装工事等を実施します。

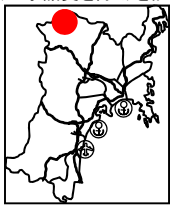
栗駒山系特定緊急砂防事業　湯浜砂防堰堤

H27：1,032百万円※

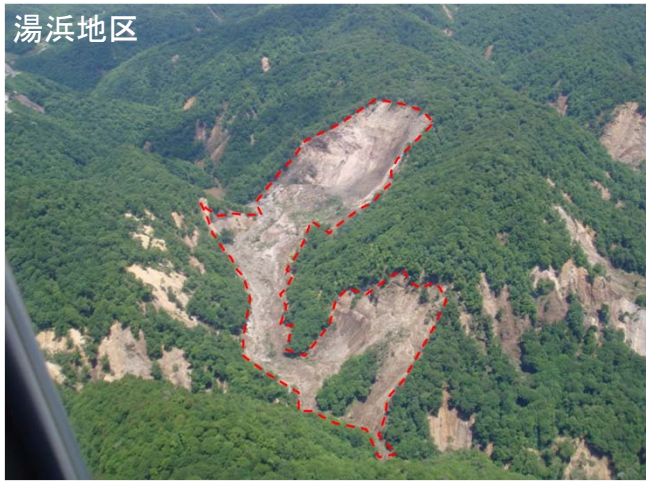
完成	宮城県栗原市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該山系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
　平成20年6月14日 岩手・宮城内陸地震により発生した多量の不安定土砂が、降雨により土石流化するおそれがあることから、砂防堰堤を整備し、土砂災害から家屋等を保全します。







H20岩手・宮城内陸地震による土砂崩壊

【整備効果】
　砂防堰堤の整備により、土砂流出による被害を軽減し、下流域の家屋等を保全します。



湯浜砂防堰堤施工位置


湯浜砂防堰堤施工状況

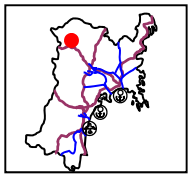
【平成27年度の事業内容】
　砂防堰堤を整備し、当該箇所の事業を完成させます。

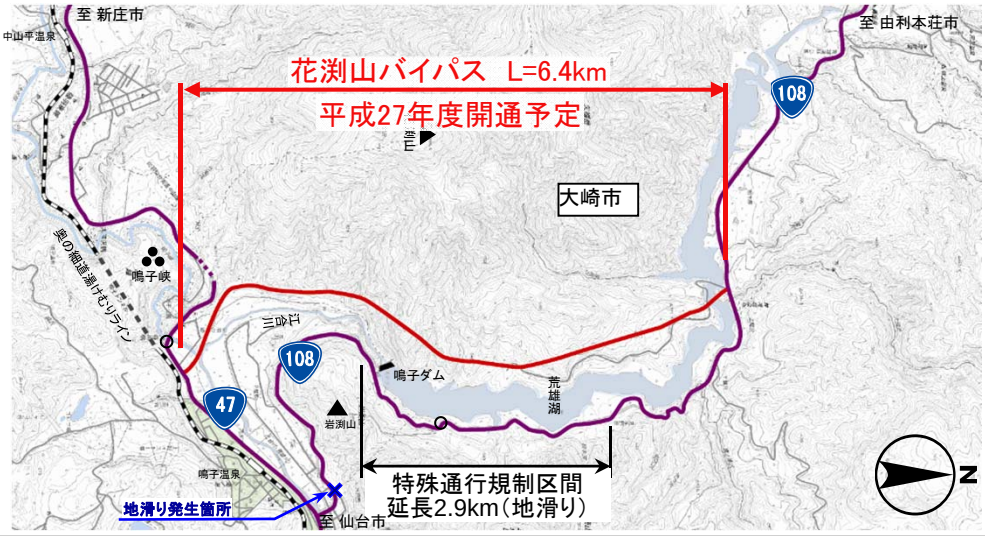
国道108号　花渕山（はなぶちやま）バイパス

H27：1,300百万円

開通	宮城県大崎（おおさき）市	道路	直轄

【事業の概要】
花渕山（はなぶちやま）バイパスは、 一般国道108号の幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、災害時における代替路の確保など、安全で円滑な交通の確保を目的とする道路です。





【整備効果】
・災害危険箇所及び特殊通行規制区間を回避することにより、信頼性の高い道路ネットワークを構築します。
・主要都市から鳴子温泉郷をはじめとする各観光拠点へのアクセス性の向上が図られ、更なる観光振興が期待されます。



▲花渕山バイパス周辺の観光拠点



▲国道108号　地滑り発生状況（H19.2）

【平成27年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、舗装工事等を実施します。

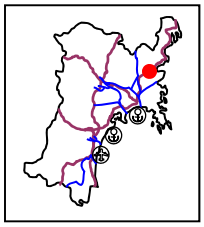
国道45号　三陸沿岸道路（登米志津川道路）

H27：900百万円

開通	宮城県登米市～本吉郡南三陸町	道路	直轄

【事業の概要】

三陸沿岸道路（登米志津川道路）は、三陸縦貫自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。



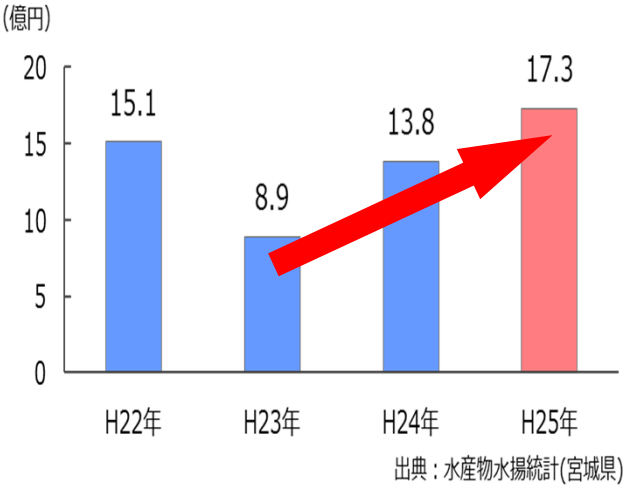




【整備効果】

・南三陸町の主要産業である水産物等の輸送効率化・鮮度の確保が図られ、水産業の復興を支援します。

・災害に脆弱な国道45号の代替路線として機能し、リダンダンシーが確保されます。



▲南三陸港　水揚漁獲金額推移



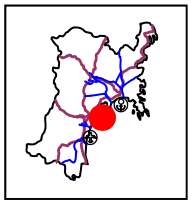
▲国道45号　過去の災害発生状況（H2～H25）

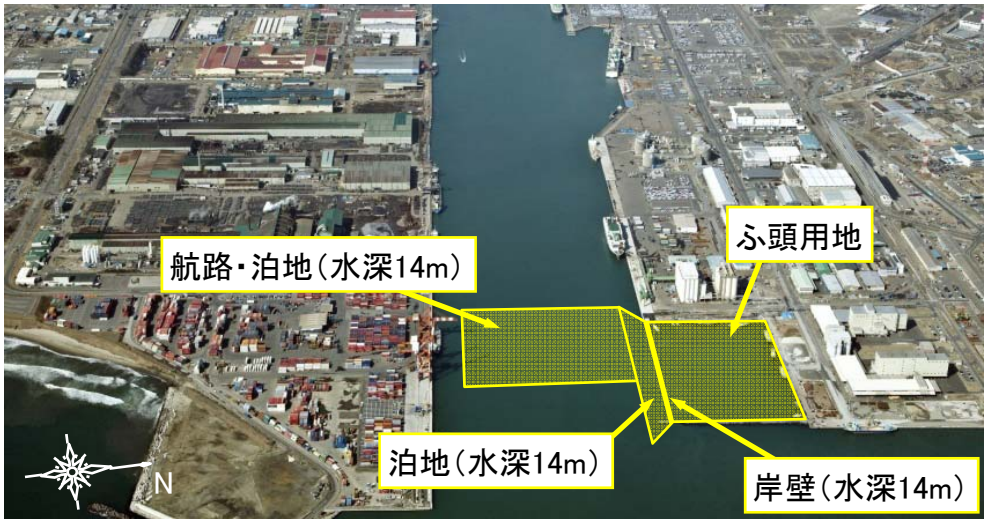
【平成27年度の事業内容】

全線2車線開通に向けて、舗装工事等を実施します。

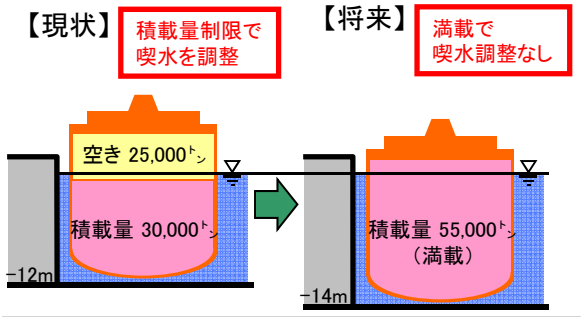
仙台塩釜港（せんだいしおがまこう） 仙台港区（せんだいこうく） 中野地区（なかの） 国際物流ターミナル整備事業		H27：3,520百万円	
完成	宮城県仙台市	港湾	直轄

【事業の概要】
世界的な船舶の大型化に伴う外貿貨物の増大への対応及び貨物の混在により発生しているふ頭内での非効率かつ危険な荷役状況の改善を目的に、新たな国際物流ターミナルを整備します。





【整備効果】
大水深岸壁の整備により、大型船の喫水調整を解消することで海上輸送コストの削減を図るとともに、ふ頭内における完成自動車やばら積み貨物等の混在を解消することで効率的かつ安全な輸送が可能になります。



水深14m岸壁の整備により穀物輸送船の満載入港が可能となり、効率的な輸送が実現

▲大水深岸壁の整備効果



▲完成自動車とバラ積み貨物を取り扱う中野埠頭の荷役状況

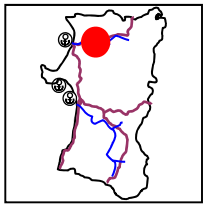
【平成27年度の事業内容】
岸壁本体工事及び航路・泊地を整備し、事業を完了させます。

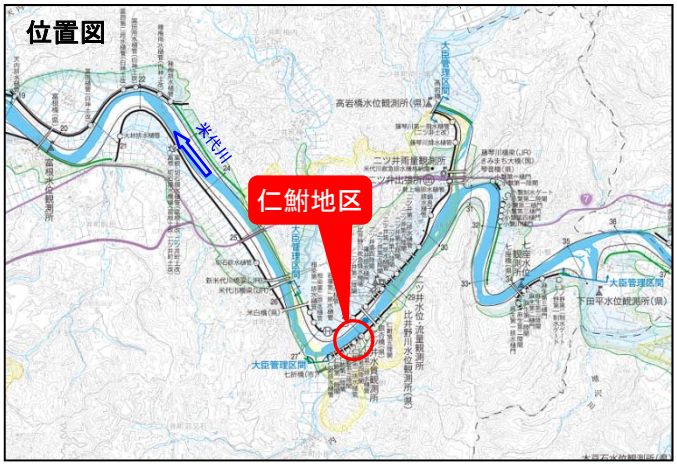
米代川（よねしろがわ）　河川改修事業（仁鮒（にぶな）地区）

H27：1,639百万円※			
完成	秋田県能代（のしろ）市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

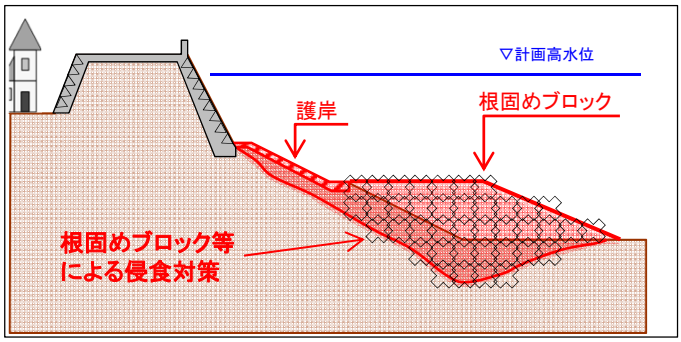
【事業の概要】
　平成26年7月豪雨により仁鮒地区で河岸侵食による堤防護岸の損傷が発生したことから、侵食対策を実施します。







【整備効果】
　侵食対策により洪水時の侵食拡大を防ぎ、当該地区の洪水による堤防決壊を未然に防止します。



▲侵食対策



▲損傷状況

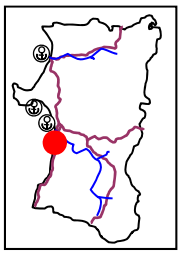
【平成27年度の事業内容】
　侵食対策を実施し、当該地区の事業を完成させます。

国道7号　秋田南（あきたみなみ）バイパス

H27：53百万円

開通	秋田県秋田（あきた）市	道路	直轄

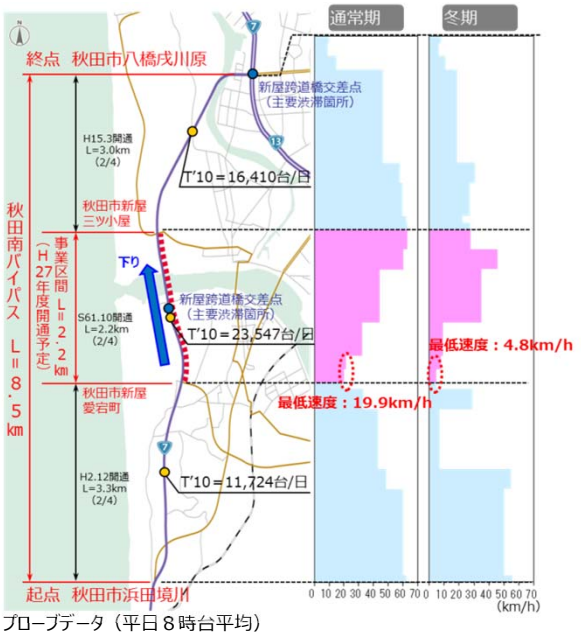
【事業の概要】
秋田南（あきたみなみ）バイパスは、秋田（あきた）市新屋（あらや）地区における交通混雑の緩和、事故の減少等を図るとともに、地域間の交流・連携の活性化を目的とする4車線拡幅事業です。







【整備効果】
・秋田南バイパスの4車線化により交通容量が拡大し、主要渋滞箇所「新屋跨道橋交差点」等の交通混雑が解消し安全、円滑な交通の確保が期待されます。



資料：プローブデータ（平日８時台平均）
通常期：平成25年9月～11月　冬期：平成25年12月～平成26年1月（降雪10cm以上）

▲秋田南バイパス区間の速度状況（８時台・下り）



▲新屋跨道橋交差点の状況



▲国道7号 正面衝突事故発生状況

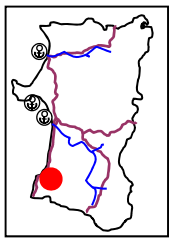
【平成27年度の事業内容】
全線4車線開通に向けて、改良・舗装工事等を実施します。

国道7号　象潟仁賀保道路（きさかたにかほ）

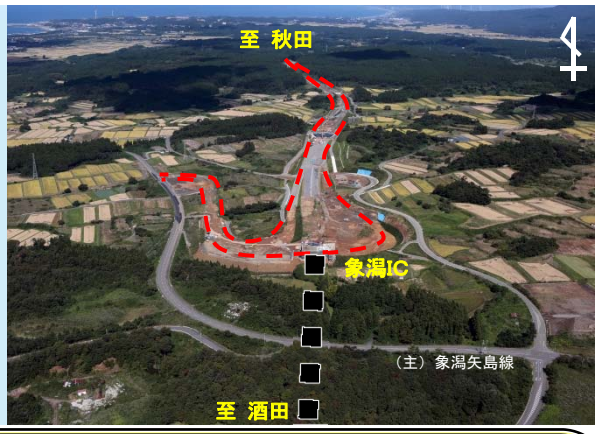
H27：1,800百万円

開通	秋田県にかほ市	道路	直轄

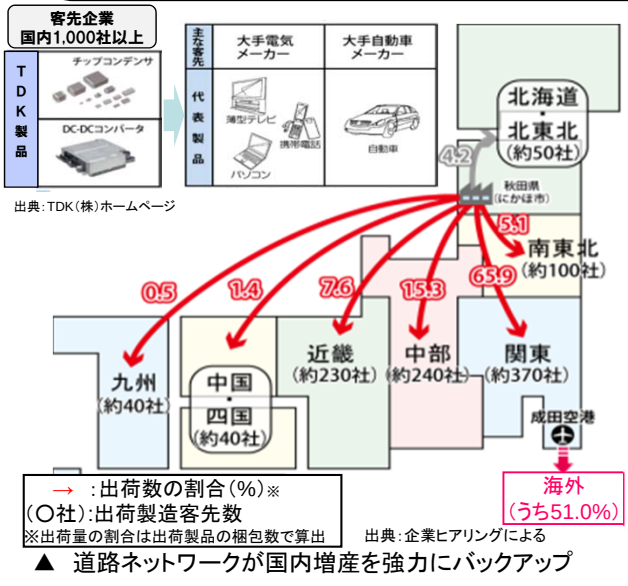
【事業の概要】
象潟仁賀保（きさかたにかほ）道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部を構成し、一般国道7号の混雑緩和及び三次救急医療施設へのアクセス向上、緊急輸送道路の信頼性向上等を図り、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。

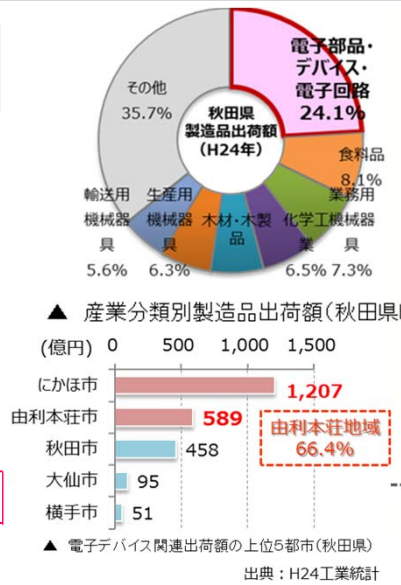






【整備効果】
〇日沿道の整備延伸により、物流の効率化が図られ、にかほ市で生産され国内各地へ出荷される電子部品・デバイス産業の再生と成長を支援します。
〇「道の駅 象潟」をゲートウェイとして、環鳥海の6駅が連携するなど、地域独自の観光振興戦略を支援します。







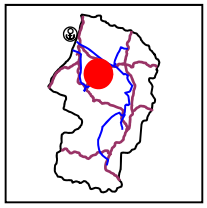
【平成27年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、舗装工事等を実施します。

最上川水系砂防事業　肘折山腹工

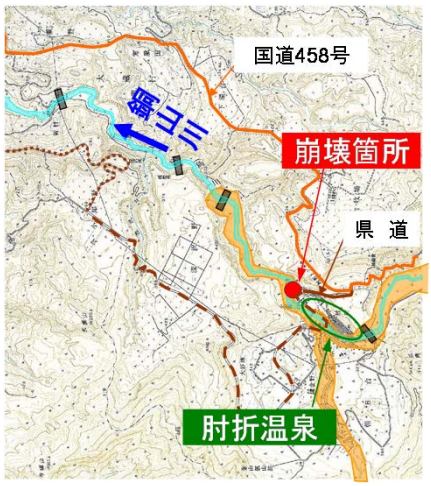
H27：2,402百万円※

完　成	山形県大蔵村	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載



【事業の概要】
　平成24年4月に発生した大規模な斜面崩壊に伴い、銅山川が一時河道閉塞するなどの災害が発生したため、下流への土砂流出の防止及び河道が閉塞することによる上流温泉街の浸水被害を防止するため、護岸の整備、崩壊斜面対策を実施します。



斜面崩壊箇所位置図



斜面崩壊後の状況（H24.5.14）

【整備効果】
　護岸及び、崩壊斜面対策工の実施により、斜面崩壊の拡大による新たな天然ダムの形成と肘折温泉街の浸水被害を防止します。



護岸整備状況



護岸と崩壊斜面の状況
（H26.11.24）

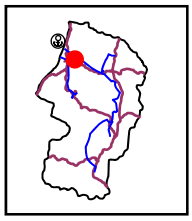
【平成27年度の事業内容】
　崩壊斜面対策を実施し、当該箇所の事業を完成させます。

国道47号　余目酒田道路

H27：5,535百万円

開通	山形県東田川郡庄内町～酒田市	道路	直轄

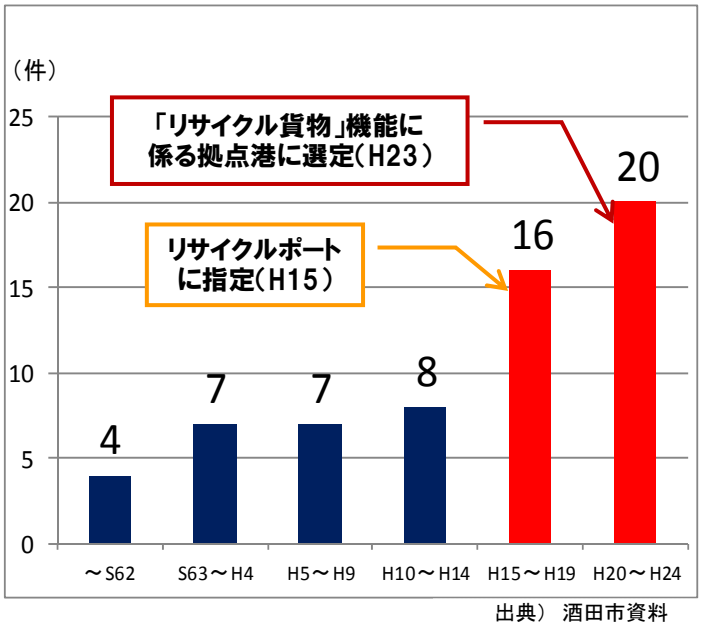
【事業の概要】
余目酒田道路は、新庄酒田道路の一部を構成し、山形県最上地域と庄内地域間を連携する広域交通網の形成、国道47号の交通事故対策及び、国道7号を含む並行現道の交通混雑の緩和を目的とする道路です。





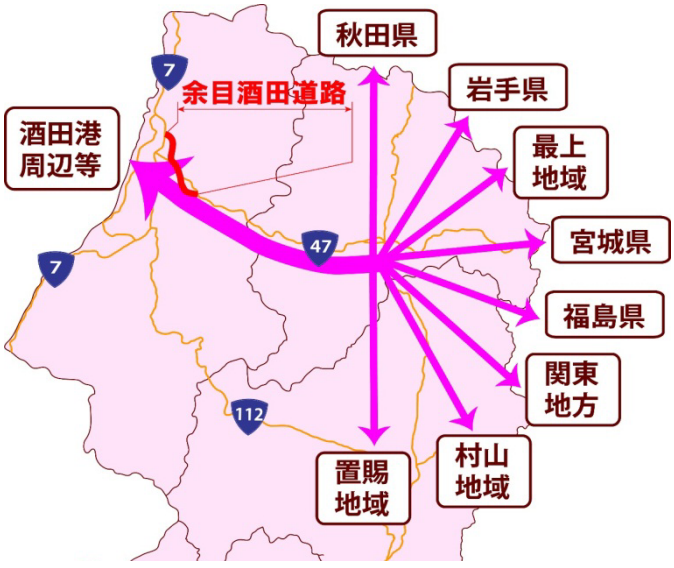


【整備効果】
・内陸部との走行安全性や速達性が向上し、酒田港におけるリサイクル拠点機能の更なる集積・強化が期待されます。



出典）　酒田市資料

▲酒田港周辺における
リサイクル関連企業の立地件数の推移



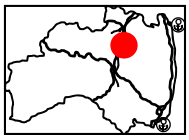
出典）H25リサイクル関連企業アンケート調査

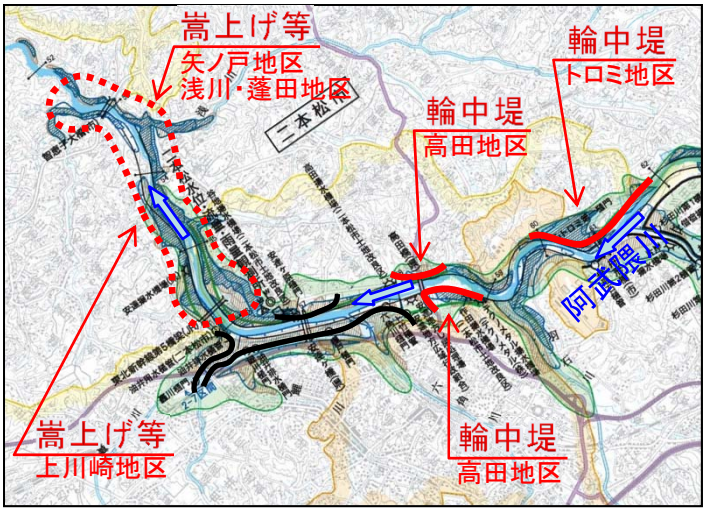
▲国道47号を利用したリサイクル貨物の発着地

【平成27年度の事業内容】
部分2車線開通に向けて、改良・橋梁・舗装工事等を実施します。

阿武隈川上流　土地利用一体型水防災事業（二本松・安達地区）		H27：440百万円	
完成	福島県二本松市	河川	直轄

【事業の概要】
・二本松・安達地区は狭窄区間であり、洪水時は水位の上昇が早く、洪水継続時間も長いため、集落の孤立化が課題となっています。
・また、近年頻発する洪水によって浸水被害が発生していることから、輪中堤や嵩上げ等の対策により、被害軽減を図ります。

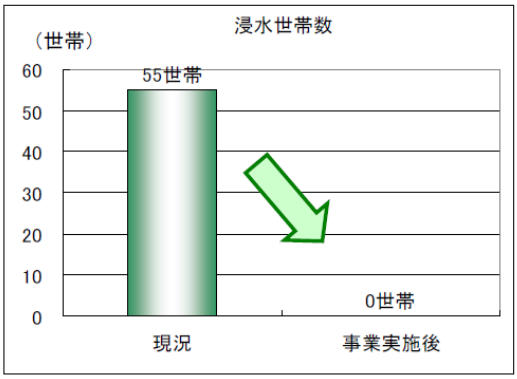




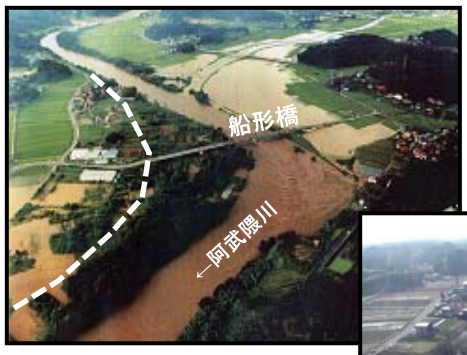


【整備効果】
・「輪中堤・嵩上げ等」を整備することにより当該地区の浸水被害（55世帯）を軽減します。

事業効果（整備前→整備後）



▲昭和61年8月規模（整備計画規模）の洪水により浸水被害が想定される世帯数



H10.8洪水の浸水状況



輪中堤完成後（トロミ地区）

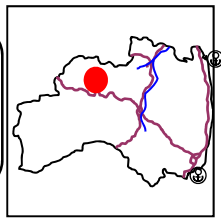
【平成27年度の事業内容】
・輪中堤及び嵩上げ等を実施し、当該地区の事業を完成させます。

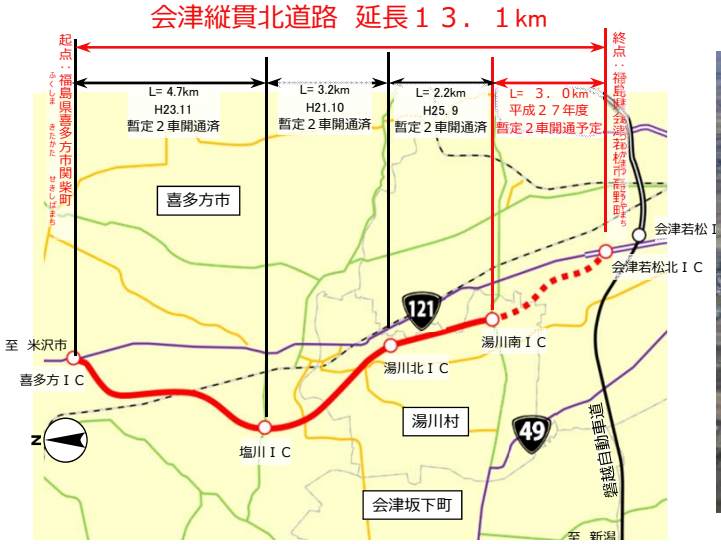
国道121号　会津縦貫北道路（あいづじゅうかんきたどうろ）

H27：1,354百万円

開通	福島県喜多方市（きたかた）～会津若松市（あいづわかまつし）	道路	直轄

国道121号　会津縦貫北道路（あいづじゅうかんきたどうろ）は、喜多方市から会津若松市間の交通混雑を緩和するとともに、広域的な連携を図る自動車専用道路です。



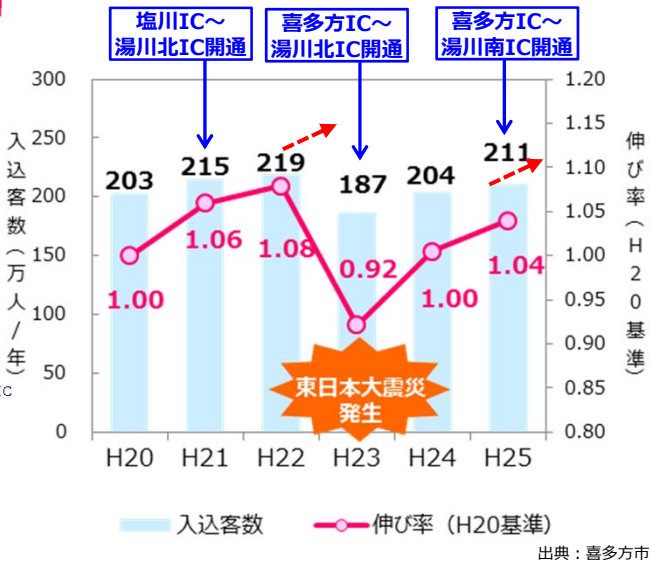




【整備効果】
・磐越自動車道会津若松ICとのアクセス性向上により、会津地方の主要観光拠点間の移動がスムーズになり、観光入込客数の増加が期待されます。



▲会津地方の主要観光地



▲喜多方市の観光入込客数の推移（H20～H25）

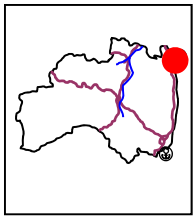
【平成27年度の事業内容】
全線2車線開通に向けて、改良・橋梁・舗装工事等を実施します。

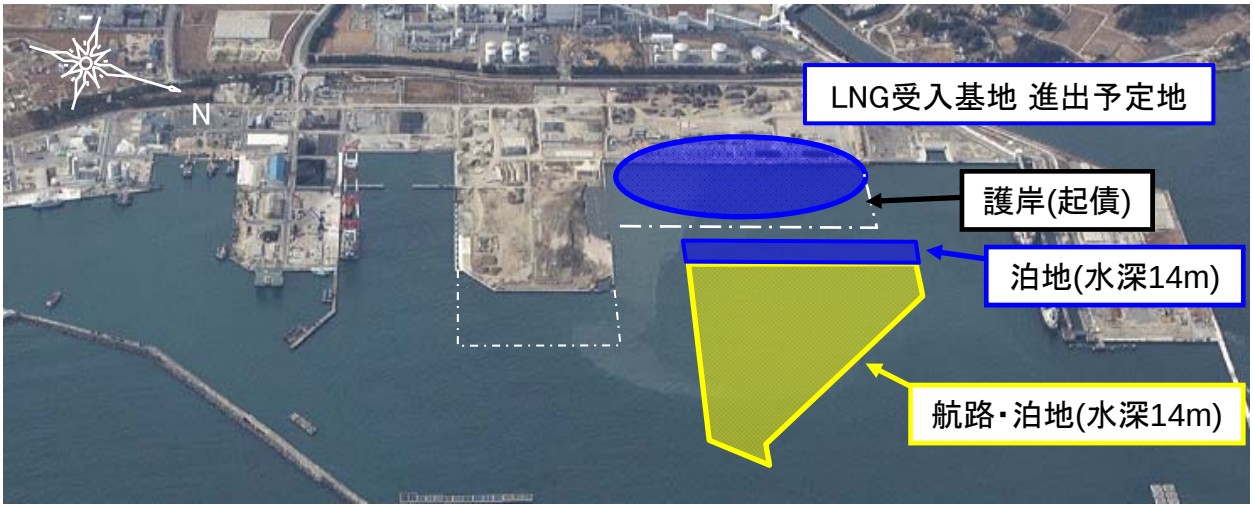
相馬港（そうまこう）　航路･泊地整備事業

H27：2,400百万円

完成	福島県相馬市、新地町	港湾	直轄

【事業の概要】
　大型船舶によるLNGの大量一括輸送の実現を目的に、航路･泊地の整備を行います。





【整備効果】
　大型LNG船が入港可能となることで輸送コストの削減と安定的なLNGの輸入が可能になり、相馬港を拠点としたLNGの広域的かつ効率的な輸送ネットワークが形成されるとともに、災害時におけるエネルギー供給の多重性が確保されます。さらには、当該LNG基地の立地により、隣接地に発電所の立地が計画されているなど、新たな企業立地による地域経済の活性化が期待されます。



▲相馬LNG受入基地完成ｲﾒｰｼﾞ
（出典：石油資源開発（株）HPより）



▲現況（青着色）及び将来（赤着色）の
LNGﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝﾈｯﾄﾜｰｸ　（出典：石油資源開発(株)HPより）

【平成27年度の事業内容】
　航路･泊地を整備し、事業を完了させます。

（資料編）

・主要継続事業一覧・位置図・概要

１）　青森県　・・・・・・・・・・・・・・・・　資　１

２）　岩手県　・・・・・・・・・・・・・・・・　資　７

３）　宮城県　・・・・・・・・・・・・・・　資　１３

４）　秋田県　・・・・・・・・・・・・・・　資　２１

５）　山形県　・・・・・・・・・・・・・・　資　２８

６）　福島県　・・・・・・・・・・・・・・　資　３５

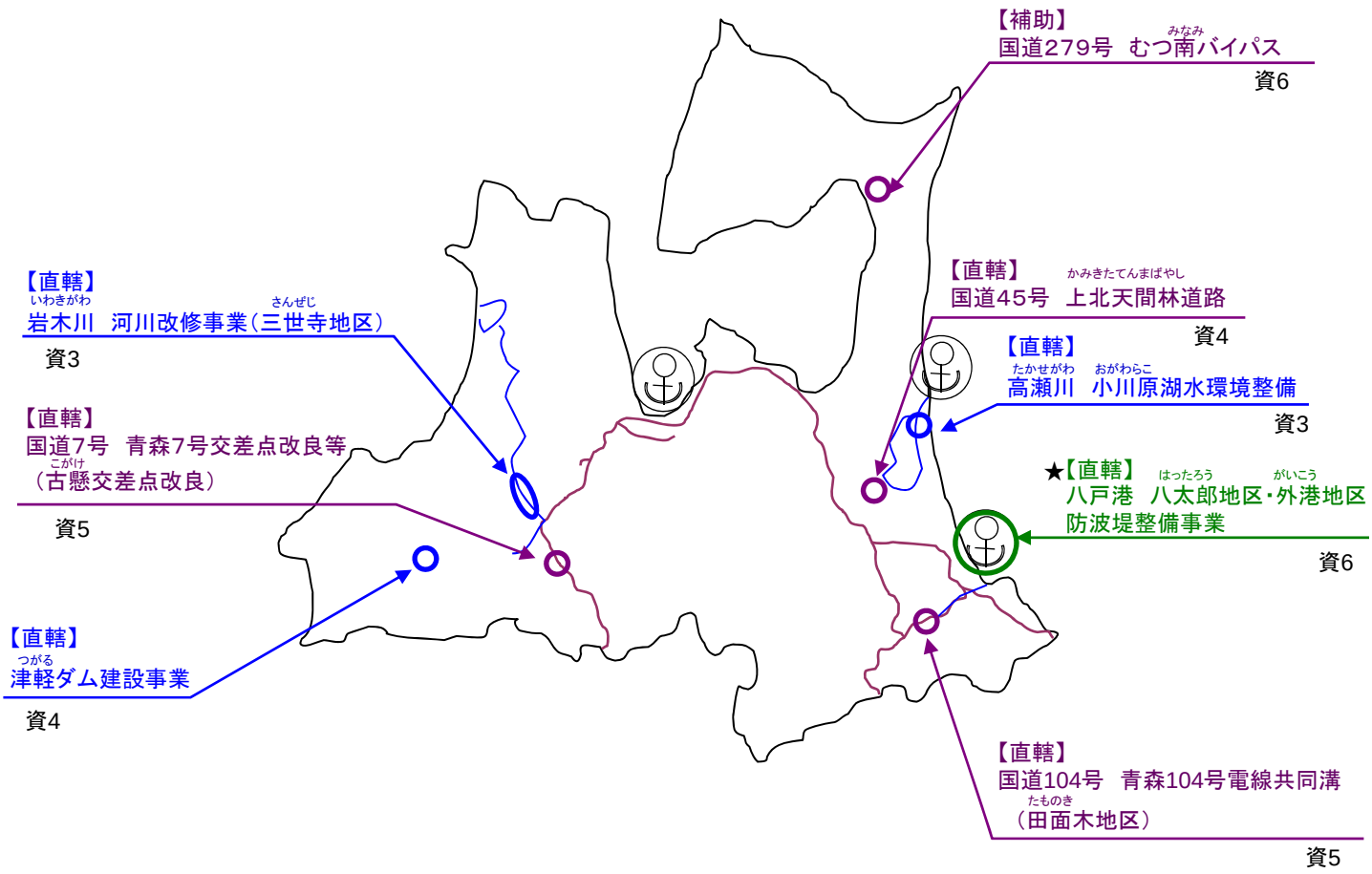
【青森県主要継続事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成･開通目標年度	H27事業費（百万円）	H27事業内容	備考
河川	直轄	岩木川　河川改修事業（三世寺地区）	弘前市	H28	（1,978）	築堤、用地補償	資3
河川	直轄	岩木川　河川改修事業（中流部地区）	つがる市、北津軽郡鶴田町	H29	（1,978）	河道掘削、用地補償	
河川	直轄	高瀬川　小川原湖水環境整備	三沢市、上北郡東北町、上北郡六ヶ所村	―	（147）	塩水対策等	資3
河川	直轄	馬淵川　魚がすみやすい川づくり	八戸市	H30年代	（36）	魚道改良等	
河川（ダム）	直轄	津軽ダム建設事業	中津軽郡西目屋村	H28年度	16,001	本体工事、管理設備工事、試験湛水　等	資4
道路	直轄	国道45号　上北天間林道路	上北郡東北町～七戸町	―	3,430	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	資4
道路	直轄	国道45号　天間林道路	上北郡七戸町	―	1,218	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	
道路	直轄	国道103号　奥入瀬(青橅山)バイパス	十和田市	―	250	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	
道路	直轄	国道101号　浪岡五所川原道路	青森市～五所川原市	―	509	調査設計、改良工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（侍浜～階上）★	三戸郡階上町	―	3,877	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	
道路	直轄	国道7号　青森7号交差点改良等（古懸交差点改良）	平川市	―	99	調査設計、用地補償、改良・舗装工事	資5
道路	直轄	国道104号　青森104号電線共同溝（田面木地区）	八戸市	―	264	支障移転補償、本体工事	資5
道路	補助	国道279号　むつ南バイパス	むつ市	―	850	用地補償、改良、橋梁工事	資6
道路	補助	国道279号　吹越バイパス	上北郡横浜町～六ヶ所村	―	1,300	改良、橋梁工事	
道路	補助	国道279号　横浜南バイパス	横浜町	―	475	用地補償、改良工事	
港湾	直轄	八戸港　八太郎地区･外港地区　防波堤整備事業★	八戸市	H30	906	防波堤本体工	資6
空港	直轄	三沢飛行場　空港整備事業	三沢市	―	35	調査	

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※　事業費の（　）の金額は、当該河川･山系･水系全体の事業費

【青森県の主な継続事業位置図】



凡　例
河　川　事　業
道　路　事　業
港湾・空港事業
都市・住宅事業
営　繕　事　業

資2

岩木川　河川改修事業（三世寺地区）

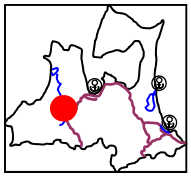
H27：1,978百万円※

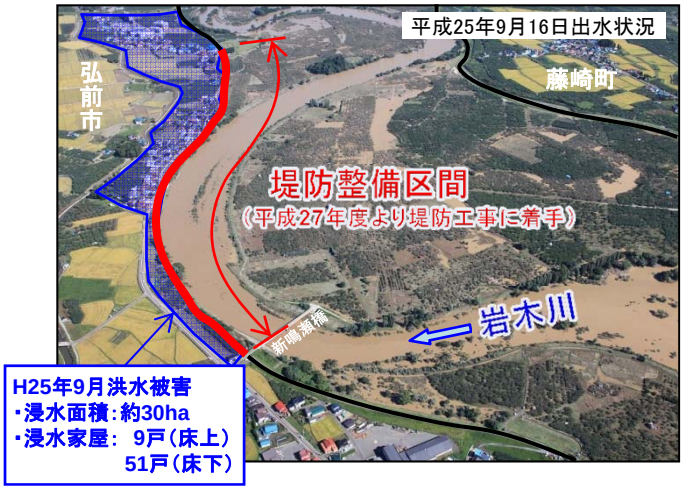
完成予定：H28

継続	青森県弘前市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

平成25年9月16日に発生した台風18号洪水は過去最高水位を観測し、堤防が整備されていない三世寺地区において家屋浸水被害が生じました。
このことから、堤防を整備し、洪水に対する安全性の向上を図ります。





堤防整備により当該地区の浸水被害（家屋約60戸、県道等）を軽減します。



▲H25.9月洪水時の浸水状況

高瀬川　小川原湖水環境整備

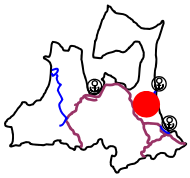
H27：147百万円※

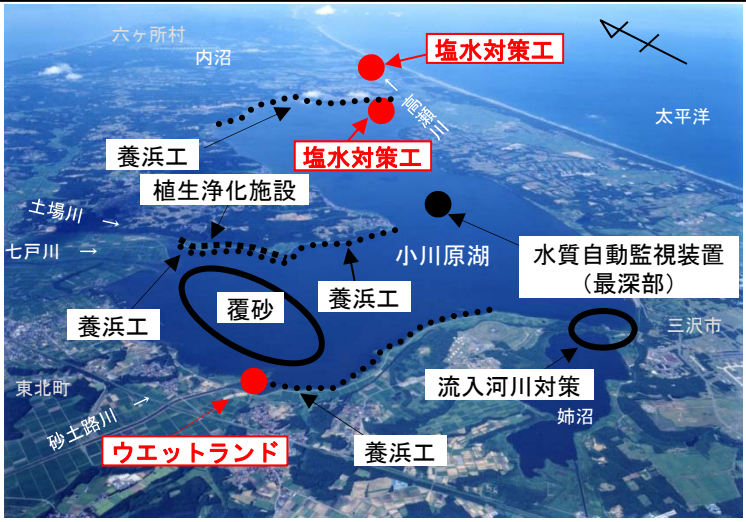
完成予定：　－

継続	青森県三沢市、上北郡東北町、上北郡六ヶ所村	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

汽水環境を有する小川原湖の水質は近年、アオコが発生するなど急激な悪化傾向を示していることから、水質改善対策（塩水遡上抑制対策等）を実施し、小川原湖水環境の保全を図ります。
平成27年度は塩水対策等を整備します。







アオコの発生状況

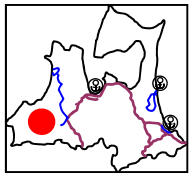
津軽ダム建設事業

H27：16,001百万円
完成予定：H28

継続	青森県中津軽郡西目屋村	河川（ダム）	直轄

洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水の補給、水道・工業用水の供給、発電を行い、安全で安心な生活の確保を図ります。
平成27年度は、ダム本体工事等を行い、試験湛水を開始します。





津軽ダム諸元	
ダム型式	重力式コンクリートダム
ダム高	97.2 m
堤頂長	342 m
総貯水容量	140,900 千m3
有効貯水容量	127,200 千m3
流域面積	172.0 km2

＊総貯水容量は目屋ダム（既設）の約3.6倍

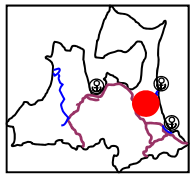
【整備効果】
岩木川の洪水被害の軽減を図るとともに、渇水が発生しても、かんがい用水等を安定的に補給することが可能となります。また、水力発電による電力供給が可能となります。

国道45号　上北天間林道路

H27：3,430百万円
開通予定：ー

継続	青森県上北郡東北町～七戸町	道路	直轄

上北天間林道路は、東北縦貫自動車道八戸線の一部を構成し、青森市と八戸市の連携強化、国道4号、45号の交通混雑緩和を図り、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲国道4号の混雑状況

上北天間林道路の整備により、青森市～八戸市間の連携強化、国道4号、45号の交通混雑緩和が図られます。

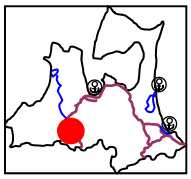
国道7号　青森7号交差点改良等（古懸交差点改良）

H27：99百万円

開通予定：ー

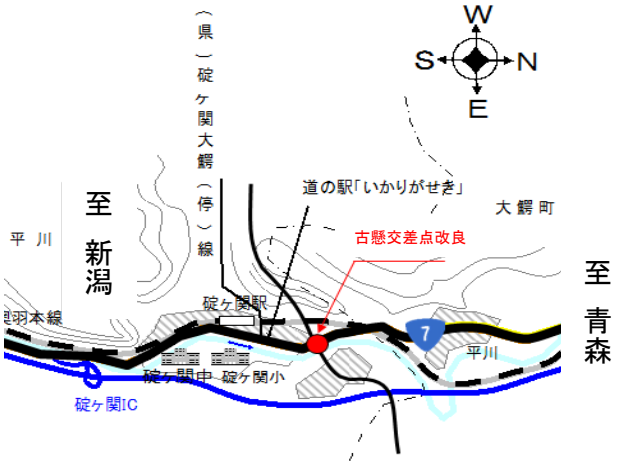
継続	青森県平川市	道路	直轄

国道と市道が交わるT字交差点において、国道から市道への右折車により後続直進車の通行が阻害され、追突事故等が発生していることから、右折車線を整備し交通事故の削減や交通の円滑化を図ります。





▲右折車が直進車を阻害している状況



国道104号　青森104号電線共同溝（田面木地区）

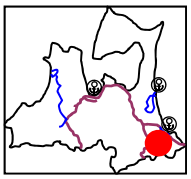
H27：264百万円

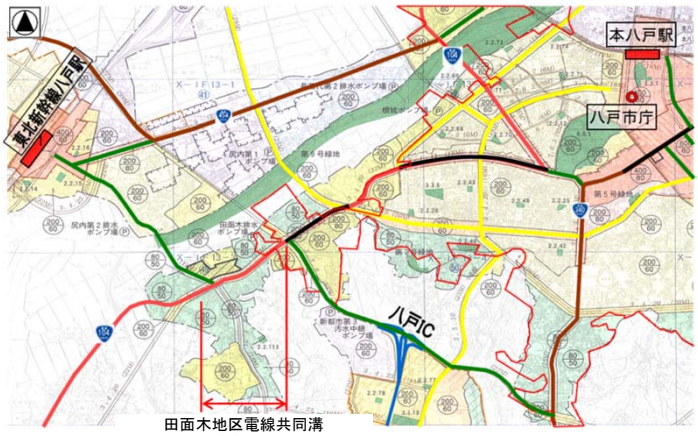
開通予定：ー

継続	青森県八戸市	道路	直轄

【事業の概要】

田面木地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化を図ることにより、安全で快適な歩行空間を確保並びに震災時における緊急輸送路の確保するとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。





田面木地区電線共同溝
L=約1.4km(道路延長L=約0.7km)



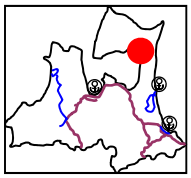
電線共同溝の整備により、都市防災を高め、二次被害を防ぎ、搬送及び避難経路を確保します。

国道279号　むつ南（みなみ）バイパス

H27：850百万円	
開通予定：ー	

継続	青森県むつ市	道路	補助

国道279号　むつ南（みなみ）バイパスは、下北半島縦貫道路の一部を構成し、下北地方生活圏の連携強化、多様なエネルギー関連プロジェクトが展開されている、むつ小河原開発地区へのアクセス強化、むつ市内の渋滞緩和を図る自動車専用道路です。







▲下北町交差点の渋滞状況

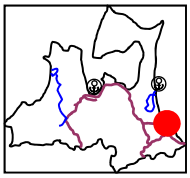
むつ南バイパスの整備により、むつ市内の渋滞緩和を図ります。

八戸港（はちのへこう）　八太郎（はったろう）地区・外港（がいこう）地区　防波堤整備事業

H27：906百万円	
完成予定：H30	

継続	青森県八戸（はちのへ）市	港湾	直轄

防波堤の整備により、港内静穏度を向上させ、荷役作業の効率性、安全性の向上を図ります。また、避泊水域※を確保することで沖合を航行する船舶の海難事故防止を図ります。







▲効率的で安全な荷役の実現
（河原木2号岸壁：ニッケル鉱取扱状況）

※避泊水域とは、荒天時などに港内に避難してきた船舶が停泊する場所

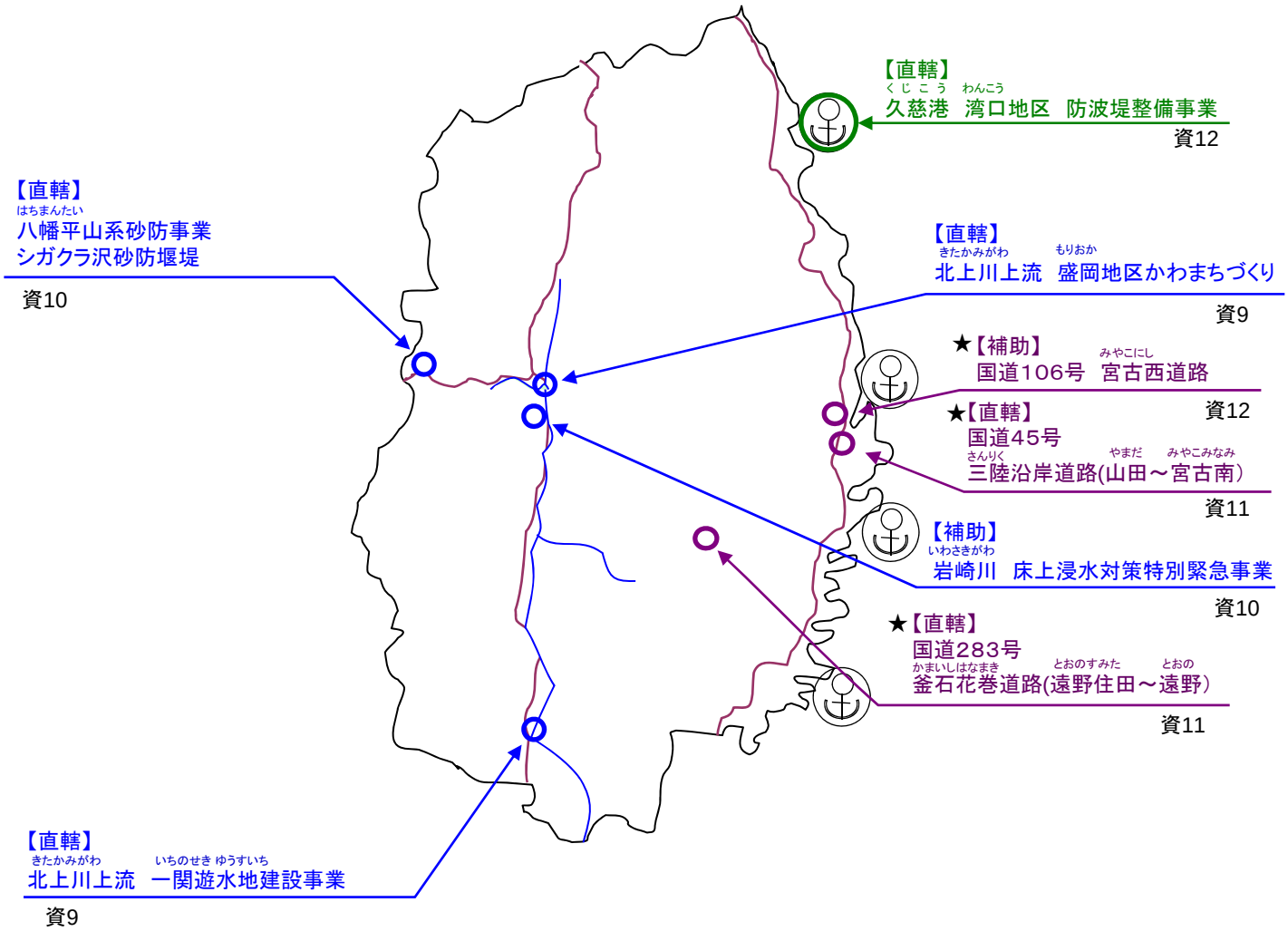
【岩手県主要継続事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成・開通目標年度	H27事業費（百万円）	H27事業内容	備考
河川	直轄	北上川上流　一関遊水地建設事業	一関市、奥州市、西磐井郡平泉町	H30年代	4,273	小堤、堤防拡幅、水門、樋門	資9
河川	直轄	北上川上流　河川改修事業（一関藤沢地区）	一関市	H30年代	（1,726）	築堤、用地補償	
河川	直轄	北上川上流　盛岡地区かわまちづくり	盛岡市	H29	（124）	管理用通路、管理用階段等	資9
河川（砂防）	直轄	八幡平山系砂防事業 【シガクラ沢砂防堰堤】（荒沢砂防堰堤）	岩手郡雫石町	H29、H30	（446）	砂防堰堤工	資10
河川	補助	岩崎川床上浸水対策特別緊急事業	矢巾町	H30	1,418	河道掘削、築堤等	資10
道路	直轄	国道46号　盛岡西バイパス	盛岡市	－	170	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（唐桑北～陸前高田）★	気仙沼市（宮城県）～陸前高田市	－	6,496	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（吉浜～釜石）★	大船渡市～釜石市	－	13,925	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（釜石山田道路）★	釜石市～下閉伊郡山田町	－	8,917	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（山田～宮古南）★	下閉伊郡山田町～宮古市	H29全線	12,300	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	資11
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（宮古中央～田老）★	宮古市	－	14,594	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（久慈北道路）★	久慈市	H30全線	1,800	調査設計、用地補償、橋梁工事	
道路	直轄	国道283号　釜石花巻道路（釜石～釜石西）★	釜石市	－	4,746	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道283号　釜石花巻道路（遠野住田～遠野）★	遠野市	H30全線	2,329	調査設計、用地補償、改良・トンネル工事	資11
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（田老～岩泉）★	宮古市～下閉伊郡岩泉町	H29全線	9,464	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（尾肝要～普代）★	下閉伊郡田野畑村～普代村	－	4,492	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（普代～久慈）★	下閉伊郡普代村～久慈市	－	9,113	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道106号　宮古盛岡横断道路（宮古～箱石）★	宮古市	－	16,108	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道106号　宮古盛岡横断道路（平津戸・岩井～松草）★	宮古市	－	7,770	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道106号　宮古盛岡横断道路（区界～簗川）★	宮古市～盛岡市	－	7,790	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	補助	国道106号　宮古西道路★	宮古市	－	1,200	用地補償、改良、橋梁、トンネル工事	資12
道路	補助	その他市道　北部環状線（山口工区）★	宮古市	－	900	改良、橋梁、トンネル工事	
道路	補助	一般県道　宮古山田線（豊間根工区）★	山田町	－	300	用地補償、橋梁工事	
港湾	直轄	久慈港　湾口地区　防波堤整備事業★	久慈市	H40	6,138	防波堤本体工	資12
港湾	直轄	宮古港　竜神崎地区　防波堤整備事業★	宮古市	H29	1,106	防波堤本体工	

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※　事業費の（　）の金額は、当該河川・山系・水系全体の事業費

【岩手県の主な継続事業位置図】



凡　例
河　川　事　業
道　路　事　業
港湾・空港事業
都市・住宅事業
営　繕　事　業

資8

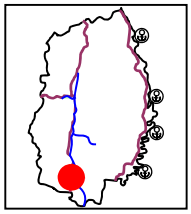
北上川上流　一関遊水地建設事業

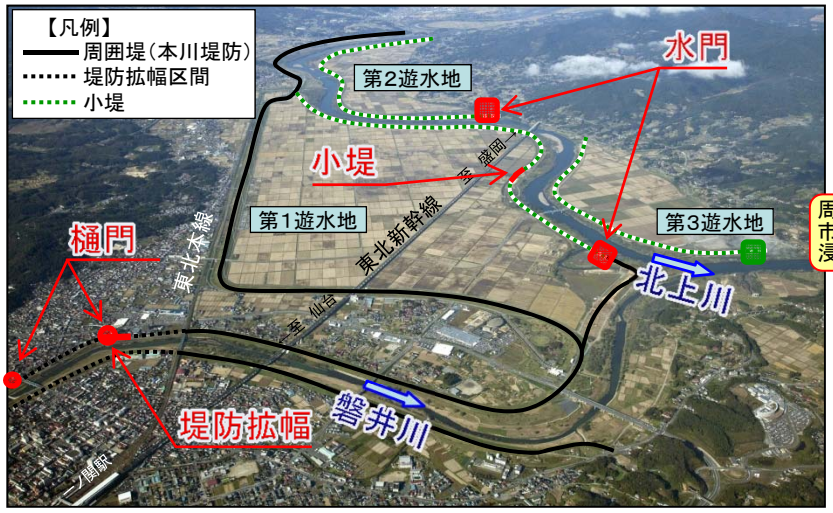
H27：4,273百万円

完成予定：H30年代

継続	岩手県一関市、奥州市、西磐井郡平泉町	河川	直轄

・北上川上流域において、過去幾度となく発生している洪水被害を解消するため、「北上川治水の根幹」である一関遊水地を整備し、北上川流域の洪水被害の軽減を図ります。
・平成27年度は、水門、小堤の整備、堤防の拡築等を実施します。

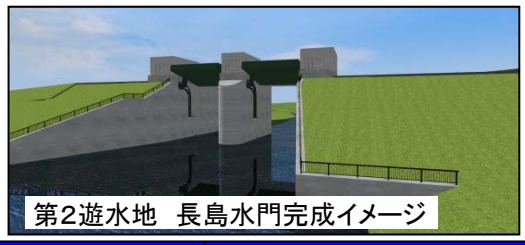






周囲堤により市街地の浸水を防止

平成19年9月出水状況



第2遊水地　長島水門完成イメージ

北上川上流　盛岡地区かわまちづくり

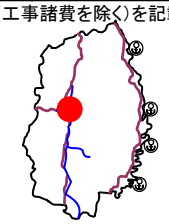
H27：124百万円 ※

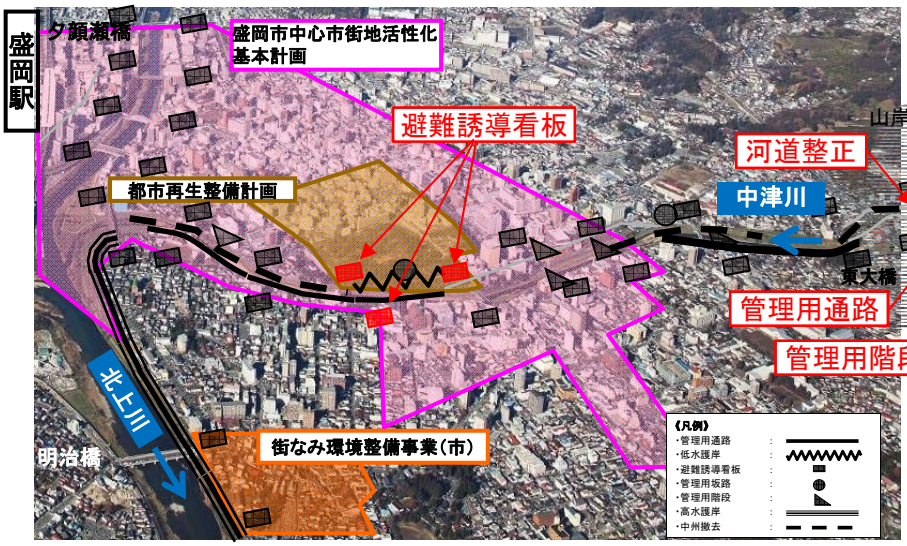
完成予定：H29

継続	岩手県盛岡市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

盛岡市には歴史的建造物や史跡等が多数存在しています。盛岡市が進める川を活かした「まちづくり」と連携して管理用通路や管理用階段等を整備し、河川利用者の安全性向上や観光振興を図ります。
平成27年度は管理用通路、管理用階段等の整備を行います。

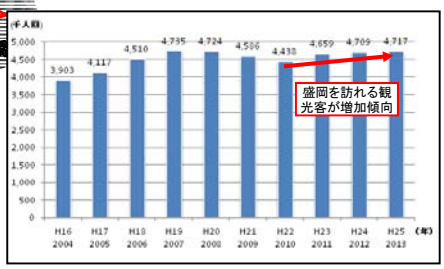








整備された管理用通路は多くの市民が利用



盛岡市の観光客年間入込数の推移
（盛岡市提供データ）

八幡平山系砂防事業　シガクラ沢砂防堰堤

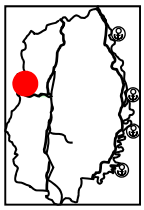
H27：446百万円※

完成予定：H29

継続	岩手県岩手郡雫石町	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該山系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

シガクラ沢砂防堰堤の整備により、秋田駒ヶ岳噴火後に発生する土砂の流出を防止・抑制し、下流域にある新幹線及び国道、家屋等を保全します。







昭和45年の火山噴火
（噴火口:女岳）

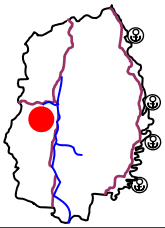
岩崎川床上浸水対策特別緊急事業

H27：1,418百万円

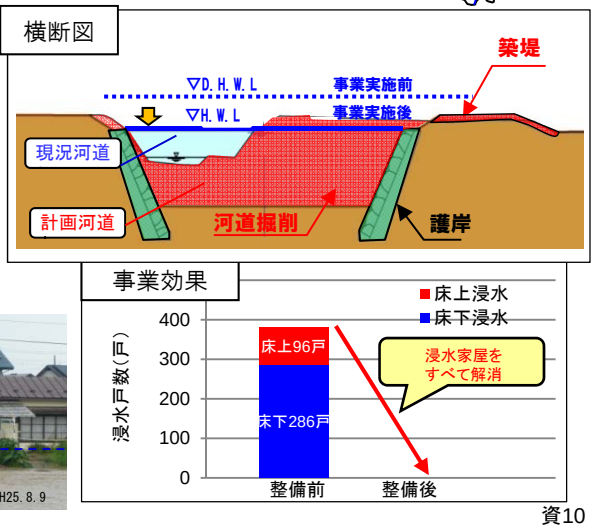
完成予定：H30

継続	岩手県紫波郡矢巾町	河川	補助

平成25年8月豪雨により甚大な被害を被ったことから、平成26年度より床上浸水被害の解消を目的に河川改修事業を実施しており、早期の浸水被害解消に向けて河道掘削、築堤等を実施します。







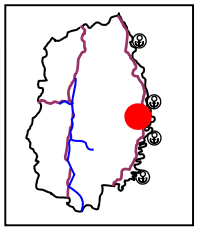
資10

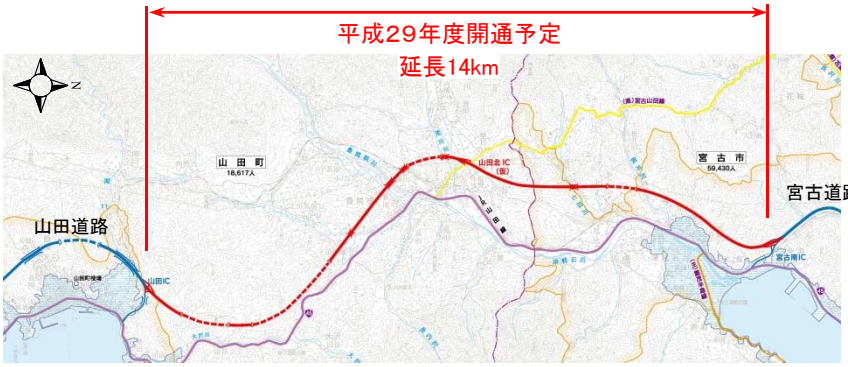
国道45号　三陸沿岸道路（山田～宮古南）

H27：12,300百万円
開通予定：H29

継続	岩手県下閉伊郡山田町～宮古市	道路	直轄

三陸沿岸道路（山田～宮古南）は、三陸縦貫自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を図り、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲国道45号の路面崩壊状況（東日本大震災時）

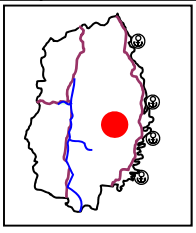
三陸沿岸道路（山田～宮古南）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、災害時における代替路の確保が図られます。

国道283号　釜石花巻道路（遠野住田～遠野）

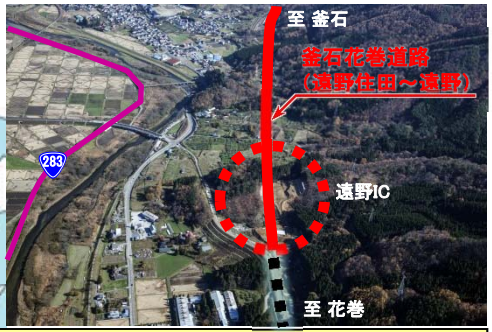
H27：2,329百万円
開通予定：H30

継続	岩手県遠野市	道路	直轄

釜石花巻道路（遠野住田～遠野）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興支援及び平常時も含めた緊急輸送圏域の拡大による安全・安心を確保するため、高規格幹線道路ネットワークを形成し速達性の確保を目的とする道路です。







釜石花巻道路（遠野住田～遠野）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、災害時における緊急物資の円滑な輸送の確保が図られます。

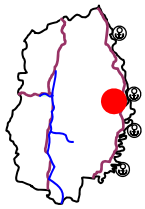
国道106号　宮古西道路

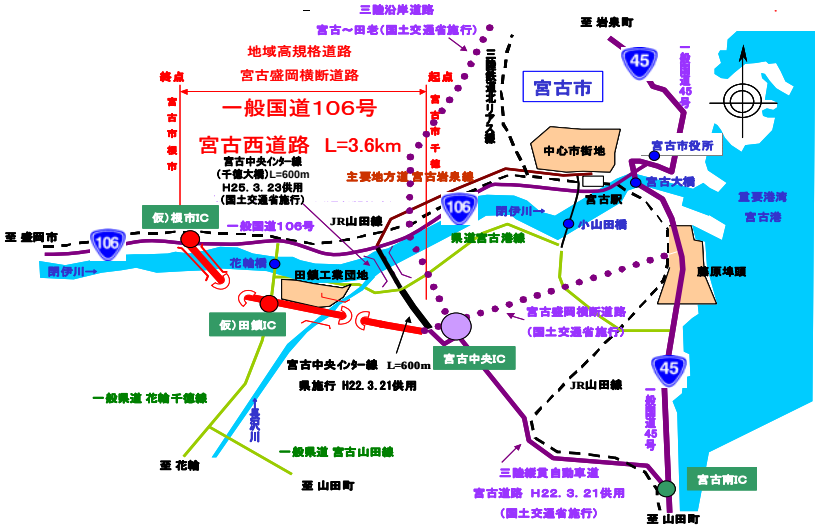
H27：1,200百万円

開通予定：ー

継続	岩手県宮古市	道路	補助

国道106号　宮古西道路は、宮古盛岡横断道路の一部を構成し、三陸沿岸道路と一体となって交通の円滑化を図ると共に、広域的な交流・連携の促進や東日本大震災被災地の早期復興を図ることを目的とした自動車専用道路です。







▲国道106号の渋滞状況

宮古西道路の整備により、津波被災地の早期復興を支援します。

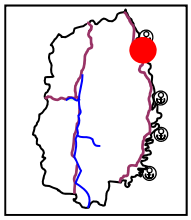
久慈港　湾口地区　防波堤整備事業

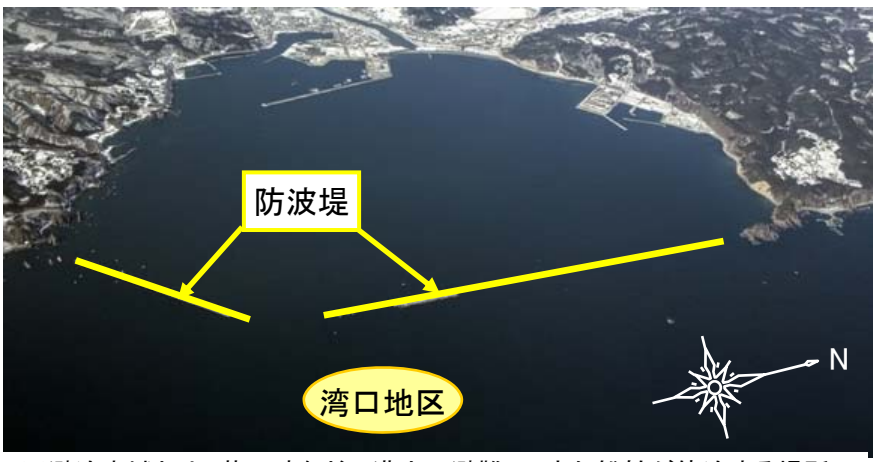
H27：6,138百万円

完成予定：H40

継続	岩手県久慈市	港湾	直轄

湾口防波堤の整備により、背後地域を津波被害（浸水被害）から防護するとともに、港内静穏度を向上させ、荷役作業の効率性、安全性の向上を図ります。また、避泊水域※を確保することで沖合を航行する船舶の海難事故防止を図ります。





※避泊水域とは、荒天時などに港内に避難してきた船舶が停泊する場所

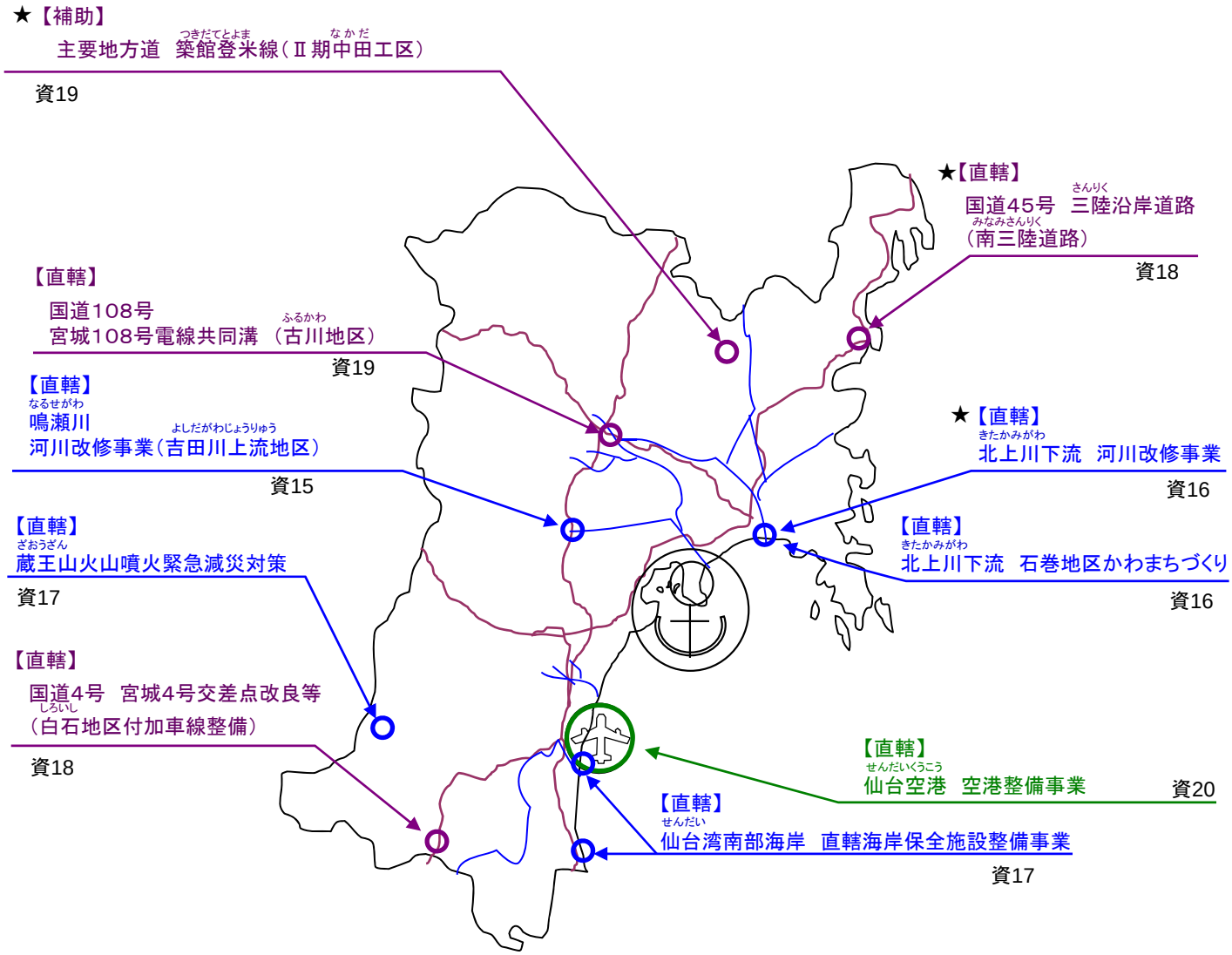
【宮城県主要継続事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成・開通目標年度	H27事業費（百万円）	H27事業内容	備考
河川	直轄	阿武隈川下流　河川改修事業（金山地区）	伊具郡丸森町	H29	（457）	築堤、樋門	
河川	直轄	名取川　河川改修事業（長町地区）	仙台市	H30年代	（167）	浸透対策	
河川	直轄	鳴瀬川　河川改修事業（吉田川上流地区）	大和町	H29	（2,343）	河道掘削、橋梁架替	資15
河川	直轄	北上川下流　河川改修事業（横川地区）	石巻市	H29	（1,266）	築堤、排水機場	
河川	直轄	北上川下流　河川改修事業 ★	石巻市	H30	6,220	堤防嵩上げ、液状化対策	資16
河川	直轄	北上川下流　石巻地区かわまちづくり	石巻市	H30年代	（151）	捨石（護岸修景）、自然護岸等	資16
河川（ダム）	直轄	鳴瀬川総合開発事業	加美郡加美町	―	761	本体関連の調査・測量・設計、水理水文調査、環境調査　等	
河川（砂防）	直轄	蔵王山火山噴火緊急減災対策	刈田郡蔵王町	―	30	CCTVカメラ	資17
河川（海岸）	直轄	仙台湾南部海岸　直轄海岸保全施設整備事業	岩沼市、亘理郡山元町	―	698	ヘッドランド　等	資17
道路	直轄	国道4号　金ケ瀬拡幅	刈田郡蔵王町～柴田郡大河原町	―	400	調査設計、用地補償、改良・舗装工事	
道路	直轄	国道108号　古川東バイパス	大崎市	―	560	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道4号　仙台拡幅	仙台市	―	420	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（南三陸道路） ★	本吉郡南三陸町	H28（（仮称）志津川IC～（仮称）南三陸海岸IC） H29全線	1,649	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	資18
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（歌津～本吉） ★	本吉郡南三陸町～気仙沼市	―	6,635	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（本吉気仙沼道路（Ⅱ期）） ★	気仙沼市	―	3,000	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（本吉気仙沼道路） ★	気仙沼市	H29全線	800	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（気仙沼～唐桑南） ★	気仙沼市	―	10,446	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道45号　三陸沿岸道路（唐桑北～陸前高田） ★	気仙沼市	―	1,624	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道4号　宮城4号交差点改良等（白石地区付加車線整備）	白石市	―	150	用地補償	資18
道路	直轄	国道108号　宮城108号電線共同溝（古川地区）	大崎市	―	195	調査設計、支障移転補償、本体工事、路面復旧工事	資19
道路	補助	主要地方道　築館登米線　（Ⅱ期中田工区） ★	登米市	―	800	改良、橋梁工事	資19
道路	補助	主要地方道　築館登米線　（Ⅲ期佐沼工区） ★	登米市	―	1,800	改良、橋梁工事	
道路	補助	主要地方道　築館登米線　（Ⅳ期築館工区） ★	栗原市	―	840	改良、橋梁工事	
道路	補助	一般県道　大島浪板線　（浪板工区） ★	気仙沼市	―	1,000	用地補償、改良工事	
港湾	直轄 補助	仙台塩釜港　石巻港区　雲野地区 国際物流ターミナル整備事業 ★	石巻市	H32	1,380	直轄：防波堤本体工 補助：浚渫工	
空港	直轄	仙台空港　空港整備事業	名取市 岩沼市	―	1,127	舗装工、地盤改良工	資20

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※　事業費の（　）の金額は、当該河川・山系・水系全体の事業費

【宮城県の主な継続事業位置図】



凡　例
河　川　事　業
道　路　事　業
港湾・空港事業
都市・住宅事業
営　繕　事　業

資14

鳴瀬川（吉田川）　河川改修事業（吉田川上流地区）

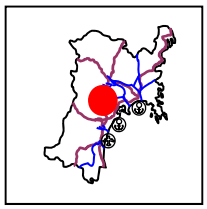
H27：2,343百万円※

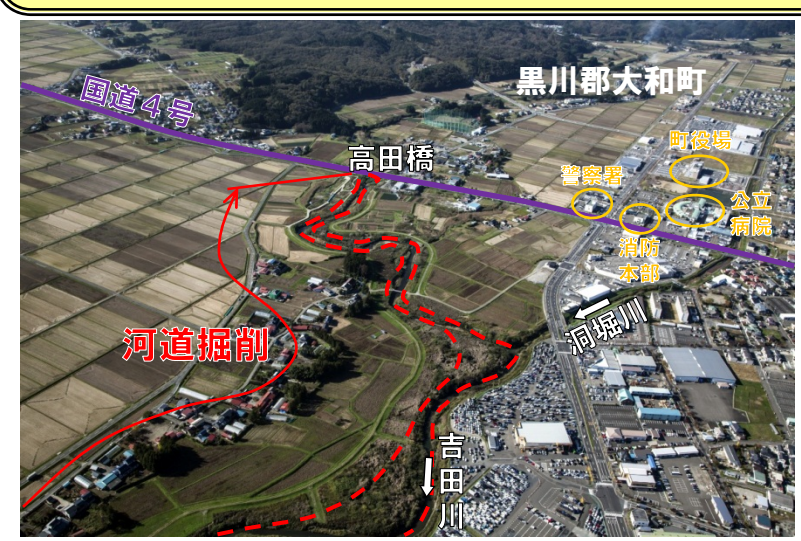
完成予定：H29

継続	宮城県黒川郡大和町	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

・鳴瀬川支川の吉田川上流地区は、河道の断面が小さく、洪水時に浸水被害が発生することから、河道掘削等を実施し、浸水被害の軽減を図ります。
・平成27年度は、河道掘削、橋梁架替等を実施します。







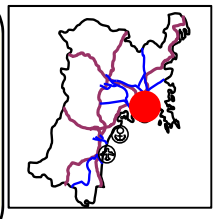
▲洞堀川が溢れ、道路が冠水

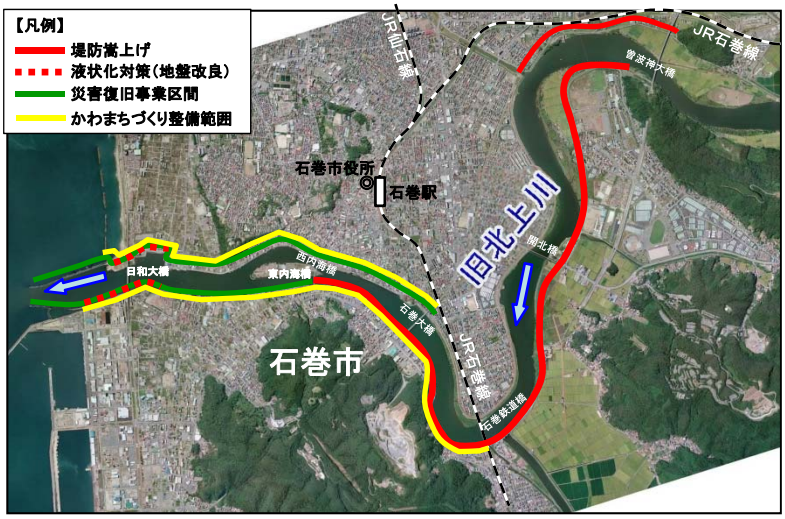
北上川下流　河川改修事業		H27：6,220百万円※	
		完成予定：H30	
継続	宮城県石巻市	河川	直轄

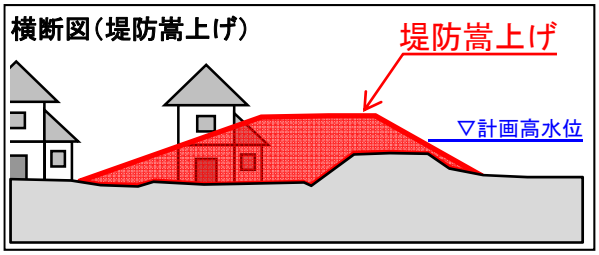
北上川下流　石巻地区かわまちづくり		H27：　151百万円※	
		完成予定：H30年代	
継続	宮城県石巻市	河川	直轄

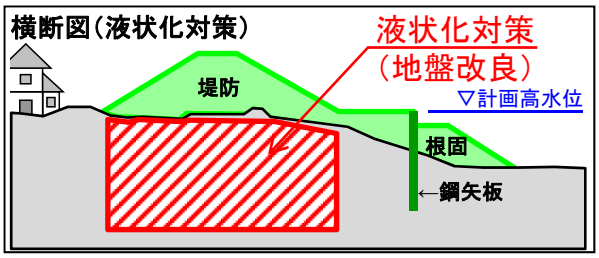
※上記の事業費は、事業別に当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

旧北上川河口部では、東北地方太平洋沖地震を踏まえて、新たに設定した計画高にあわせた堤防整備や液状化対策を緊急的に実施すると共に、震災からの復旧・復興（新たな堤防整備）にあたって、石巻市の「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画」と連携しながら、市民が集い交流できる水辺空間や景観に配慮した施設を整備します。







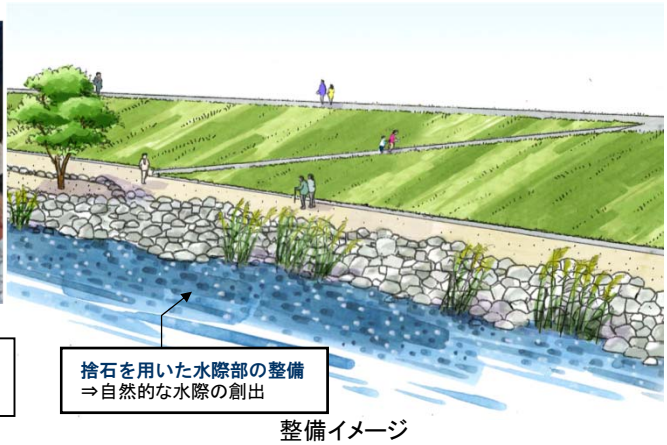






ワークショップの状況

かわまちづくりでは、地域住民とのワークショップや有識者で構成する検討会等の意見を踏まえ、詳細な施設配置などの調整を図ります。



整備イメージ

平成27年度は、堤防嵩上げ及び液状化対策を実施すると共に、かわまちづくりにおいて捨石を用いた水際部の整備等を行います。

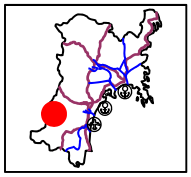
蔵王山火山噴火緊急減災対策

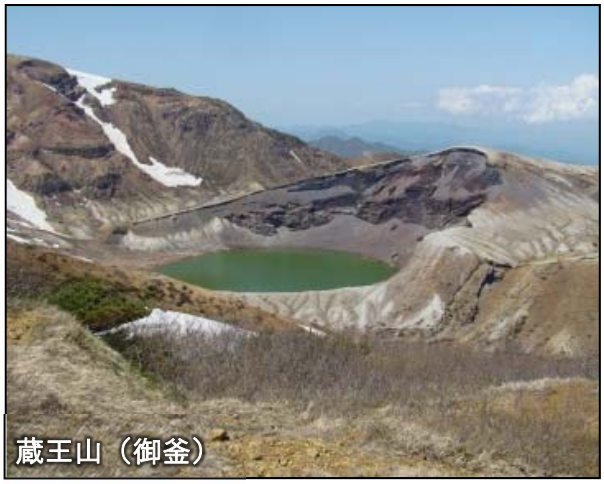
H27： 30百万円

完成予定： ー

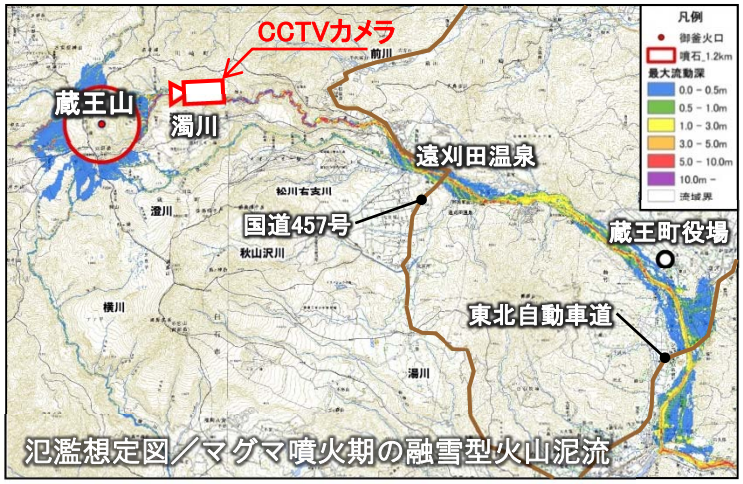
継続	宮城県刈田郡蔵王町	河川（砂防）	直轄

「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画」においては、万一噴火した場合に大規模な土石流や火山泥流の発生が想定されている。このため、濁川沿川に監視カメラを設置し、土石流や火山泥流の発生をいち早く捉え、避難行動への支援を行います。





蔵王山（御釜）



氾濫想定図／マグマ噴火期の融雪型火山泥流

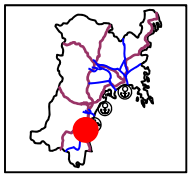
仙台湾南部海岸直轄海岸保全施設整備事業

H27： 698百万円

完成予定： ー

継続	宮城県岩沼市～亘理郡山元町	河川（海岸）	直轄

・海岸侵食の著しい、仙台湾南部海岸において、ヘッドランド（人工岬）を整備し、砂浜の回復を図ります。
・また、浸水被害を軽減する効果等が期待される、粘り強い構造の海岸堤防（緑の防潮堤）を整備します。





ヘッドランド整備イメージ



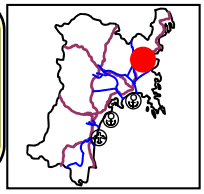
ヘッドランド（宮城県山元町）震災前

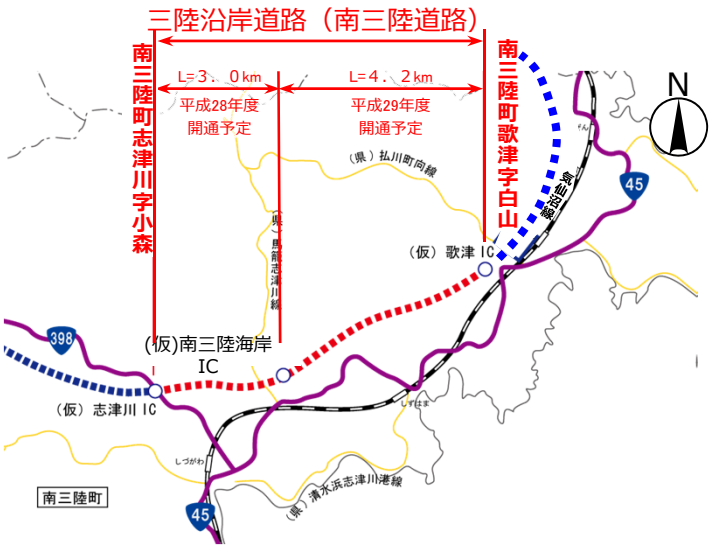
国道45号　三陸沿岸道路（南三陸道路）

H27：1,649百万円
開通予定：H28、H29

継続	宮城県本吉郡南三陸町	道路	直轄

三陸沿岸道路（南三陸道路）は、三陸縦貫自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を図り、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲南三陸道路の整備状況

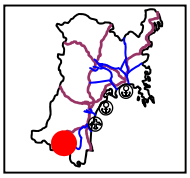
三陸沿岸道路（南三陸道路）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、災害時における代替路の確保が図られます。

国道4号　宮城4号交差点改良等（白石地区付加車線整備）

H27：150百万円
開通予定：ー

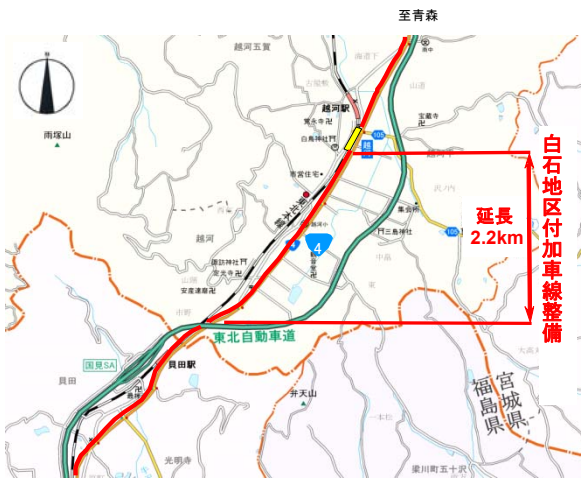
継続	宮城県白石市	道路	直轄

当該区間は、大型車混入率が多く縦断勾配がきつい区間が続くため、大型車の低速走行による交通混雑及び無理な追い越しが見られることから付加車線を設置し、交通事故の削減及び交通の円滑化を図ります。





▲当該区間における大型車通行状況



国道108号　宮城108号電線共同溝（古川地区）

H27：195百万円

開通予定：ー

継続	宮城県大崎市	道路	直轄

【事業の概要】
　古川地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化を図ることにより、安全で快適な歩行空間を確保並びに震災時における緊急輸送路の確保するとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。







電線共同溝の整備により、都市防災を高め、二次被害を防ぎ、搬送及び避難経路を確保します。

（主）築館登米線　（Ⅱ期　中田工区）

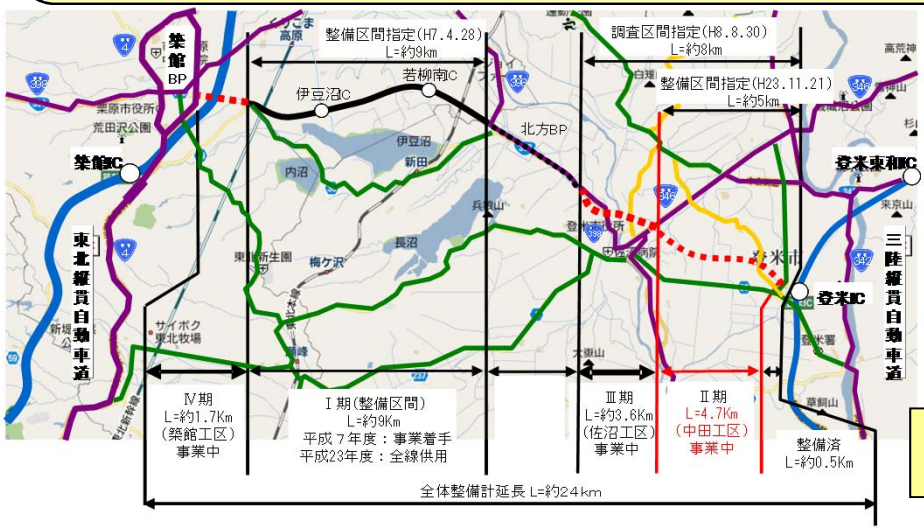
H27：800百万円

開通予定：ー

継続	宮城県登米市	道路	補助

（主）築館登米線　Ⅱ期　中田工区は、みやぎ県北高速幹線道路の一部を構成し、三陸沿岸道路と一体となって交通の円滑化を図ると供に、広域的な交流・連携の促進や東日本大震災被災地の早期復興を図ることを目的とした地域高規格道路です。







▲ 現道の大型車すれ違いが困難な状況

みやぎ県北高速幹線道路の整備により、津波被災地の早期復興を支援します。

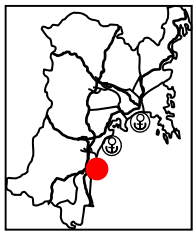
仙台空港　空港整備事業

H27：1,127百万円

完成予定：ー

継続	宮城県名取市～岩沼市	空港	直轄

航空機の安全な運航を確保するため、基本施設の老朽化対策を行うとともに、国内線の増便等に対応するため、エプロン拡張を実施します。また、地震災害時における空港機能の確保等を図るため、基本施設の耐震対策を行います。　※基本施設：滑走路・誘導路・エプロン等





航空機の離発着に必要な機能を確保



※地盤改良により基本施設の液状化を防止

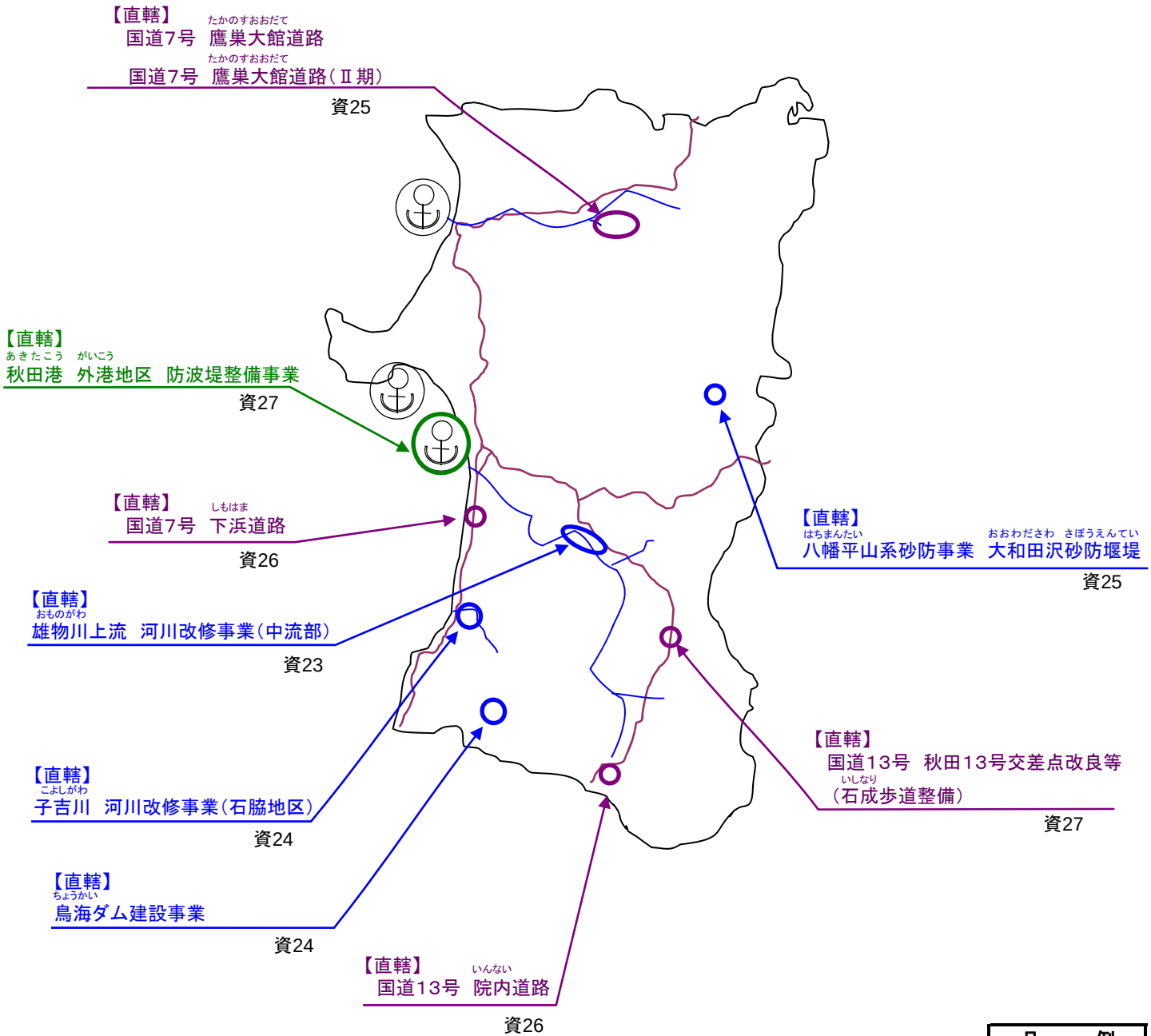
【秋田県主要継続事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成・開通目標年度	H27事業費（百万円）	H27事業内容	備考
河川	直轄	米代川（鷹巣地区）河川改修事業	大館市	H30年代	（1,639）	河道掘削、築堤	
河川	直轄	雄物川上流 河川改修事業（中流部）	大仙市	H30年代	（2,010）	築堤、樋門、河道掘削	資23
河川	直轄	子吉川（石脇地区）河川改修事業	由利本荘市	H30年代	（387）	河道掘削	資24
河川	直轄	雄物川上流 自然再生	横手市、湯沢市、大仙市、雄勝郡羽後町	H30年代	（29）	調査設計等	
河川（ダム）	直轄	成瀬ダム建設事業	雄勝郡東成瀬村	H36	1,846	付替道路工事、工事用道路工事　等	
河川（ダム）	直轄	鳥海ダム建設事業	由利本荘市	―	860	用地調査、本体関連の調査・測量・設計、水理水文調査等	資24
河川（砂防）	直轄	八幡平山系砂防事業（先達川砂防堰堤）（桧木内川第1砂防堰堤）【大和田沢砂防堰堤】	仙北市	H28、H29	（435）	砂防堰堤工	資25
道路	直轄	日本海沿岸東北自動車道 大館北～小坂	大館市～鹿角郡小坂町	－	100	トンネル湧水中和処理	
道路	直轄	国道7号 遊佐象潟道路	にかほ市	－	250	調査設計、用地補償	
道路	直轄	国道7号 二ツ井今泉道路	能代市～北秋田市	－	1,005	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道7号 鷹巣大館道路（Ⅱ期）	北秋田市	H28（（仮称）鷹巣IC～北秋田市栄） H29全線	3,470	調査設計、用地補償、改良・橋梁・舗装工事	資25
道路	直轄	国道7号 鷹巣大館道路	北秋田市～大館市	H28全線	1,700	調査設計、用地補償、改良・舗装工事	資25
道路	直轄	国道13号 院内道路	湯沢市	H28全線	1,420	調査設計、用地補償、改良・トンネル・舗装工事	資26
道路	直轄	国道7号 下浜道路	秋田市	－	1,450	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	資26
道路	直轄	国道13号 河辺拡幅	秋田市	－	278	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	日本海沿岸東北自動車道 本荘～岩城	由利本荘市	－	300	調査設計、改良工事	
道路	直轄	国道13号 湯沢横手道路	湯沢市～横手市	－	150	調査設計、改良工事	
道路	直轄	国道13号 秋田13号交差点改良等（石成歩道整備）	横手市	―	33	用地補償	資27
港湾	直轄	能代港 外港地区 防波堤整備事業	能代市	H28	209	防波堤本体工	
港湾	直轄	秋田港 外港地区 防波堤整備事業	秋田市	H35	1,320	防波堤本体工	資27

※ ★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※ 事業費の（ ）の金額は、当該河川・山系・水系全体の事業費

【秋田県の主な継続事業位置図】



凡　例
河　川　事　業
道　路　事　業
港湾・空港事業
都市・住宅事業
営　繕　事　業

資22

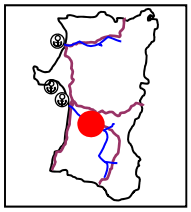
雄物川上流　河川改修事業（中流部）

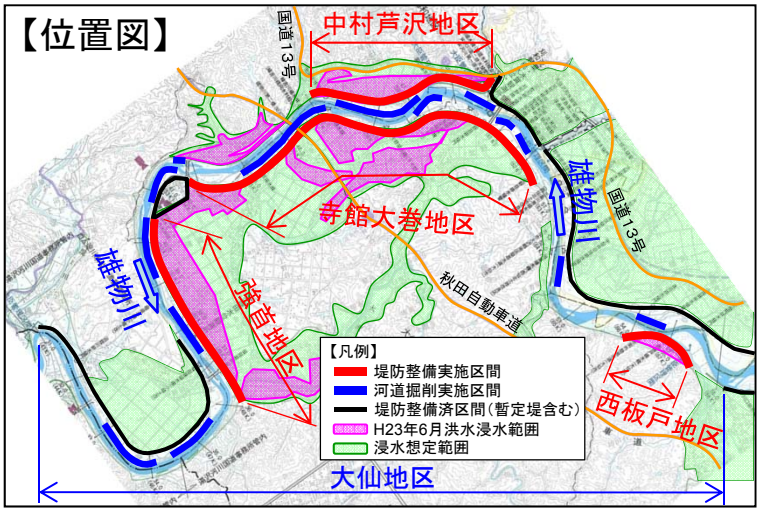
H27：2,010百万円※
完成予定：H30年代

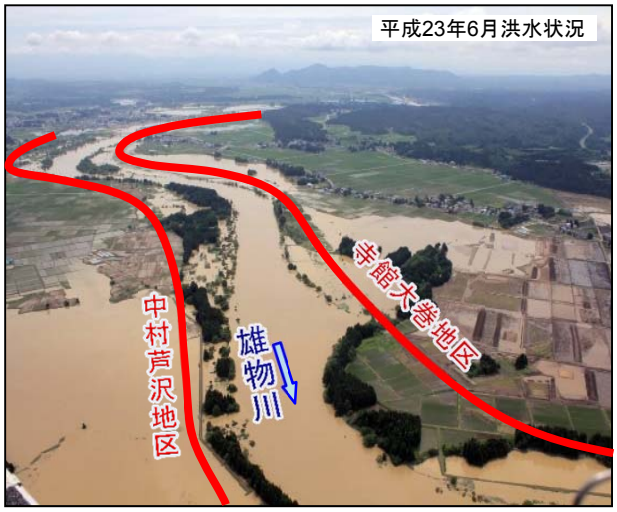
継続	秋田県大仙市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

雄物川中流部は、昭和62年洪水により甚大な浸水被害を受け、近年も平成19年、平成23年と頻発した洪水により被害を受けていることから、堤防整備等を実施し治水安全度の向上を図ります。
平成27年度は、堤防整備や河道掘削等を実施します。







子吉川（こよしがわ）　河川改修事業（石脇（いしわき）地区）

H27：387百万円※	
完成予定：H30年代	

継続	秋田県由利本荘（ゆりほんじょう）市	河川	直轄

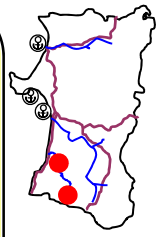
鳥海（ちょうかい）ダム建設事業

H27：860百万円	
完成予定：ー	

継続	秋田県由利本荘（ゆりほんじょう）市	河川（ダム）	直轄

※上記の事業費は、事業別に当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

子吉川では、平成23年6月、平成25年7月洪水で計画高水位を超過し、平成23年洪水では堤防が決壊するなどの被害が発生しました。
洪水時の水位低下を図るため、石脇地区の「河道掘削」を推進します。
また、鳥海ダムは、平成27年度から「建設段階」に移行し、新たに用地調査に着手する他、本体関連の調査・測量・設計、水理水文調査等を実施します。

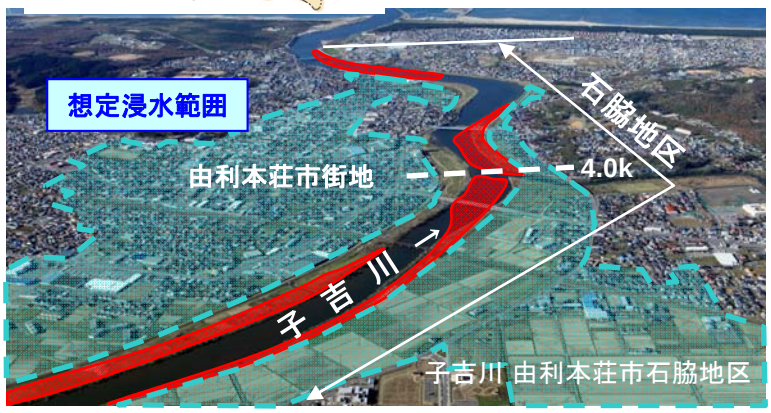


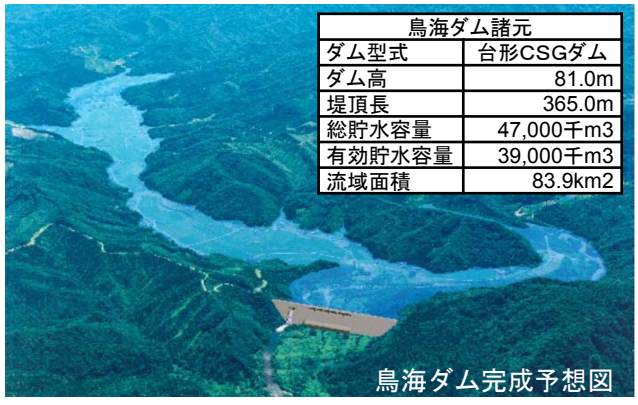


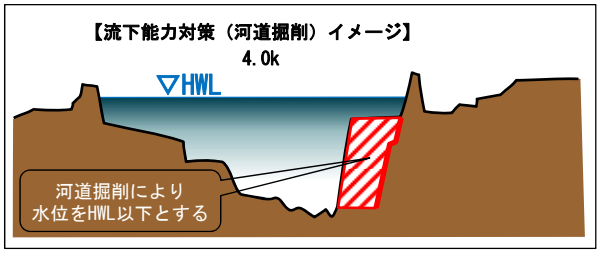




平成23年6月洪水の状況







○河道掘削と鳥海ダムの洪水調節効果により約4,800戸の床上浸水家屋を解消します。
○鳥海ダムを水源として、由利本荘市に対して、水道用水を安定的に供給することが可能になります。

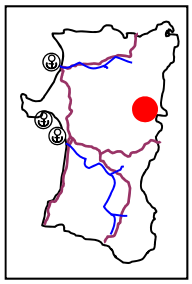
八幡平山系直轄砂防事業（大和田沢砂防堰堤）

H27：435百万円※
完成予定：H28

継続	秋田県仙北市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該山系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

八幡平山系は秋田県・岩手県の2県にまたがり、秋田県側には秋田駒ヶ岳・秋田焼山の2つの活火山を有します。大量の不安定土砂の流出及び火山噴火による降灰後の降雨に起因する土石流が発生するおそれがあることから、砂防堰堤を整備して被害軽減を図ります。





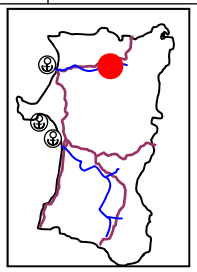
大和田沢砂防堰堤の整備により、土砂流出による被害の軽減を図ります。
（保全対象：家屋87戸、秋田新幹線、国道46号、国道341号）

国道7号　鷹巣大館道路
国道7号　鷹巣大館道路（Ⅱ期）

H27：1,700百万円(鷹巣大館)
H27：3,470百万円（鷹巣大館Ⅱ期）
開通予定：H28（鷹巣大館）
開通予定：H28,H29（鷹巣大館Ⅱ期）

継続	秋田県北秋田市～大館市	道路	直轄

鷹巣大館道路及び、鷹巣大館道路(Ⅱ期)は、日本海沿岸東北自動車道の一部を構成し、物流・交通拠点および高次救急医療施設へのアクセス向上、緊急輸送道路の信頼性向上等を図り、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲国道7号　大雪によるスタック車発生に伴う渋滞状況

当該区間の整備により、現道の隘路区間を回避し、緊急輸送道路としての信頼性が向上するとともに、物流・交通拠点等へのアクセス性向上が図られます。

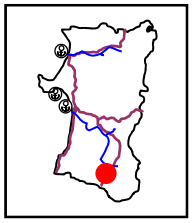
国道13号　院内道路

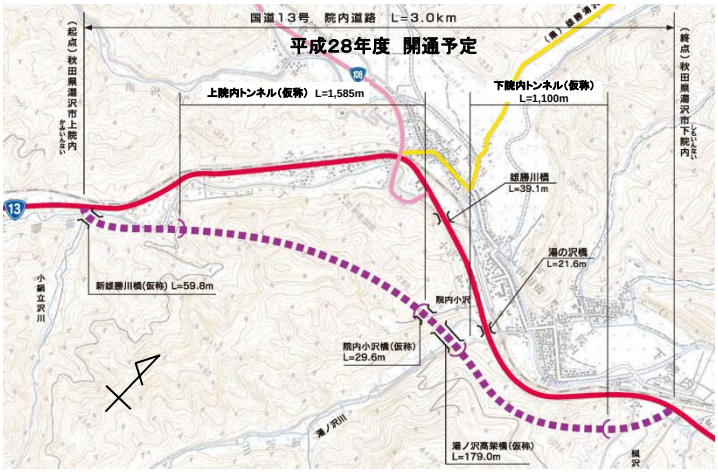
H27：1,420百万円

開通予定：H28

継続	秋田県湯沢市	道路	直轄

院内道路は、東北中央自動車道の一部を構成し、災害時における代替路の確保、冬期交通障害の解消を図り、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲国道13号の事故による通行止め状況



▲降雪により、道路幅員が十分に確保出来ないため、すれ違いが困難な状況

院内道路の整備により、災害時等における代替路線の確保、及び安全・安心な通年通行が確保されます。

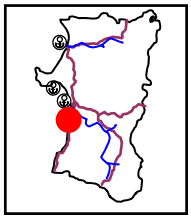
国道7号　下浜道路

H27：1,450百万円

開通予定：ー

継続	秋田県秋田市	道路	直轄

【事業の概要】
国道7号　下浜道路は、秋田市下浜地区の交通混雑緩和、事故の減少、沿道環境の改善を図るとともに、通学路の緊急合同点検等を踏まえ、児童の安全確保のため通学路の交通安全対策を早期に実施する必要があることから、抜本的な対策として実施するバイパス事業です。







▲国道７号下浜地区の通学時の状況

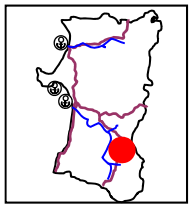
下浜道路の整備により、通過交通が転換することで、歩行者の安全性が向上するとともに、良好な沿道環境の確保が期待されます。

国道13号　秋田13号交差点改良等　（石成歩道整備）

H27：33百万円
開通予定：ー

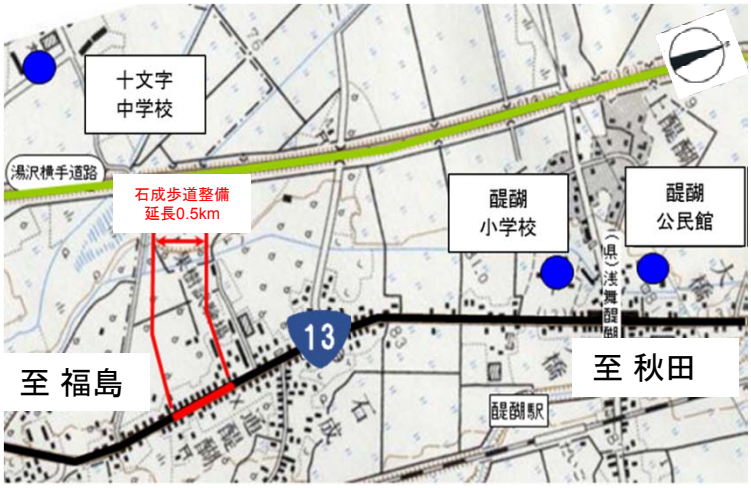
継続	秋田県横手市	道路	直轄

当該区間は、周辺小・中学校の通学路となっているが、歩道幅員が狭小で、すれ違いが出来ない箇所もあることから、歩道の拡幅により、歩行空間の安全確保を図ります。





▲歩行者・自転車の通行に支障をきたしている状況

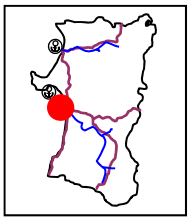


秋田港　外港地区　防波堤整備事業

H27：1,320百万円
完成予定：H35

継続	秋田県秋田市	港湾	直轄

防波堤の整備により、港内静穏度を向上させ、荷役作業の効率性、安全性の向上を図ります。







▲効率的で安全な荷役の実現
（外港1号岸壁：コンテナ取扱状況）

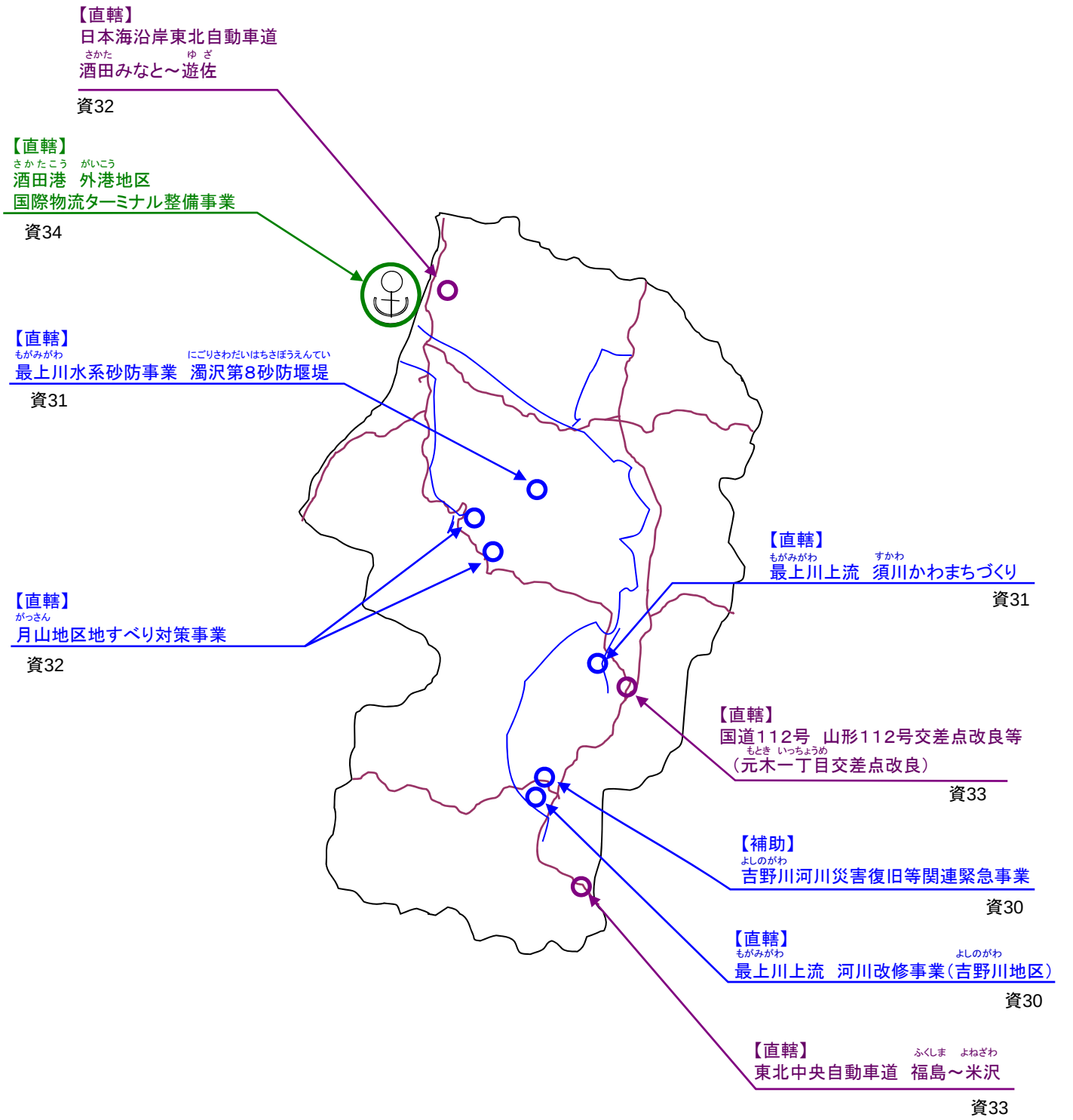
【山形県主要継続事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成・開通目標年度	H27事業費（百万円）	H27事業内容	備考
河川	直轄	最上川上流　河川改修事業【吉野川地区】（長島地区）	南陽市、東置賜郡高畠町、村山市	H28、H29	（1,427）	河道掘削、用地補償 樋門、用地補償	資30
河川	直轄	赤川　河川改修事業（中流部地区）	鶴岡市、東田川郡三川町	H30年代	（489）	河道掘削	
河川	直轄	最上川上流　須川かわまちづくり	山形市	H28	（70）	低水護岸、管理用通路等	資31
河川	直轄	赤川　三川町かわまちづくり	東田川郡三川町	H30年代	（100）	低水護岸、管理用通路等	
河川（砂防）	直轄	最上川水系砂防事業 （興屋沢砂防堰堤）【濁沢第8砂防堰堤】	最上郡戸沢村 東田川郡庄内町	H30年代 H29	（2,402）	砂防堰堤工	資31
河川（砂防）	直轄	赤川水系砂防事業（岩管沢砂防堰堤群）	鶴岡市	H28	（791）	砂防堰堤工	
河川（砂防）	直轄	月山地区地すべり対策事業	西村山郡西川町、鶴岡市	H30年代	（901）	集水井工等	資32
河川	補助	吉野川河川災害復旧等関連緊急事業	南陽市	H29	1,716	河道掘削、護岸等	資30
道路	直轄	日本海沿岸東北自動車道　酒田みなと～遊佐	酒田市～飽海郡遊佐町	－	1,845	調査設計、用地補償、改良工事	資32
道路	直轄	東北中央自動車道　福島～米沢	米沢市	H29全線	2,500	調査設計、改良・トンネル・舗装工事	資33
道路	直轄	東北中央自動車道　米沢～米沢北	米沢市	H29全線	3,800	調査設計、用地補償、改良・橋梁・舗装工事	
道路	直轄	東北中央自動車道　東根～尾花沢	東根市～尾花沢市	H29（（仮）村山大石田IC～尾花沢IC）	6,742	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道7号　朝日温海道路	鶴岡市	－	472	調査設計	
道路	直轄	国道7号　遊佐象潟道路	飽海郡遊佐町	－	250	調査設計、用地補償	
道路	直轄	国道13号　泉田道路	新庄市	－	830	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道47号　高屋道路	最上郡戸沢村	－	1,665	調査設計、用地補償、改良・トンネル工事	
道路	直轄	国道113号　梨郷道路	長井市～南陽市	－	523	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道112号　霞城改良	山形市	－	1,191	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	
道路	直轄	国道112号　山形112号交差点改良等 （元木一丁目交差点改良）	山形市	－	36	調査設計、用地補償	資33
港湾	直轄	酒田港　外港地区 国際物流ターミナル整備事業	酒田市	H31	1,316	防波堤本体工	資34

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※　事業費の（　）の金額は、当該河川・山系・水系全体の事業費

【山形県の主な継続事業位置図】



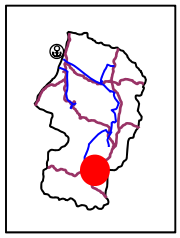
凡　例
河　川　事　業
道　路　事　業
港湾・空港事業
都市・住宅事業
営　繕　事　業

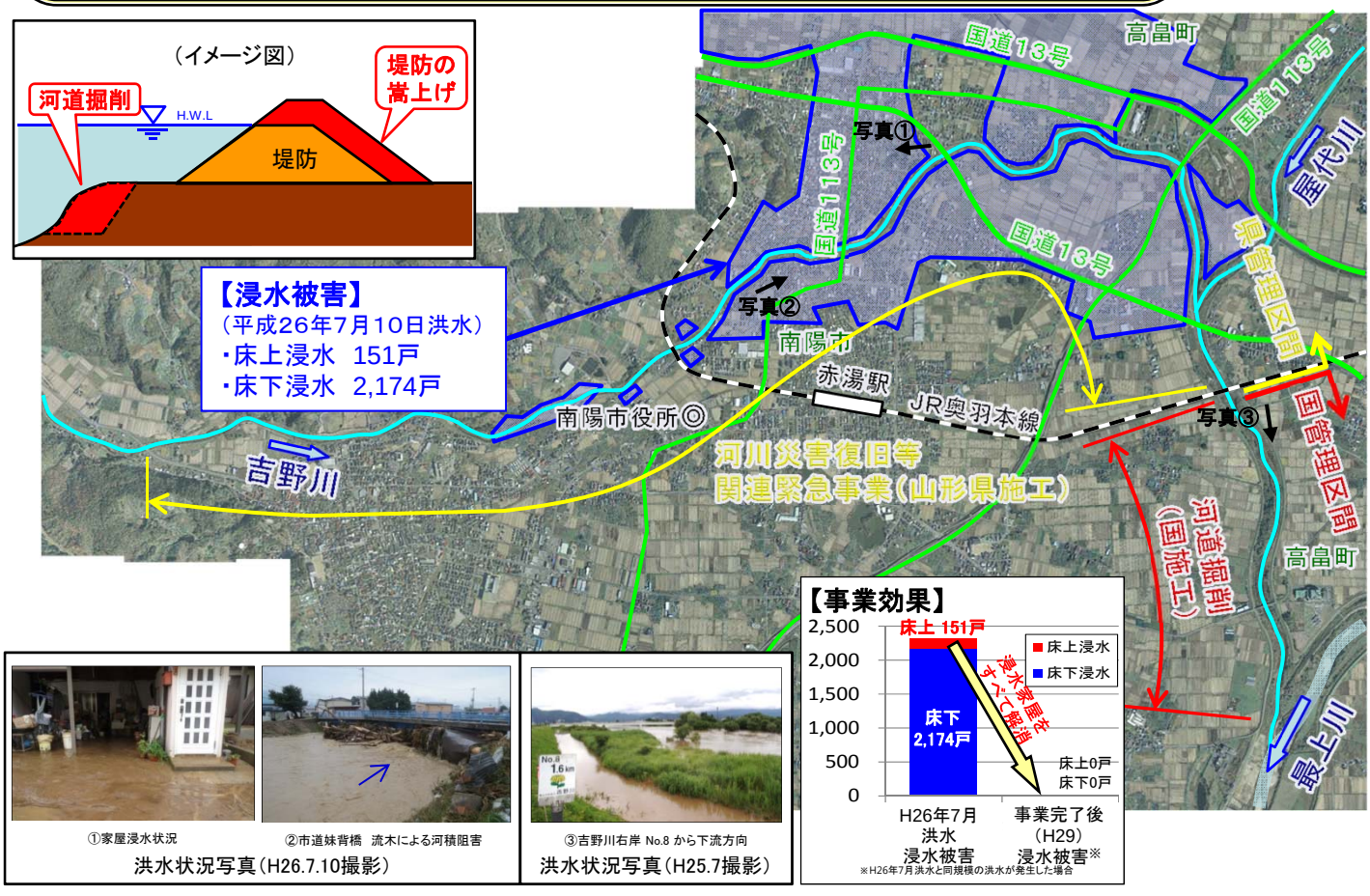
最上川上流　河川改修事業（吉野川地区）		H27：1,427百万円※	
		完成予定：H28	
継続	山形県南陽市、東置賜郡高畠町	河川	直轄

吉野川河川災害復旧等関連緊急事業		H27：1,716百万円	
		完成予定：H29	
継続	山形県南陽市	河川	補助

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

山形県南陽市では、平成25年7月洪水と平成26年7月洪水により2年連続で甚大な被害が生じました。
早期の浸水被害解消に向けて、山形県と国が連携して河川改修事業を実施します。





①家屋浸水状況

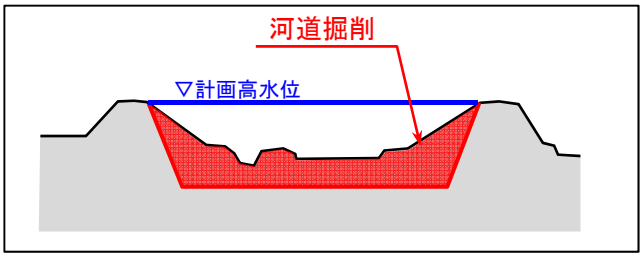
②市道妹背橋　流木による河積阻害

洪水状況写真（H26.7.10撮影）

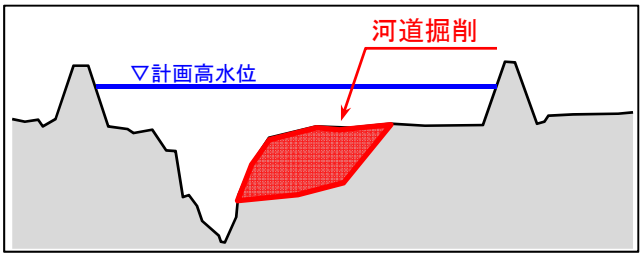
③吉野川右岸 No.8 から下流方向

洪水状況写真（H25.7撮影）

＜県管理区間における河道掘削横断図＞
（山形県施工）



＜国管理区間における河道掘削横断図＞
（国施工）



最上川上流　須川かわまちづくり

H27：70百万円※
完成予定：H28

継続	山形県山形市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

山形市を流れる須川において、サイクリングにも利用できる管理用通路や低水護岸等を整備し、まちづくりと一体となった賑わいある河川空間を創出します。
平成27年度は低水護岸・管理用通路等を整備します。







整備された高水敷を
運動広場として活用



管理用通路の整備イメージ

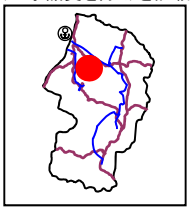
最上川水系砂防事業　濁沢第8砂防堰堤

H27：2,402百万円※
完成予定：H29

継続	山形県東田川郡庄内町	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

濁沢川は、月山の火山噴出物に覆われた脆弱な地質で荒廃が著しく、平成23年5月に発生した大規模崩壊により多量の不安定土砂が堆積しています。それらが下流に流出することによる被害を防止するため、砂防堰堤を整備します。





大規模崩壊後の立谷沢川流域濁沢



崩壊地の状況



最上川合流点付近に土砂が堆積

月山地区地すべり対策事業

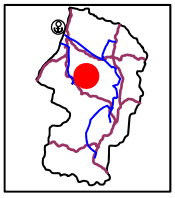
H27：901百万円※

完成予定：H30年代

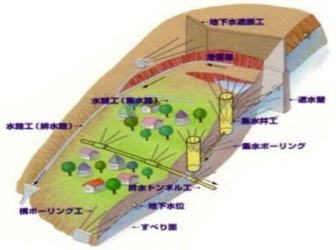
継続	山形県西村山郡西川町、鶴岡市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該地区全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

地すべり対策工の整備により、地すべりによる志津温泉・田麦俣地区の国道等への直接的な被害を防止・軽減するとともに、寒河江ダム及び月山ダムへの影響を未然に防止します。
平成２７年度は、集水井工及び渓流保全工等を実施します。









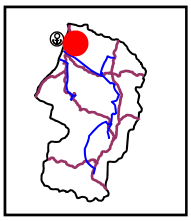
日本海沿岸東北自動車道　酒田みなと～遊佐

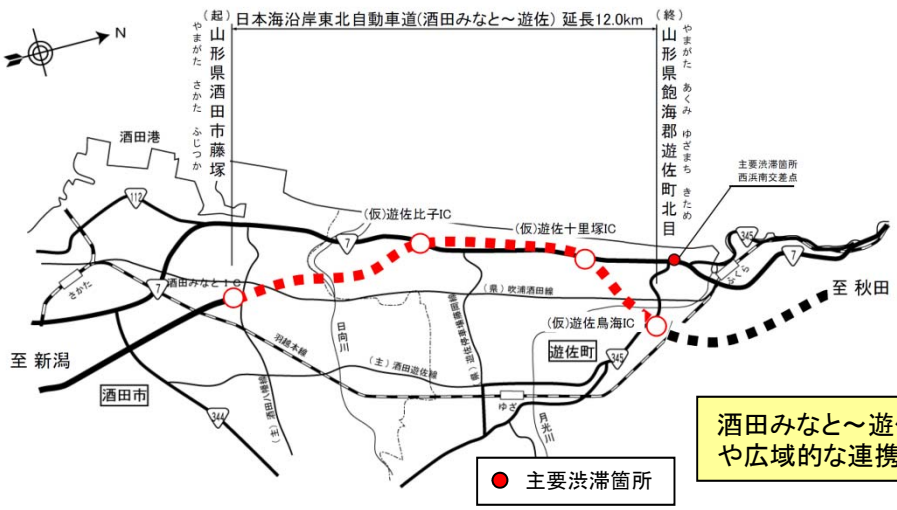
H27：1,845百万円

開通予定：ー

継続	山形県酒田市～飽海郡遊佐町	道路	直轄

酒田みなと～遊佐間は、日本海沿岸自動車道の一部を構成し、重要港湾へのアクセス強化、第三次救急医療施設への搬送時間短縮、災害時の代替性の確保、観光振興支援など、広域的な連携・交流の促進を図り、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲酒田みなと～遊佐の整備状況

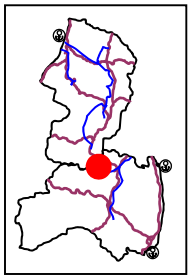
酒田みなと～遊佐間の整備により、災害時の代替性の確保や広域的な連携・交流が図られます。

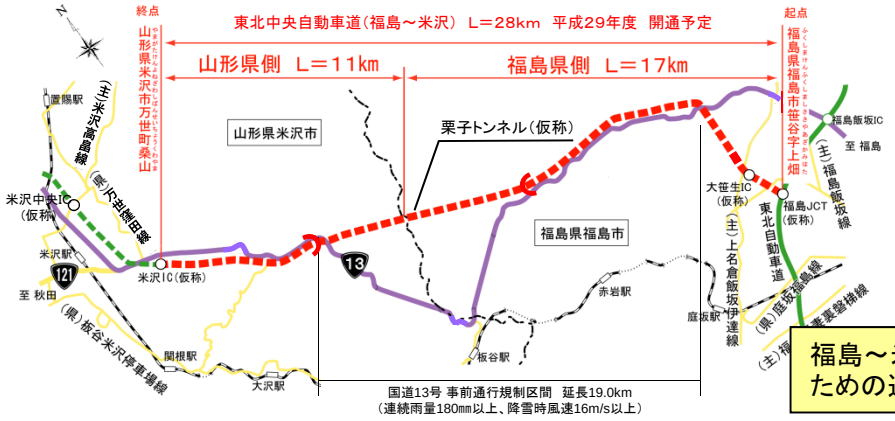
東北中央自動車道　福島～米沢

H27：8,756百万円
（山形県 2,500百万円、福島 6,256百万円）
開通予定：H29

継続	福島県福島市～山形県米沢市	道路	直轄

東北中央自動車道は、福島県相馬市から秋田県横手市間に計画されている延長約270kmの高速自動車国道です。
福島～米沢間は、東北中央自動車道の一部を構成し、国道13号の事前通行規制区間や豪雪災害による道路寸断に対する代替性を確保することを目的とした、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲国道13号　H14.7.11　土砂崩落
（事前通行規制実施中に被災）

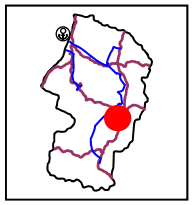
福島～米沢間の整備により、代替性の確保のための道路ネットワークの整備が図られます。

国道112号　山形112号交差点改良等（元木一丁目交差点改良）

H27：36百万円
完成予定：ー

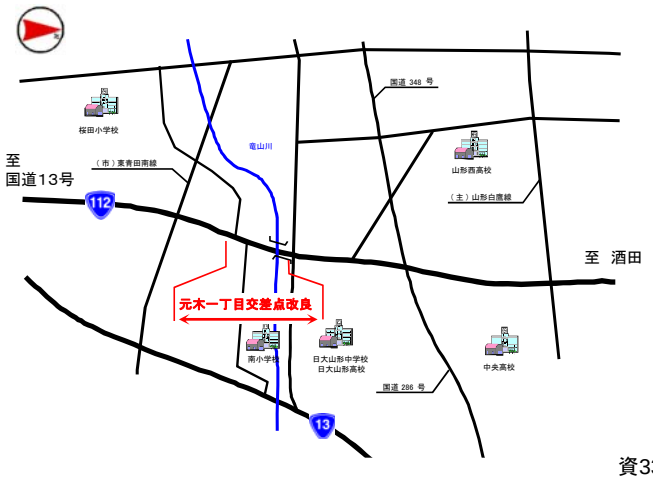
継続	山形県山形市	道路	直轄

国道と市道が交わる“くいちがい交差点”において、国道から市道への右折車により後続直進車の通行が阻害され、追突事故等が発生していることから、右折車線を整備し交通事故の削減や交通の円滑化を図ります。





▲右折車が直進車を阻害している状況



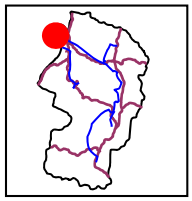
酒田港（さかたこう）　外港地区（がいこう）　国際物流ターミナル整備事業

H27：1,316百万円

完成予定：H31

継続	山形県酒田（さかた）市	港湾	直轄

防波堤の整備により、港内静穏度を向上させ、荷役作業の効率性、安全性の向上を図ります。また、避泊水域※を確保することで沖合を航行する船舶の海難事故防止を図ります。







▲荒天時の港内状況

※　避泊水域とは、荒天時などに港内に避難してきた船舶が停泊する場所

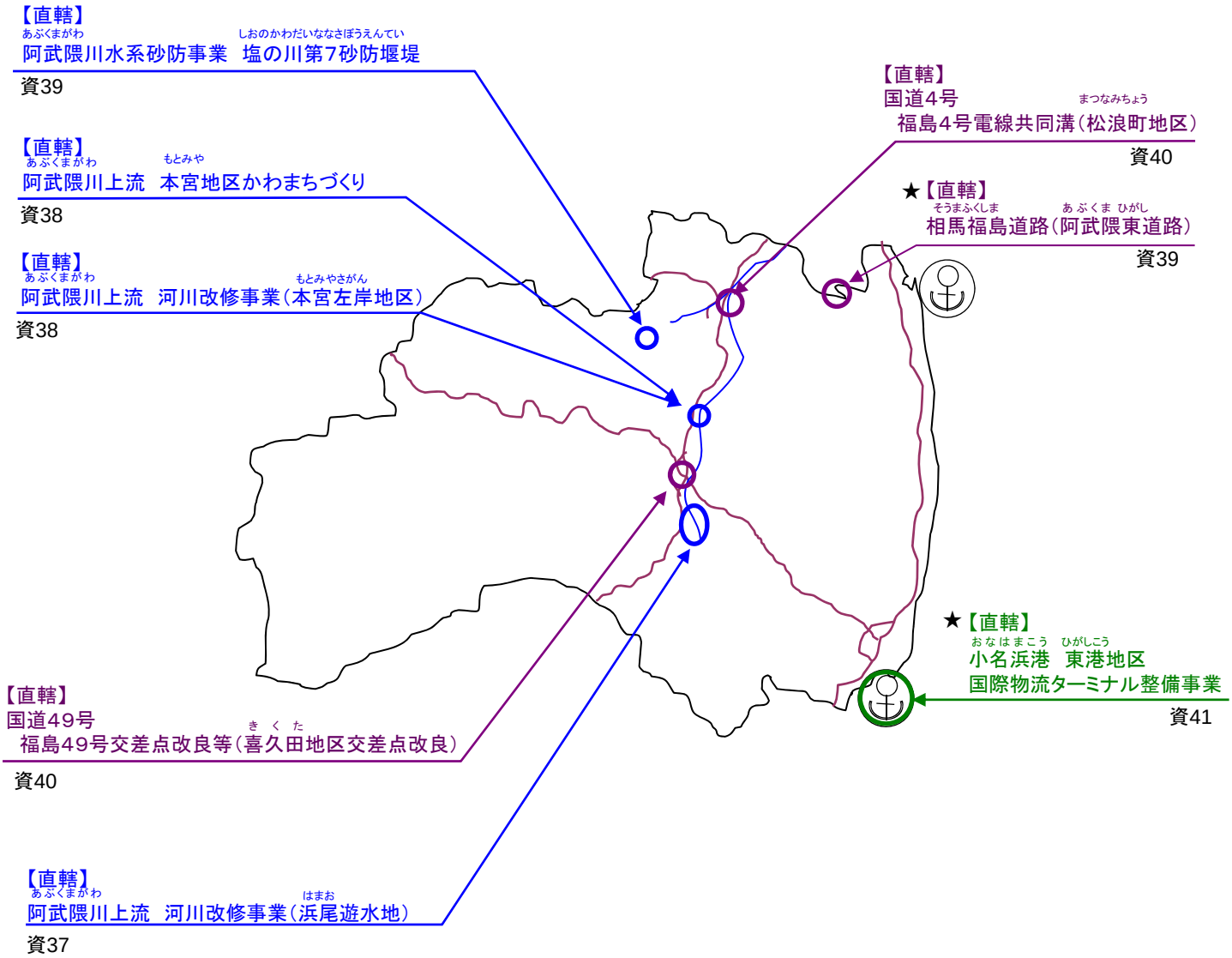
【福島県主要継続事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成・開通目標年度	H27事業費（百万円）	H27事業内容	備考
河川	直轄	阿武隈川上流　河川改修事業 【浜尾遊水地】【本宮左岸地区】（伏黒地区）	須賀川市 本宮市、伊達市	H30 H30年代	（1,523）	遊水地内掘削 築堤、樋門、橋梁架替 浸透対策	資37・38
河川	直轄	阿武隈川上流　本宮地区かわまちづくり	本宮市	H30年代	（5）	避難誘導看板等	資38
河川 （砂防）	直轄	阿武隈川水系砂防事業【塩の川第7砂防堰堤】 （荒川流路工）（下高湯沢第1砂防堰堤）	福島市	H30年代	（742）	砂防堰堤工 流路工	資39
道路	直轄	東北中央自動車道　福島～米沢	福島市	H29全線	6,256	調査設計、改良・橋梁・トンネル・舗装工事	
道路	直轄	国道121号　湯野上バイパス	南会津郡 下郷町	－	200	調査設計、用地補償	
道路	直轄	国道4号　鏡石拡幅	岩瀬郡 鏡石町	－	565	調査設計、用地補償、舗装工事	
道路	直轄	国道4号　伊達拡幅	伊達市～ 伊達郡国見町	－	350	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道13号　福島西道路（Ⅱ期）	福島市	－	300	調査設計、用地補償	
道路	直轄	国道49号　平バイパス	いわき市	H28全線	400	調査設計、用地補償、トンネル工事	
道路	直轄	国道49号　北好間改良	いわき市	－	84	調査設計、用地補償	
道路	直轄	国道49号　猪苗代拡幅	耶麻郡 猪苗代町	－	150	調査設計、用地補償、舗装工事	
道路	直轄	国道49号　会津防災	河沼郡柳津町～ 耶麻郡西会津町	―	50	調査設計	
道路	直轄	国道115号　相馬福島道路（相馬～相馬西）★	相馬市	H30全線	5,901	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道115号　相馬福島道路（阿武隈東道路）★	相馬市	H28全線	816	調査設計、用地補償、トンネル工事	資39
道路	直轄	国道115号　相馬福島道路（阿武隈東～阿武隈）★	相馬市 ～伊達市	H29全線	1,041	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	
道路	直轄	国道115号　相馬福島道路（霊山道路）★	伊達市	H29全線	6,163	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル工事	
道路	直轄	国道115号　相馬福島道路（霊山～福島）★	伊達市 ～伊達郡桑折町	－	4,500	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	
道路	直轄	国道49号　福島49号交差点改良等 （喜久田地区交差点改良）	郡山市	－	48	調査設計	資40
道路	直轄	国道4号　福島4号電線共同溝（松浪町地区）	福島市	－	314	支障移転補償、本体工事	資40
港湾	直轄 補助	相馬港　3号ふ頭地区　★ 国際物流ターミナル（耐震）整備事業	相馬市 新地町	H32	430	直轄：防波堤本体工	
港湾	直轄	小名浜港　東港地区　★ 国際物流ターミナル整備事業	いわき市	H30	3,090	岸壁本体工、浚渫工	資41

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※　事業費の（　）の金額は、当該河川・山系・水系全体の事業費

【福島県の主な継続事業位置図】



凡　例
河　川　事　業
道　路　事　業
港湾・空港事業
都市・住宅事業
営　繕　事　業

資36

阿武隈川上流　河川改修事業（浜尾遊水地）

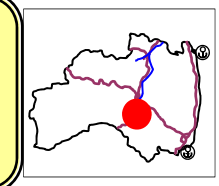
H27：1,523百万円※

完成予定：H30

継続	福島県須賀川市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

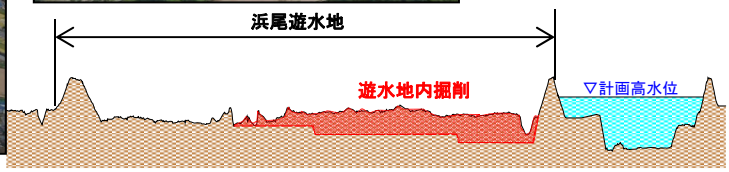
平成23年9月台風15号の洪水により、資産・家屋が集中する郡山・須賀川市街地区間において計画高水位を超過し、浸水被害が発生していることから、浜尾遊水地を掘削して洪水調節容量の拡大を図ります。







浜尾遊水地の洪水調節容量の増により、下流の市街地部の浸水被害を軽減します。



阿武隈川上流　河川改修事業（本宮左岸地区）		H27：1,523百万円※	
		完成予定：H30年代	
継続	福島県本宮市	河川	直轄

阿武隈川上流　本宮地区かわまちづくり		H27：5百万円※	
		完成予定：H30年代	
継続	福島県本宮市	河川	直轄

※上記の事業費は、事業別に当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

本宮左岸地区は、堤防の高さが計画より低いため、これまで度々浸水被害を受けてきたことから、堤防整備により治水安全度の向上を図ります。

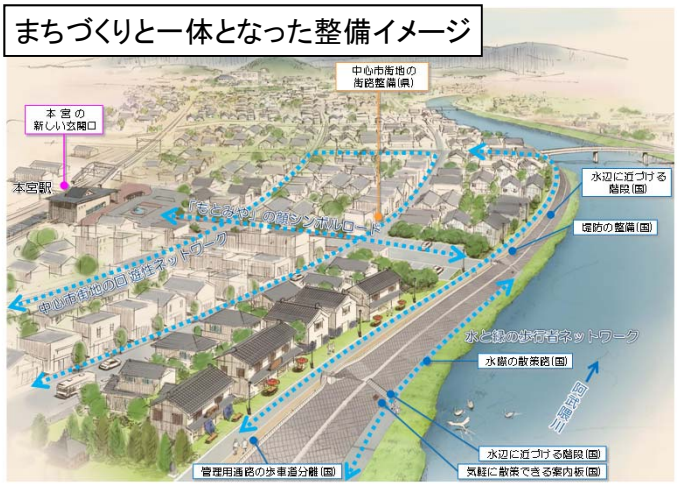
本事業箇所は住宅や商店が密集する本宮市の中心市街地と隣接しているため、まちづくりと一体となった河川改修事業を展開していきます。

平成27年度は河川改修で堤防整備及び橋梁架替、かわまちづくりにおいて案内板を整備します。





まちづくりと一体となった整備イメージ



完成した堤防と水辺に近づける階段



案内板イメージ

阿武隈川水系直轄砂防事業　塩の川第7砂防堰堤

H27：742百万円※

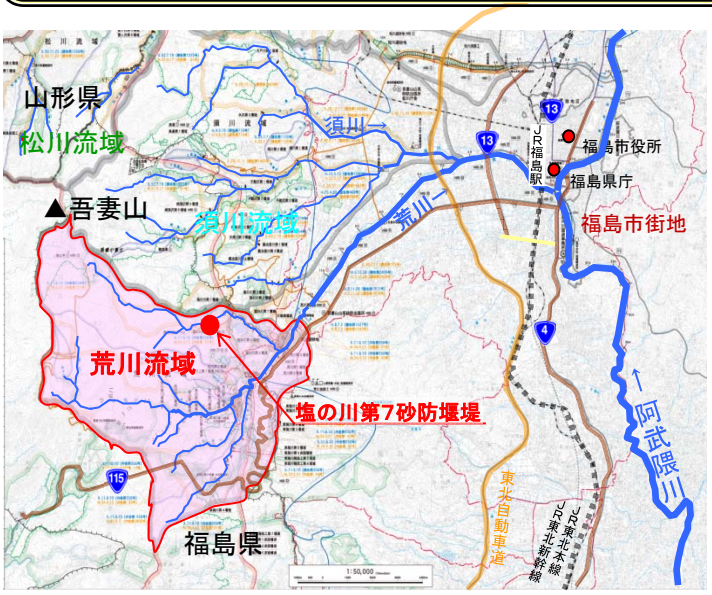
完成予定：H30年代

継続	福島県福島市	河川(砂防)	直轄

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

吾妻山の火山噴火による土砂災害から、福島市街地、東北自動車等の重要交通網を保全するため、砂防堰堤を整備します。







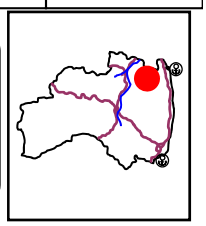
国道115号　相馬福島道路(阿武隈東道路)

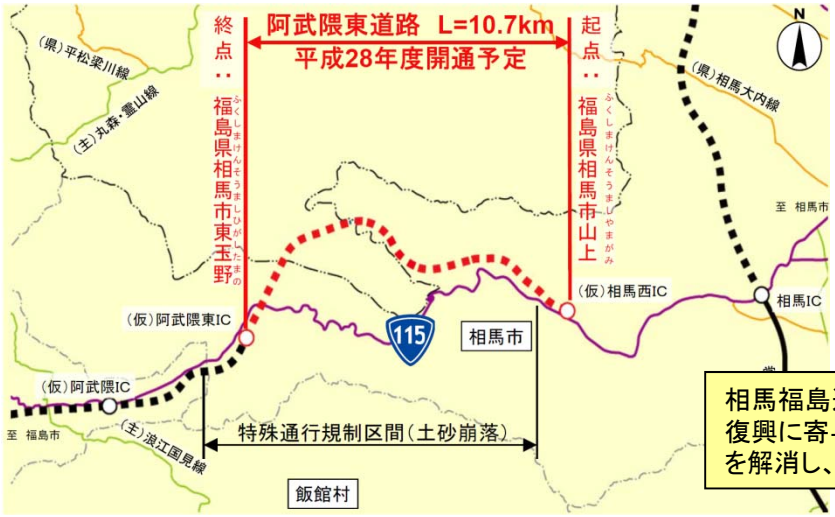
H27：850百万円
（宮城県 34百万円、福島県 816百万円）

開通予定：H28

継続	福島県相馬市	道路	直轄

復興支援道路である相馬福島道路（阿武隈東道路）は、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路であり、相馬市内における隘路区間の回避及び特殊通行規制区間の解消を図り、救急医療圏の拡大、物流の効率化や早期復旧・復興の推進を目的とする道路です。







▲相馬福島道路（阿武隈東道路）の整備状況

相馬福島道路（阿武隈東道路）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、隘路区間の回避や通行規制区間を解消し、交通の安全を確保します。

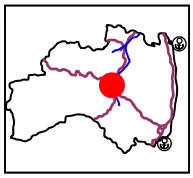
国道49号　福島49号交差点改良等（喜久田地区交差点改良）

H27：48百万円

開通予定：ー

継続	福島県郡山市	道路	直轄

国道と市道が交わる交差点において、国道から市道への右折車により、後続直進車の通行が阻害され、追突事故等が発生していることから、右折車線を整備し交通事故の削減や交通の円滑化を図ります。





▲右折車が直進車を阻害している状況



国道4号　福島4号電線共同溝（松浪町地区）

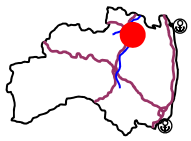
H27：314百万円

開通予定：ー

継続	福島県福島市	道路	直轄

【事業の概要】

松浪町地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化を図ることにより、安全で快適な歩行空間を確保並びに震災時における緊急輸送路の確保するとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。







電線共同溝の整備により、都市防災を高め、二次被害を防ぎ、搬送及び避難経路を確保します。

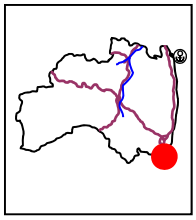
小名浜港（おなはまこう） 東港地区（ひがしこう） 国際物流ターミナル整備事業

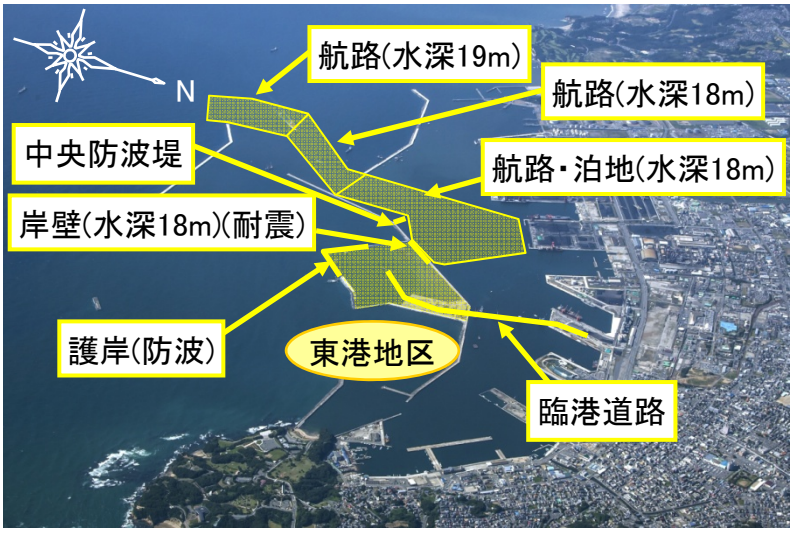
H27：3,090百万円

完成予定：H30

継続	福島県いわき市	港湾	直轄

資源・エネルギー等の広域的、効率的な海上輸送ネットワークの拠点となる大型輸送船に対応した国際物流ターミナルを整備します。また、耐震強化岸壁を整備することにより、災害時にも継続的な物流を確保します。







▲石炭運搬船による荷役状況